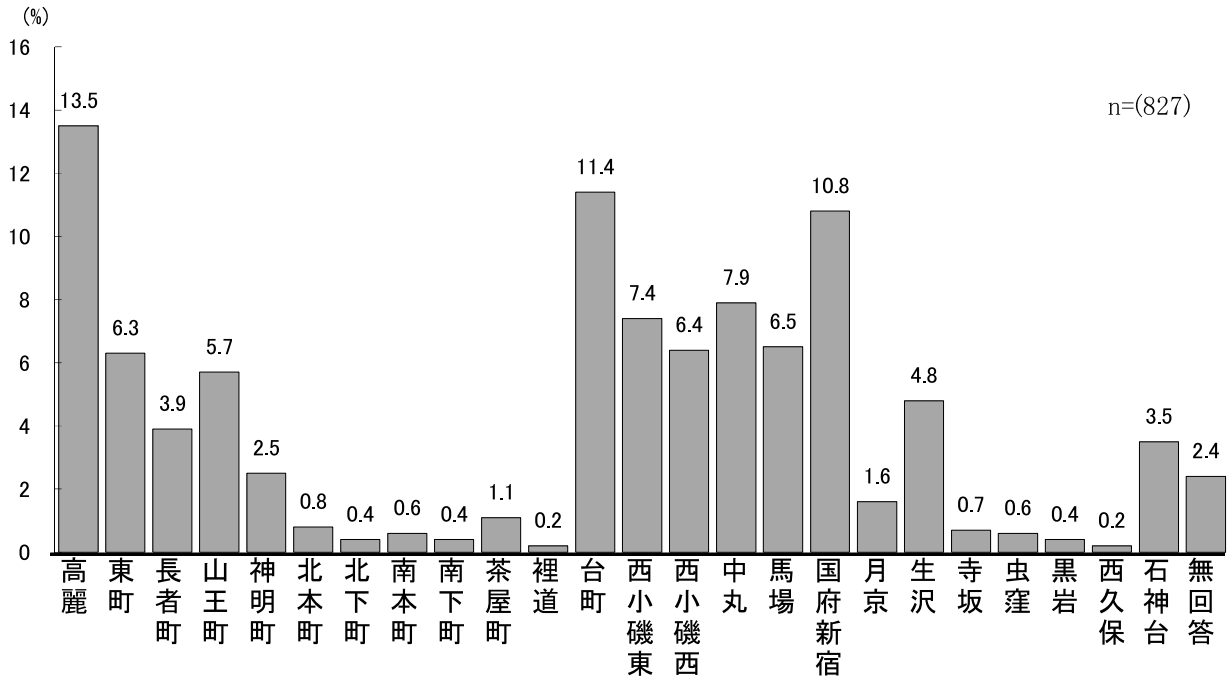


第2章 調査結果の詳細（未就学児）

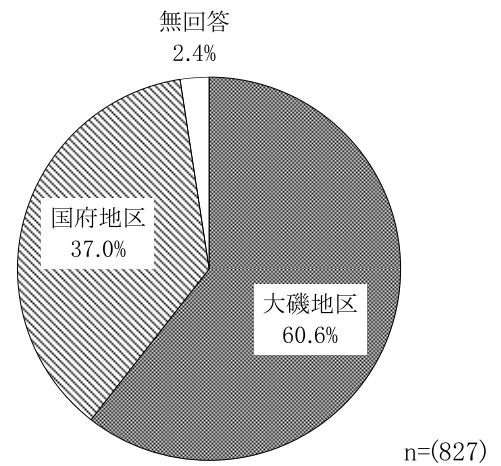
1. 子どもと家族の状況について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)



大磯地区	国府地区
高麗、東町、長者町、山王町、神明町、北本町、北下町、南本町、南下町、茶屋町、裡道、台町、西小磯東、西小磯西	中丸、馬場、国府新宿、月京、生沢、寺坂、虫窪、黒岩、西久保、石神台

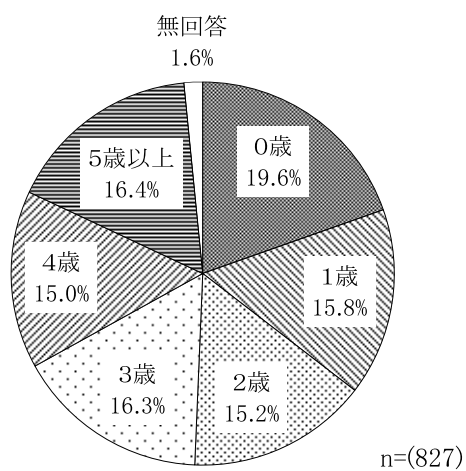


居住地区は、「高麗」が13.5%で最も高く、次いで「台町」が11.4%、「国府新宿」が10.8%となっている。

地区別に見ると、「大磯地区」が60.6%、「国府地区」が37.0%となっている。

（2）子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（数字で記入）

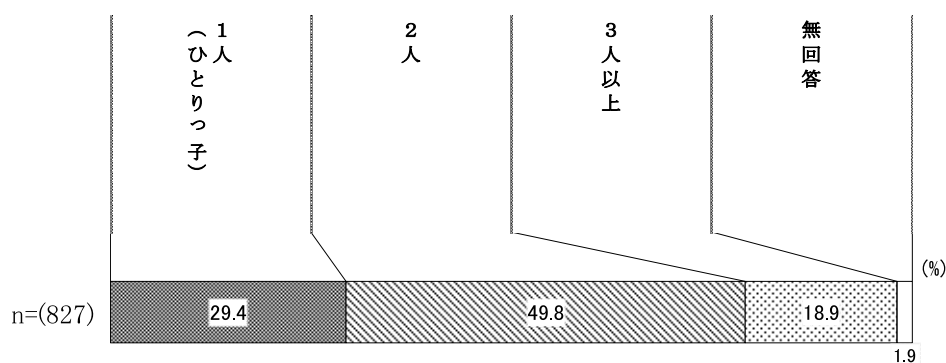


子どもの年齢は、「0歳」が19.6%で最も高くなっている。0歳～5歳以上の各年齢で15%～20%未満とほぼ同じ割合となっている。

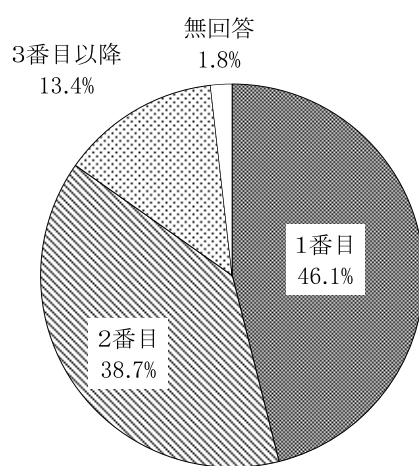
（3）子どものきょうだい数

問3 あて名のお子さんのきょうだいは、あて名のお子さんを含めて何人ですか。また、あて名のお子さんは、何番目のお子さんですか。（数字で記入）2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
（きょうだいの数には、あて名のお子さんも含めてください。）

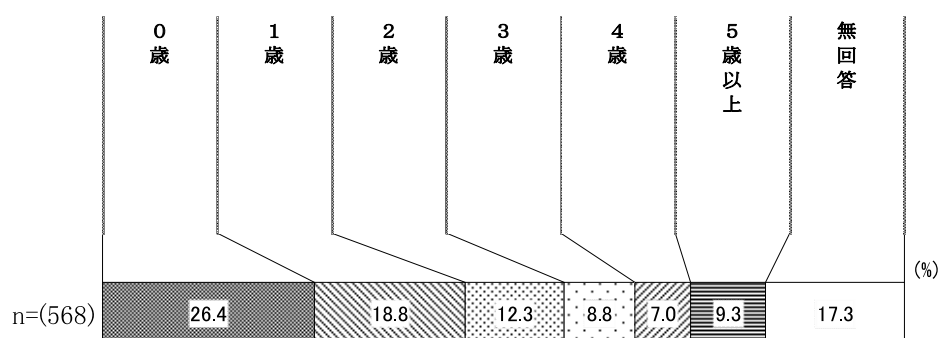
【きょうだいの数】



【きょうだい（何番目）】



【末子の年齢】



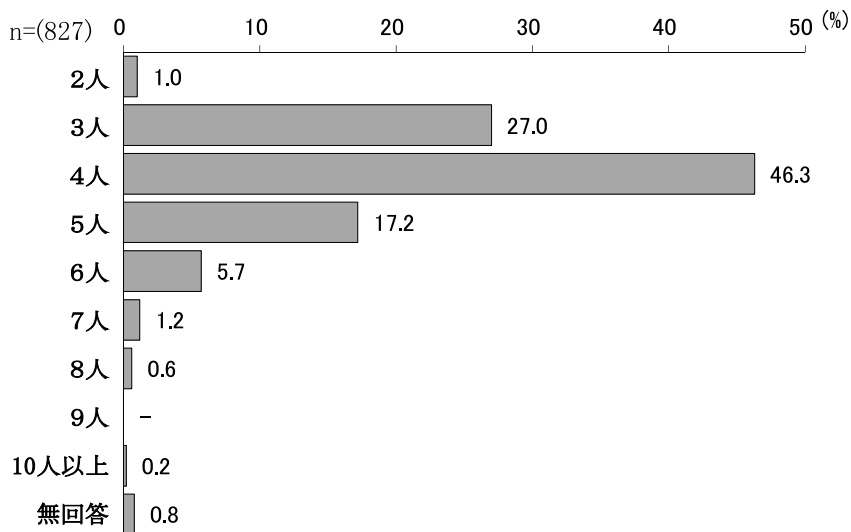
きょうだい数は、「2人」が49.8%で約5割と最も高く、次いで「1人（ひとりっ子）」が29.4%、「3人以上」が18.9%となっている。

あて名のお子さんは、「1番目」が46.1%で最も高く、次いで「2番目」が38.7%、「3番目以降」が13.4%となっている。

末子の方の年齢は、「0歳」が26.4%で最も高く、次いで「1歳」が18.8%、「2歳」が12.3%となっている。

（4）家族人数

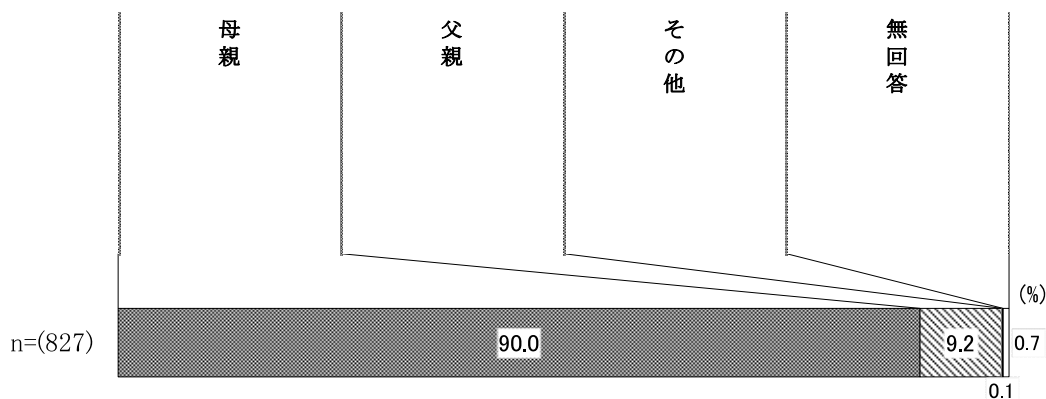
問4 あなたとお子さんを含めた、家族全員の人数は何人ですか。（○は1つ）（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。）



家族人数は、「4人」が46.3%で最も高く、次いで「3人」が27.0%、「5人」が17.2%となっている。

（5）調査票回答者

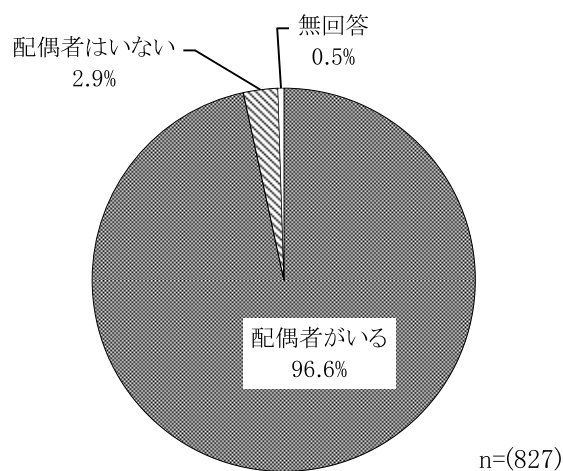
問5 この調査票にご回答いただいている方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）



調査票回答者は、「母親」が90.0%で9割を占めている。一方、「父親」は9.2%となっている。

（6）調査票回答者の配偶者の有無

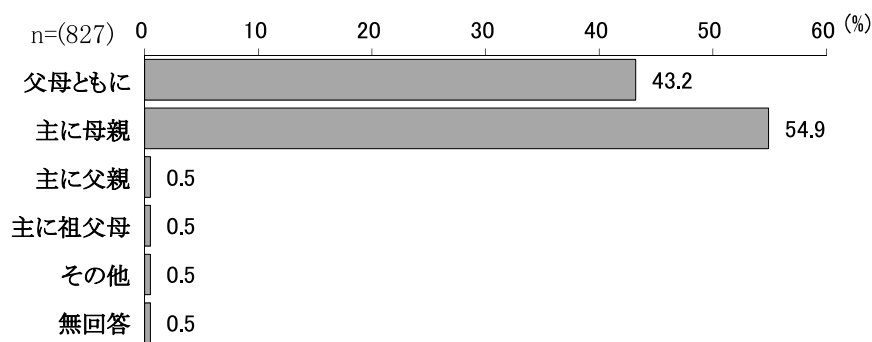
問6 この調査票にご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。（○は1つ）



調査票回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が96.6%で9割以上を占めている。一方、「配偶者がいない」は2.9%となっている。

（7）子育てを主に行っている人

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、あて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）

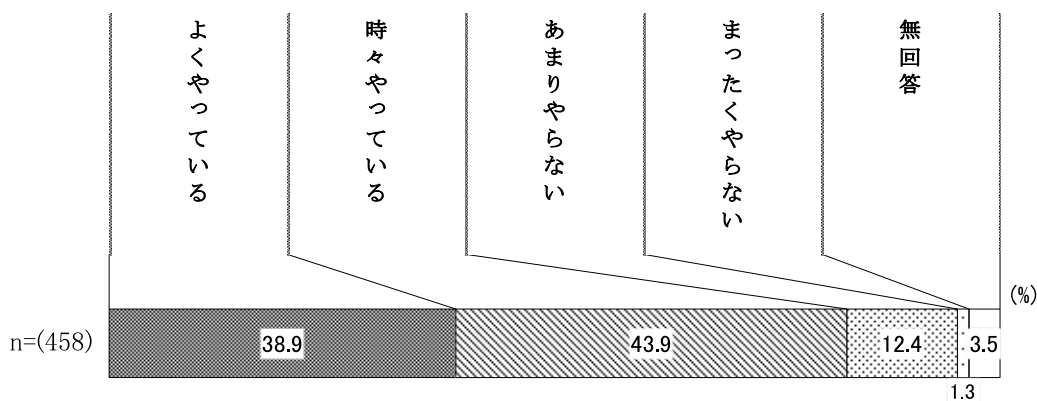


子育てを主に行っている人は、「主に母親」が54.9%で最も高く、次いで「父母ともに」が43.2%となっている。

（8）配偶者の子育て協力状況

【問7で「主に母親」もしくは「主に父親」と回答された方に（ひとり親家庭の場合は回答不要）】

問7-1 その配偶者は、子育ての分担を協力して行っていますか。（○は1つ）

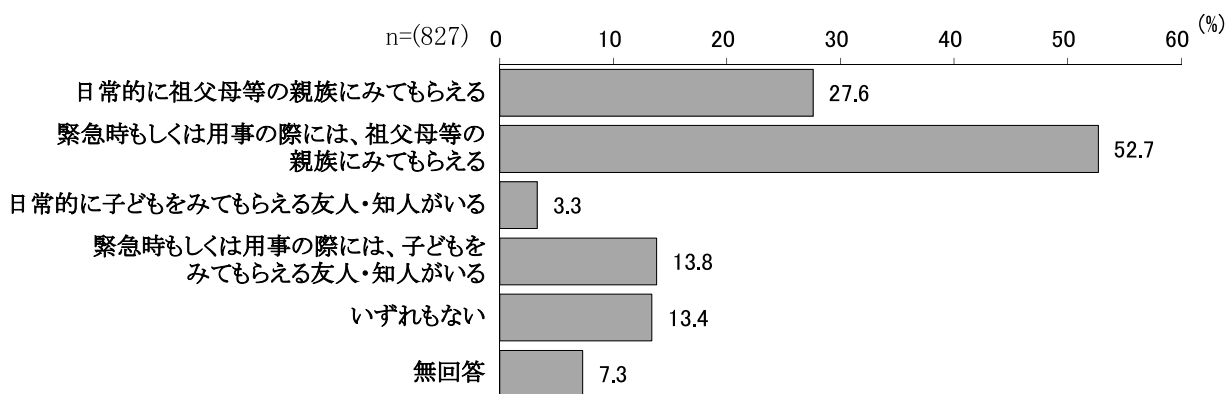


配偶者の子育て協力状況は、「時々やっている」が43.9%で最も高く、次いで「よくやっている」が38.9%となっている。

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

（1）子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

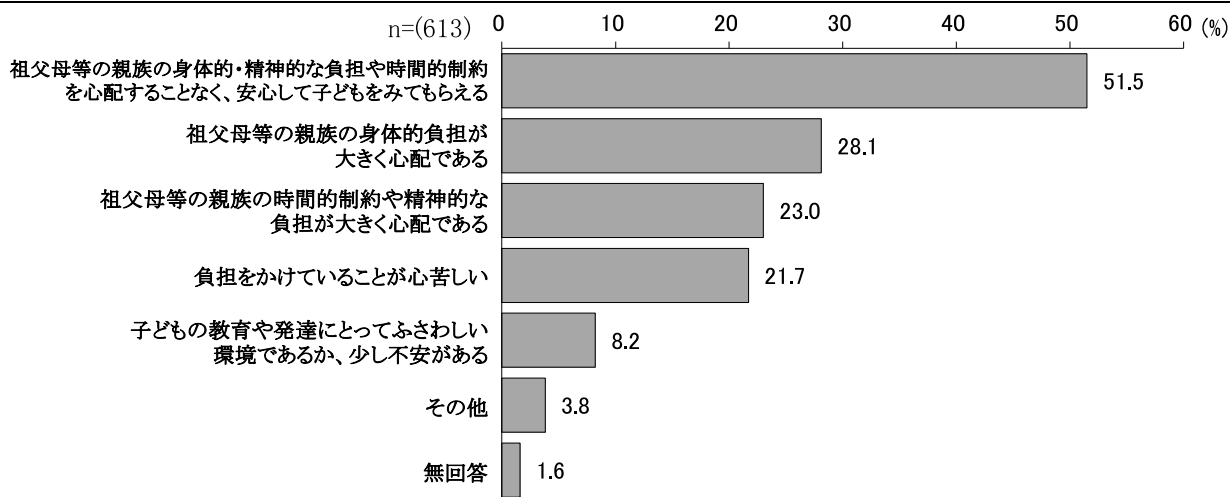


子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」が52.7%で5割を超えて最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.6%となっている。なお、「いずれもない」は13.4%となっている。

(2) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

【問8で「日常的」または「緊急時もしくは用事の際」には、祖父母等の親族にみてもらえる
と回答された方に】

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇は
いくつでも）

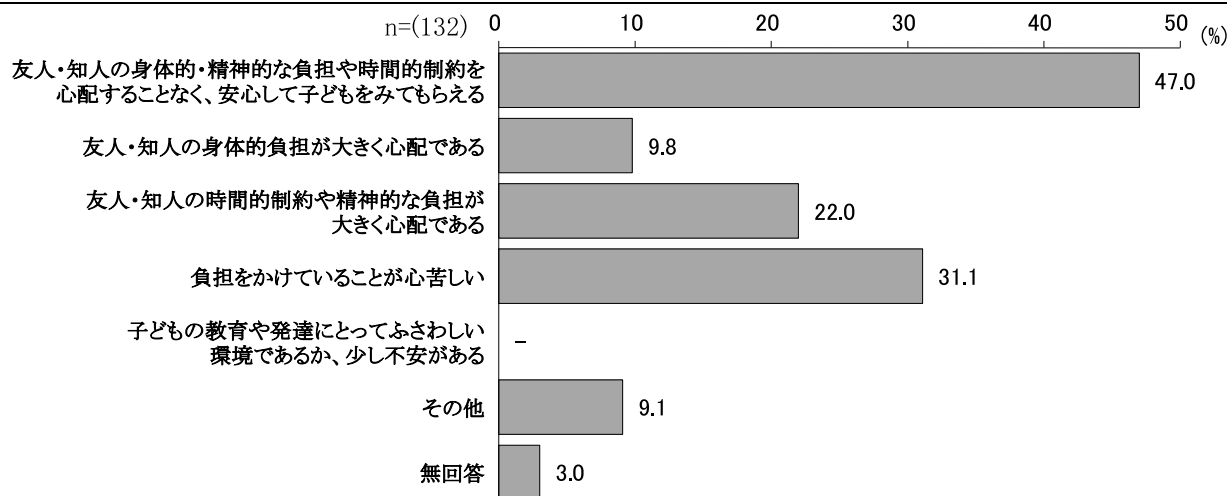


祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.5%と5割を超え最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が28.1%となっている。

(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

【問8で「日常的」または「緊急時もしくは用事の際」には、子どもをみてもらえる友人・知人がいると回答された方に】

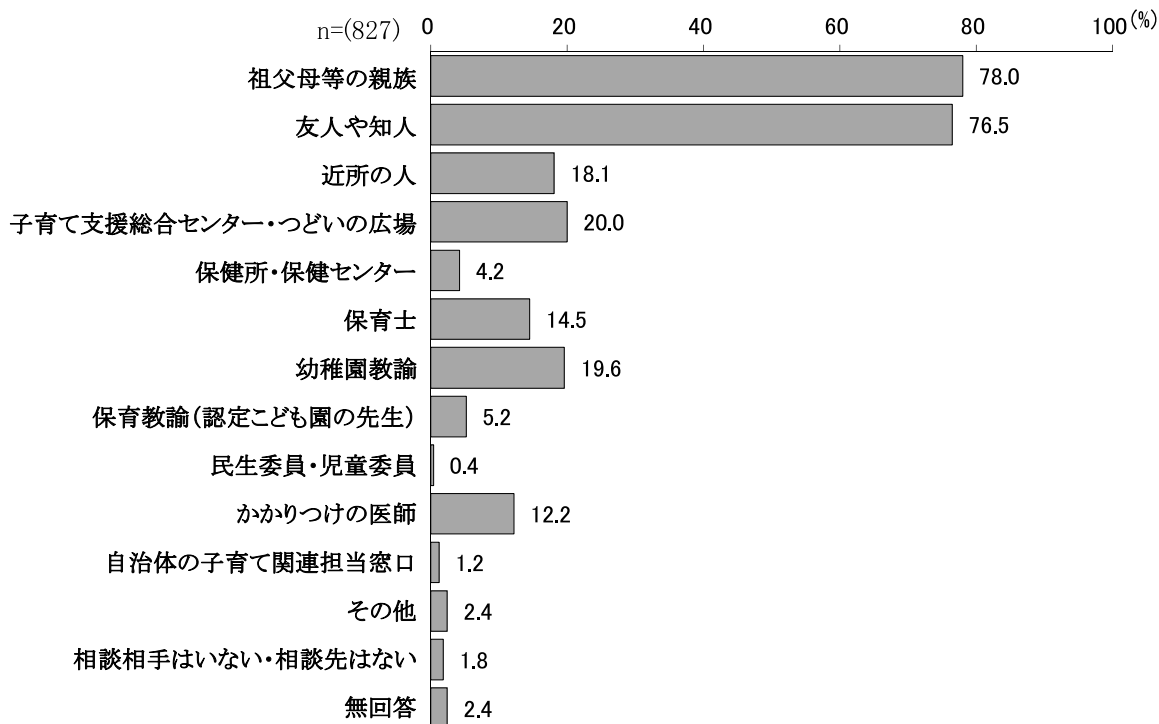
問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇は
いくつでも）



友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.0%と最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が31.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が22.0%となっている。

（4）子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無

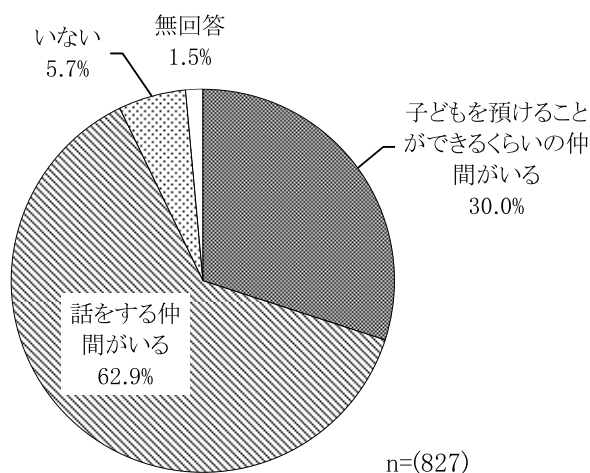
問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○はいくつでも）



子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無は、「祖父母等の親族」が78.0%、「友人や知人」が76.5%で7割を超えて高くなっている。

（5）子育ての仲間の有無

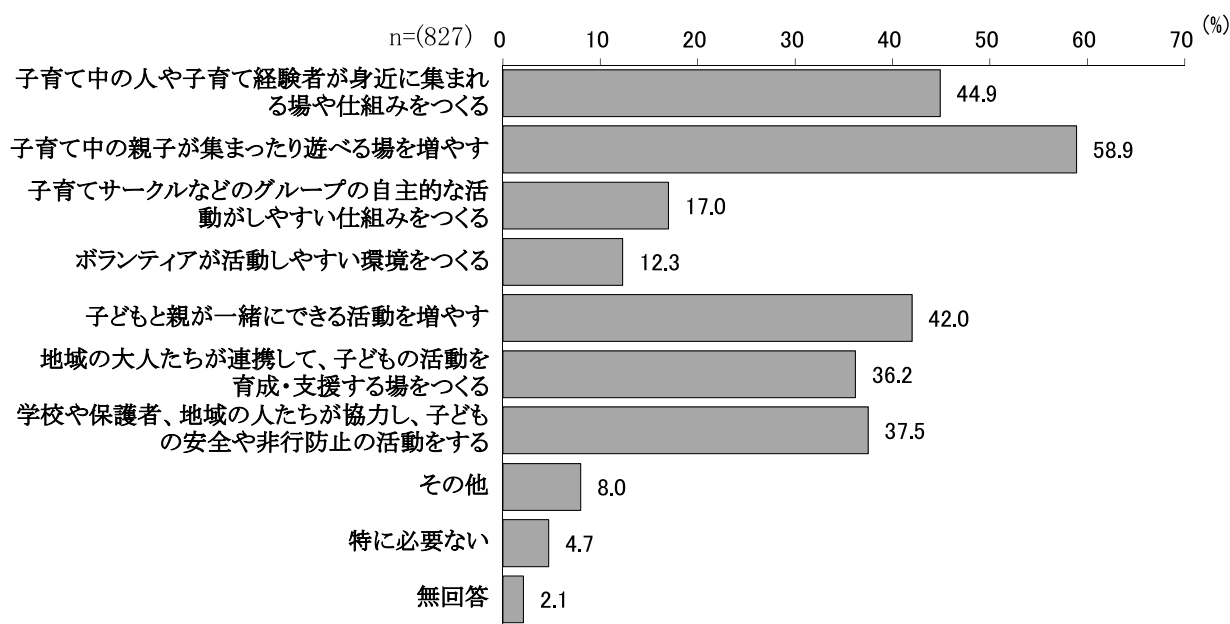
問10 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。（○は1つ）



子育ての仲間の有無は、「話をする仲間がいる」が62.9%で最も高く、次いで「子どもを預けることのできるくらいの仲間がいる」が30.0%となっている。一方、「いない」は5.7%となっている。

（6）安心して子育てをするために必要な地域の取り組み

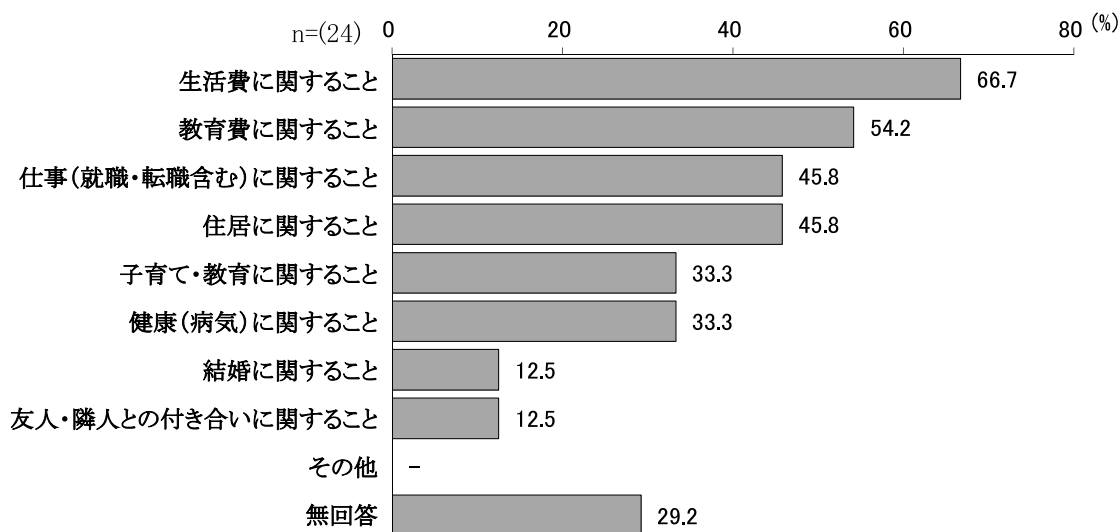
問11 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）



安心して子育てをするために必要な地域の取り組みは、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が58.9%で最も高く、次いで「子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる」が44.9%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が42.0%となっている。

（7）ひとり親家庭として生活するうえでの不安や悩み

問12 ひとり親家庭の保護者の方に伺います。生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。（○はいくつでも）

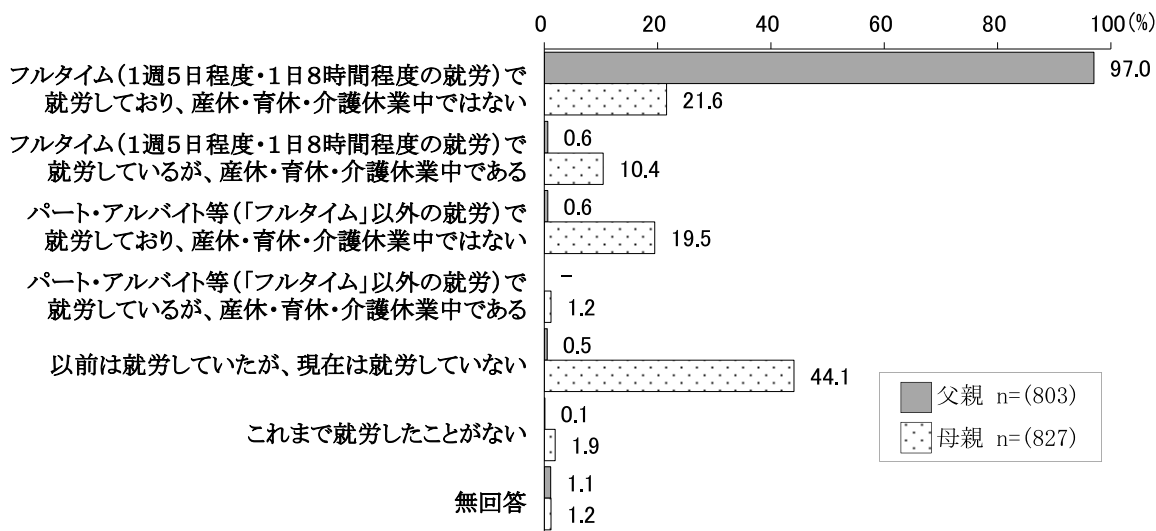


ひとり親家庭として生活するうえでの不安や悩みは、「生活費に関すること」が66.7%で最も高く、次いで「教育費に関すること」が54.2%、「仕事（就職・転職含む）に関すること」「住居に関すること」がともに45.8%となっている。

3. 保護者の就労状況について

(1) 父母の就労状況等

問13 あて名のお子さんの父母のそれぞれの就労状況等は、どれにあたりますか。（自営業、家族従事者を含む）番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）



※選択肢中の「産休」は母親のみの設問項目である。

父親の就労状況等は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が97.0%で9割以上を占めている。

母親の就労状況等は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が44.1%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が19.5%となっている。

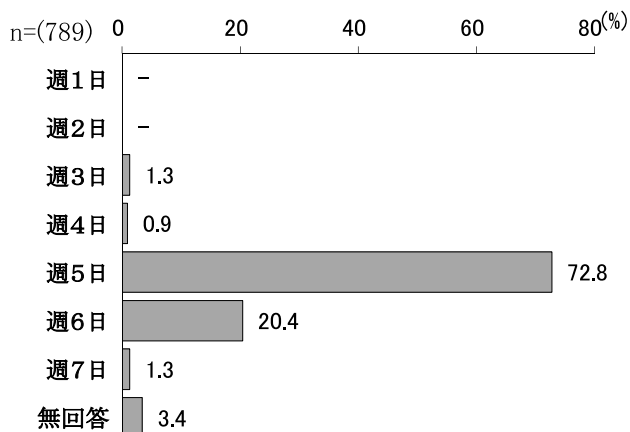
(2) 1週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間（片道）

【問13で「フルタイム」または「パート・アルバイト等」で就労していると回答された方に】

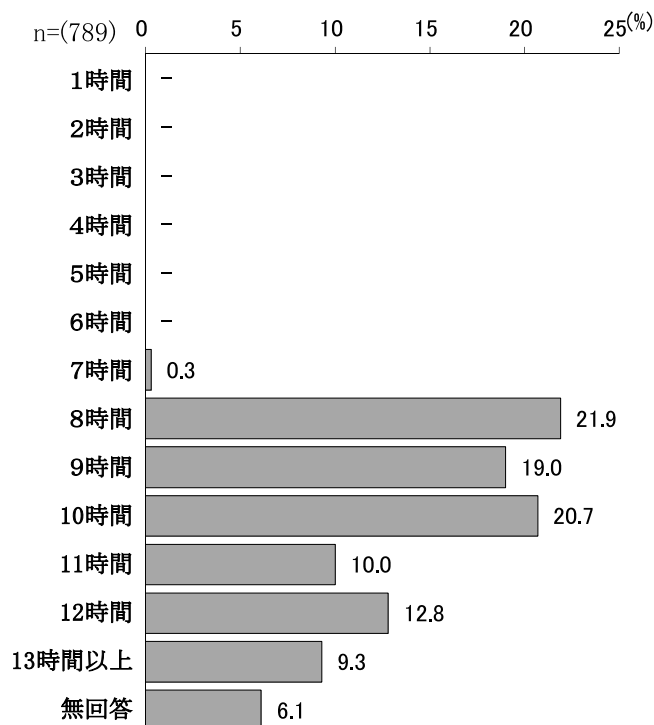
問13-1 「1週間当たりの就労日数」と「1日当たりの就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」「帰宅時間」「通勤時間（片道）」を記入してください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）
 ※時間は必ず24時間制でお答えください。（例）18時30分

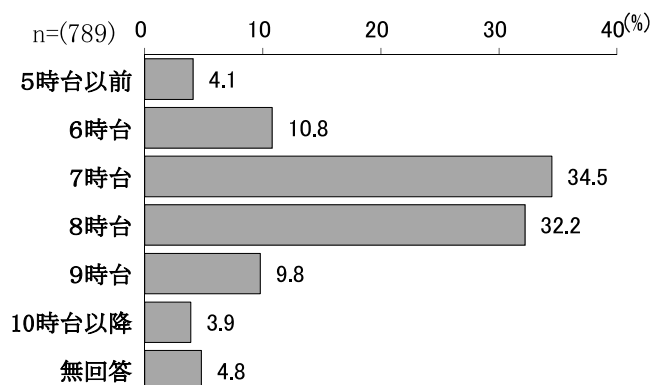
【父親の就労日数】



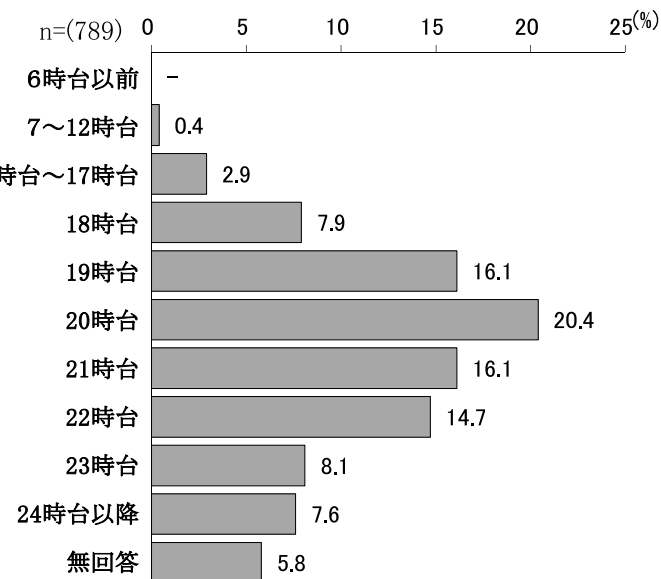
【父親の就労時間】



【父親の家を出る時間】

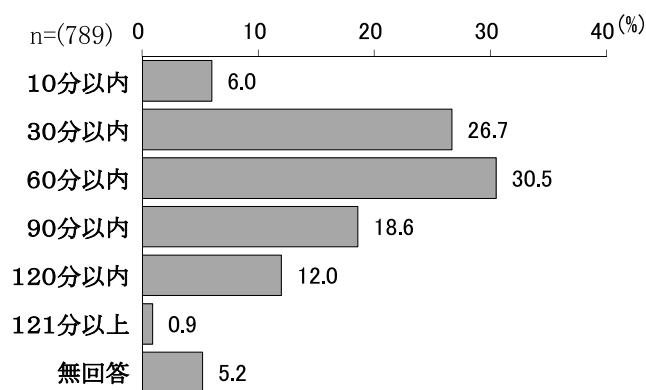


【父親の帰宅時間】



第2章 調査結果の詳細（未就学児）

【父親の通勤時間（片道）】



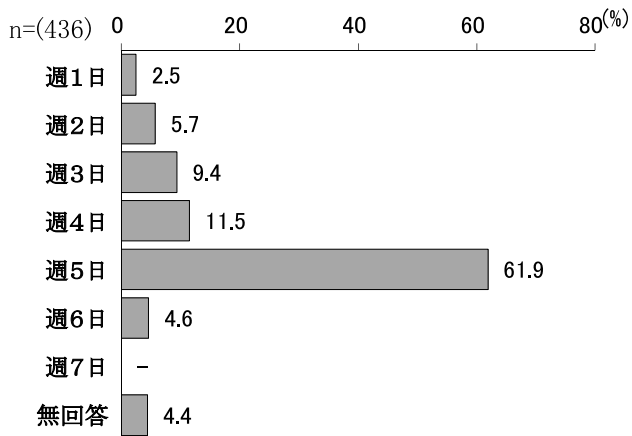
父親の就労日数は、「週5日」が72.8%で最も高く、次いで「週6日」が20.4%となっている。就労時間は「8時間」が21.9%で最も高く、次いで「10時間」が20.7%、「9時間」が19.0%となっている。

家を出る時間は、「7時台」が34.5%で最も多く、次いで「8時台」が32.2%、「6時台」が10.8%となっている。

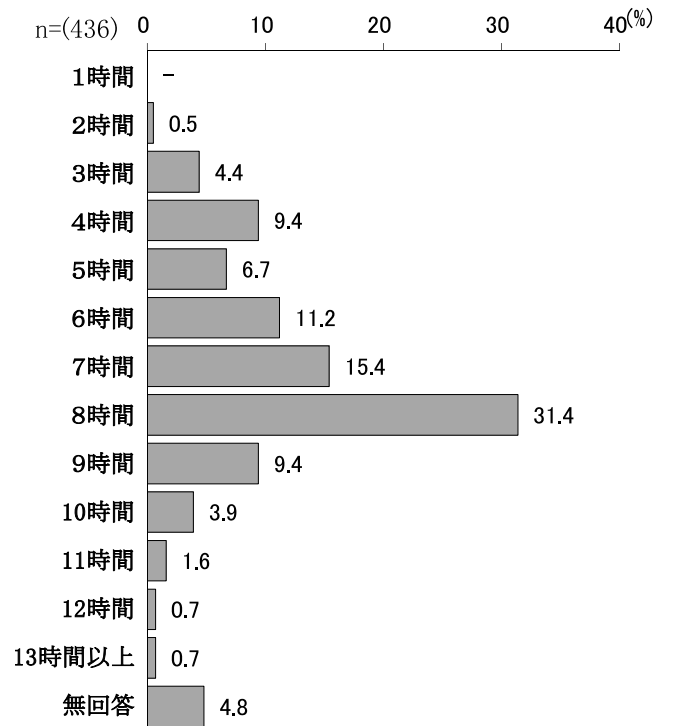
帰宅時間は、「20時台」が20.4%で最も高く、次いで「19時台」「21時台」がともに16.1%となっている。

通勤時間は、「60分以内」が30.5%で最も高く、次いで「30分以内」が26.7%、「90分以内」が18.6%となっている。

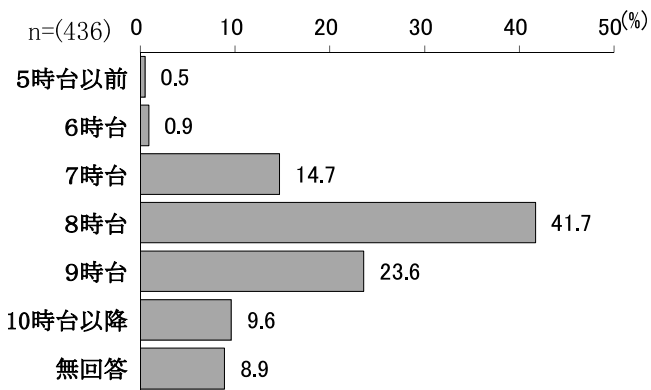
【母親の就労日数】



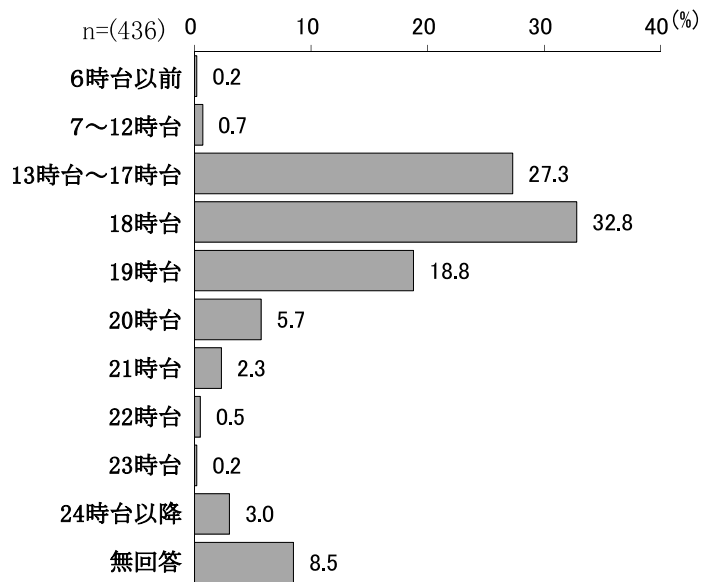
【母親の就労時間】



【母親の家を出る時間】

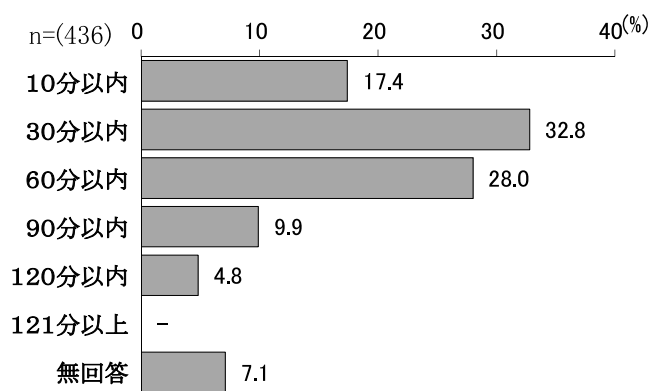


【母親の帰宅時間】



第2章 調査結果の詳細（未就学児）

【母親の通勤時間（片道）】



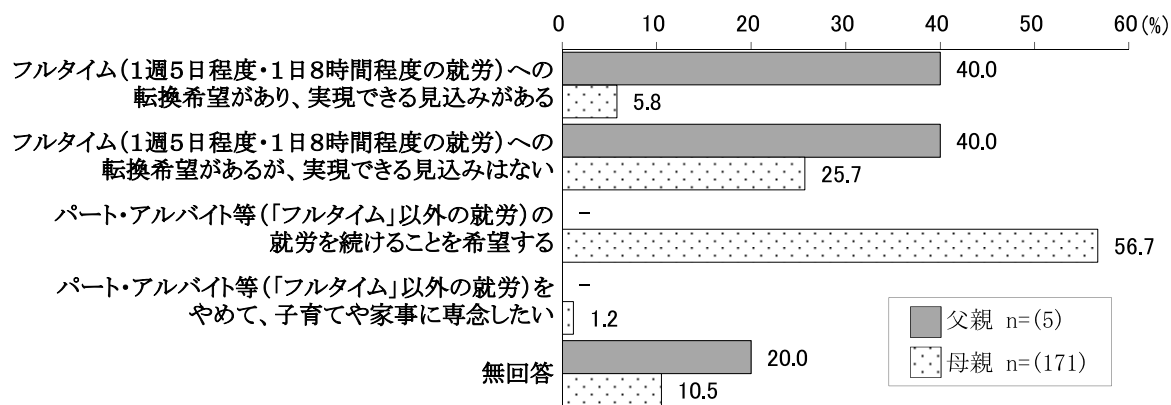
母親の就労日数は、「週5日」が61.9%で最も高く、次いで「週4日」が11.5%となっている。
就労時間は、「8時間」が31.4%で最も高く、次いで「7時間」が15.4%、「6時間」が11.2%となっている。

家を出る時間は、「8時台」が41.7%で最も高く、次いで「9時台」が23.6%となっている。
帰宅時間は、「18時台」が32.8%で最も高く、次いで「13時台～17時台」が27.3%となっている。
通勤時間は、「30分以内」が32.8%で最も高く、次いで「60分以内」が28.0%となっている。

（3）フルタイムへの転換希望

【問13で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」で就労していると回答された方に】

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○はそれぞれ1つ）



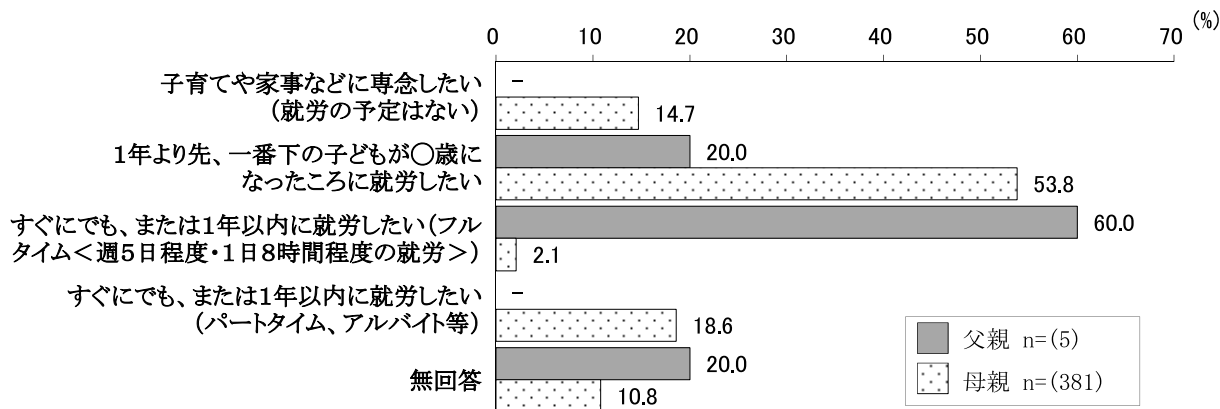
父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ40.0%となっている。

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望する」が56.7%で5割を超え高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が25.7%となっている。

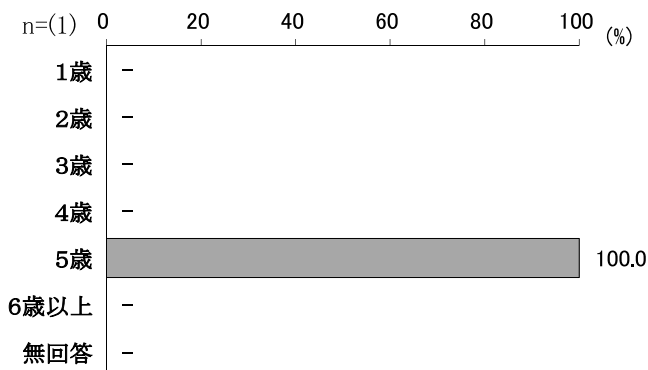
（4）就労希望

【問13で「就労していない」と回答された方に】

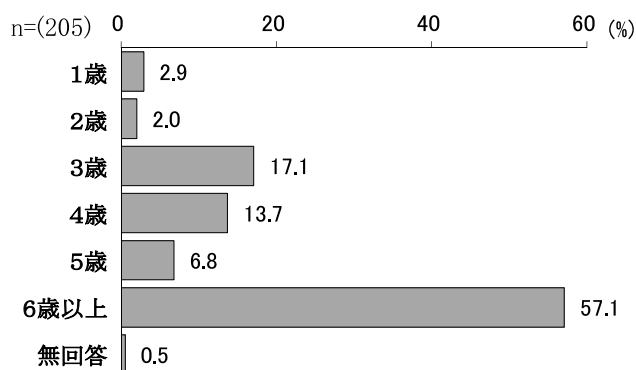
問13-3 就労希望はありますか。（○は1つ）



【父親 就労希望時期（末子の年齢）】



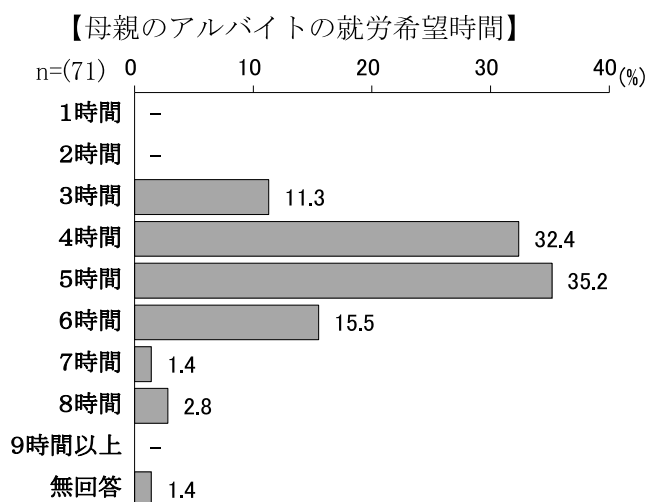
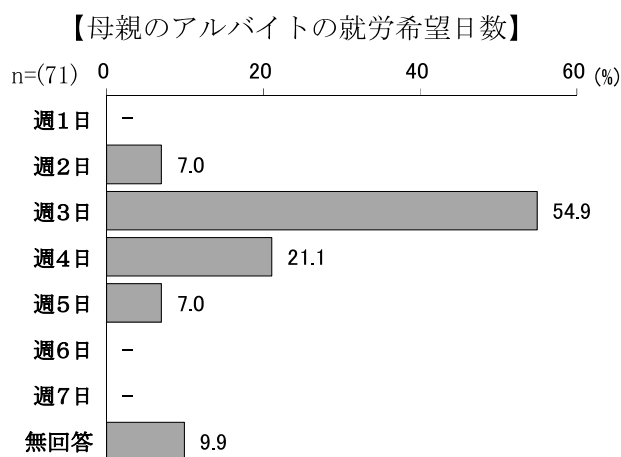
【母親 就労希望時期（末子の年齢）】



父親の就労希望は、80%の回答があった。

母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」が53.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」が18.6%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が14.7%となっている。

母親の就労を希望する時期は、子どもが「6歳以上」になったころが57.1%で最も高くなっている。



母親の「すぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」の就労希望日数は、「週3日」が54.9%で最も高く、次いで「週4日」が21.1%となっている。

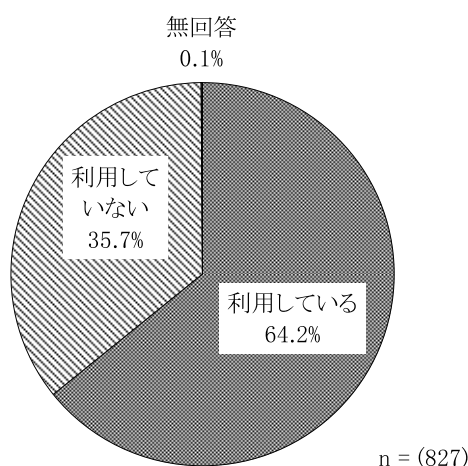
就労希望時間は、「5時間」が35.2%で最も高く、次いで「4時間」が32.4%、「6時間」が15.5%となっている。

4. 平日（月～金）の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
 具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示す事業が含まれます。

（1）幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況

問14 あて名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（○は1つ）

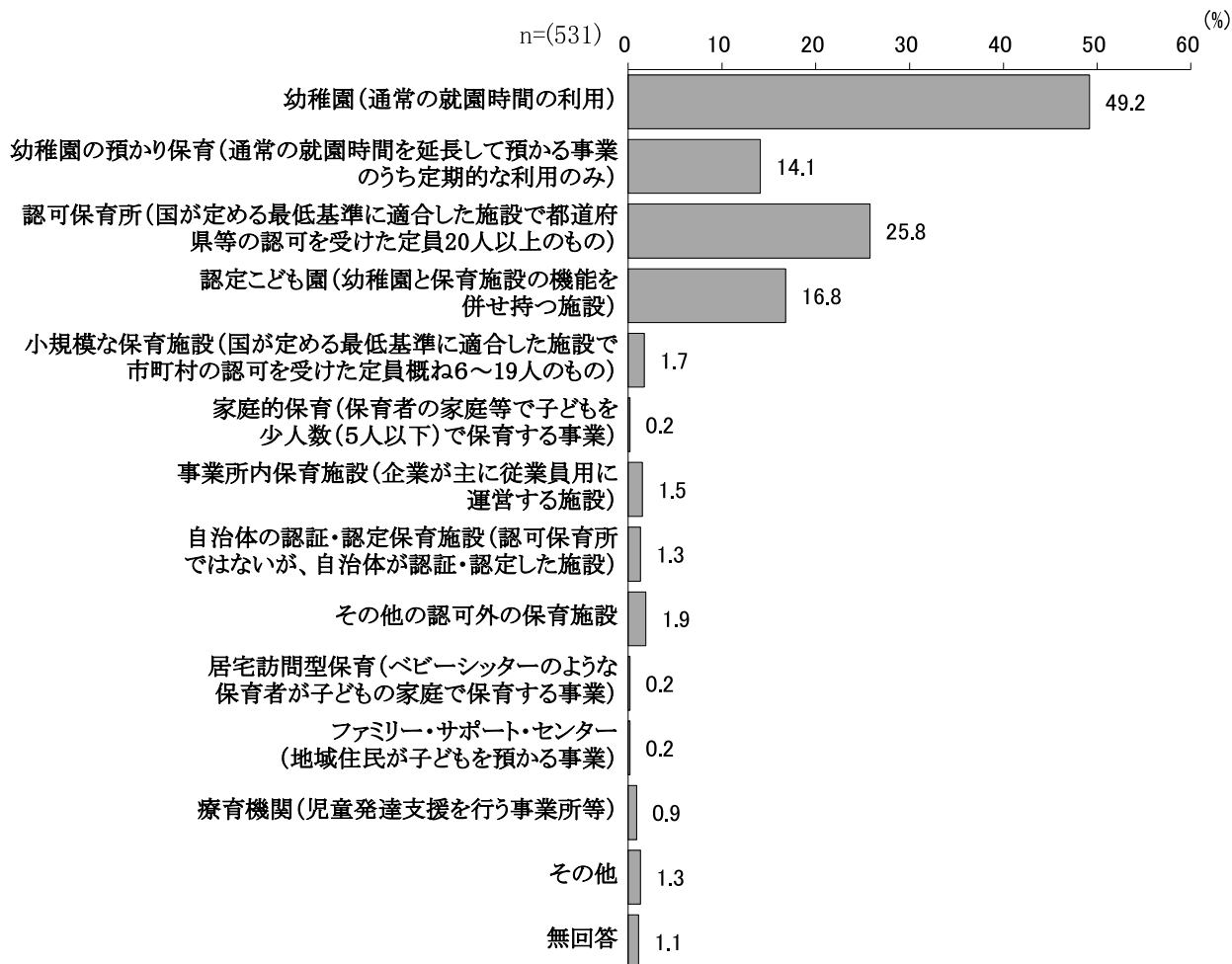


幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況は、「利用している」が64.2%で6割を超え高くなっている。一方、「利用していない」は35.7%となっている。

（2）年間を通じて平日に「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類

【問14-1～問14-4は、問14で「利用している」と回答された方に】

問14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。（〇はいくつでも）



平日に「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が49.2%で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が25.8%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が16.8%となっている。

（3）平日に定期的に利用している教育・保育事業の利用状況

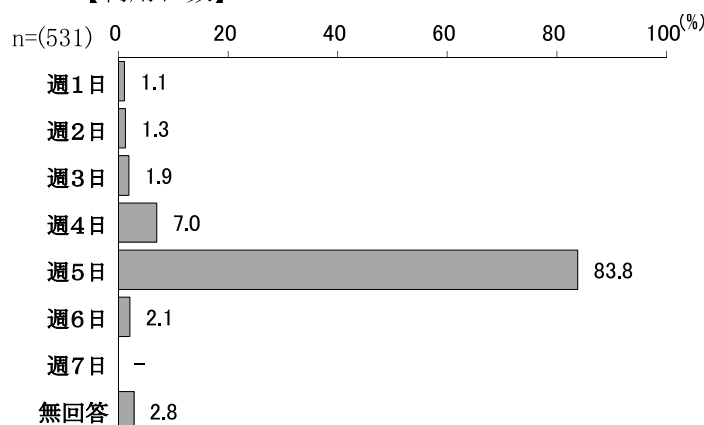
【問14-1～問14-4は、問14で「利用している」と回答された方に】

問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問14-1で複数選択した場合は、合計を記載してください）。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かお答えください。（数字を記入）

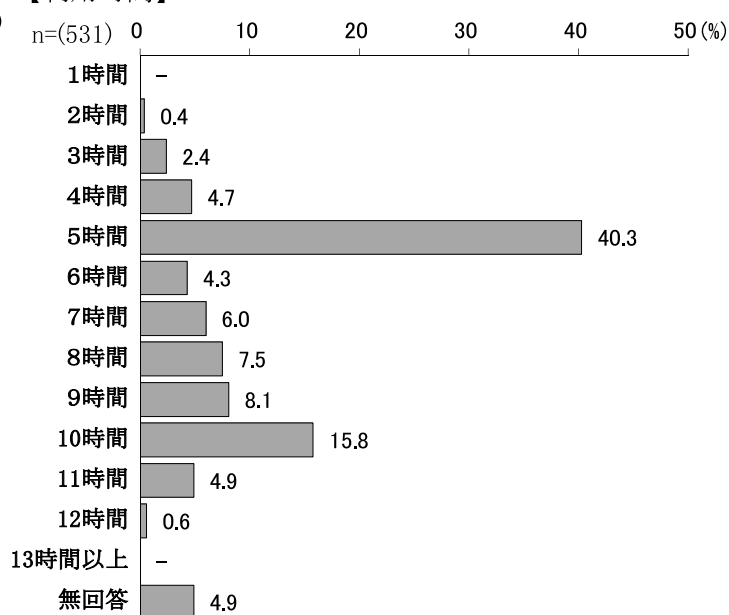
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）現在の状況

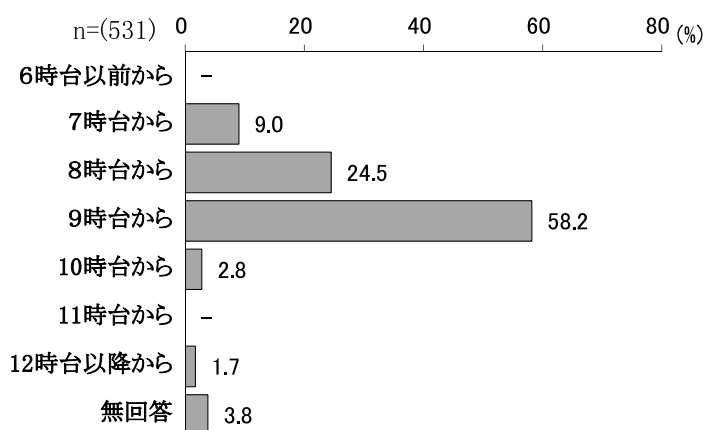
【利用日数】



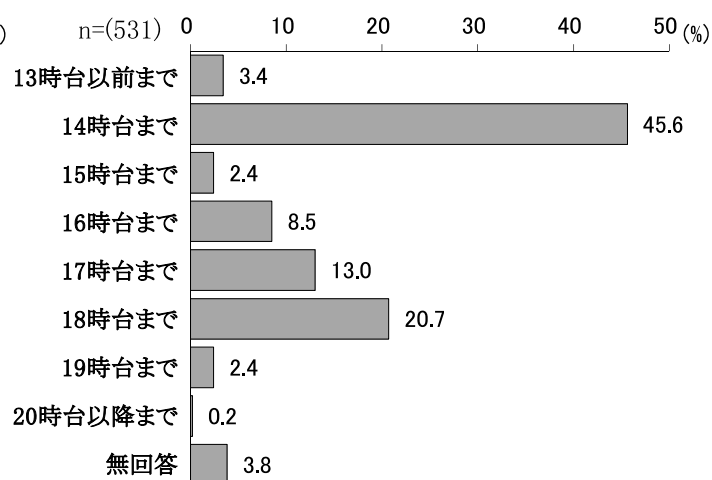
【利用時間】



【利用開始時間】



【利用終了時間】



平日に定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用日数は、「週5日」が83.8%で8割以上を占めている。

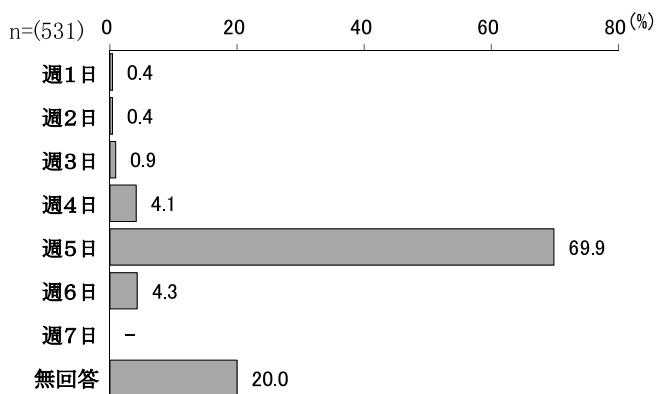
利用時間は、「5時間」が40.3%で最も高く、次いで「10時間」が15.8%となっている。

利用開始時間は、「9時台から」が58.2%で最も高く、次いで「8時台から」が24.5%となっている。

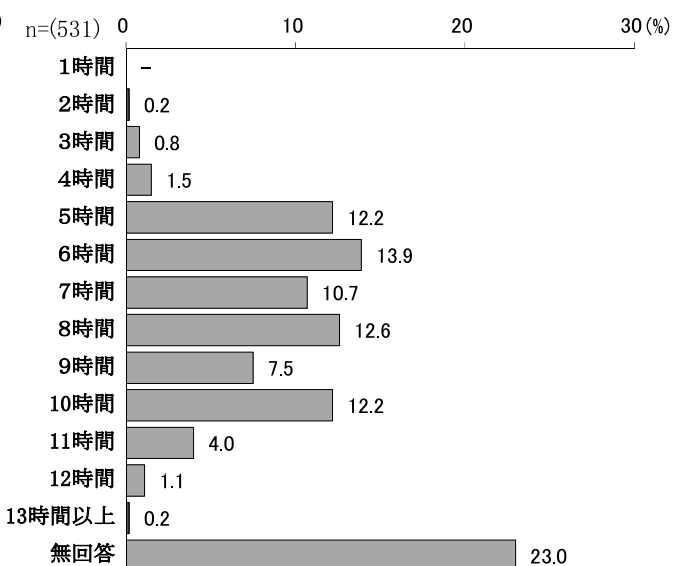
利用終了時間は、「14時台まで」が45.6%で最も高く、次いで「18時台まで」が20.7%、「17時台まで」が13.0%となっている。

（2）現在の希望

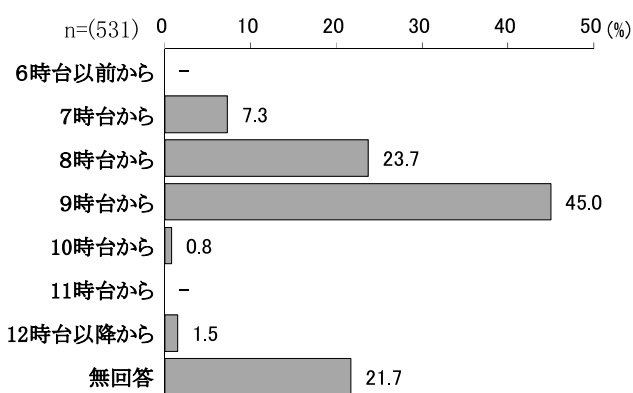
【利用日数】



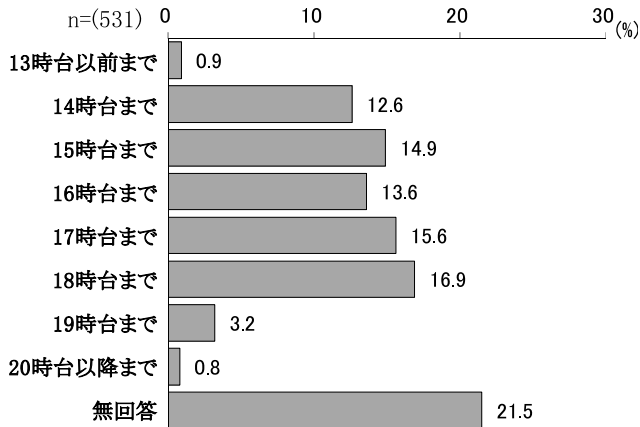
【利用時間】



【利用開始時間】



【利用終了時間】



平日に定期的に利用している教育・保育事業の現在の希望利用日数は、「週5日」が69.9%で最も高くなっている。

利用時間は、「6時間」が13.9%で最も高く、次いで「8時間」が12.6%、「5時間」「10時間」が12.2%となっている。

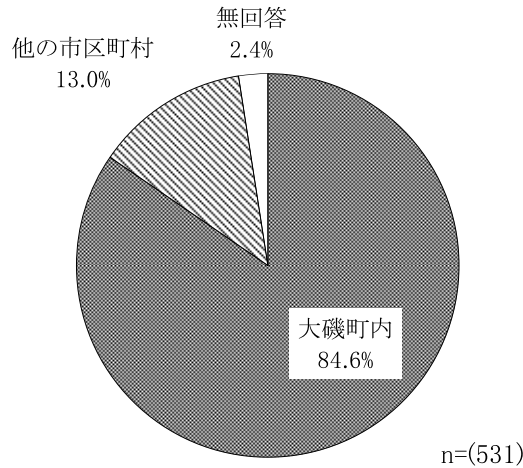
利用開始時間は、「9時台から」が45.0%で最も高く、次いで「8時台から」が23.7%となっている。

利用終了時間は、「18時台まで」が16.9%で最も高く、次いで「17時台まで」が15.6%、「15時台まで」が14.9%となっている。

（4）主に利用している教育・保育事業の実施場所

【問14-1～問14-4は、問14で「利用している」と回答された方に】

問14-3 現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（○は1つ）

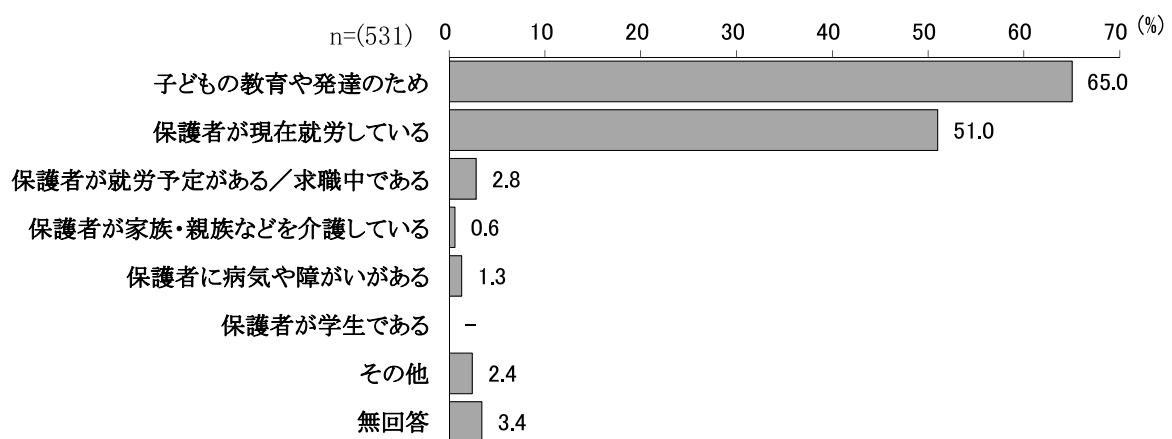


主に利用している教育・保育事業の実施場所は、「大磯町内」が84.6%と8割を占めている。一方、「他の市区町村」は13.0%となっている。

（5）平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由

【問14-1～問14-4は、問14で「利用している」と回答された方に】

問14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

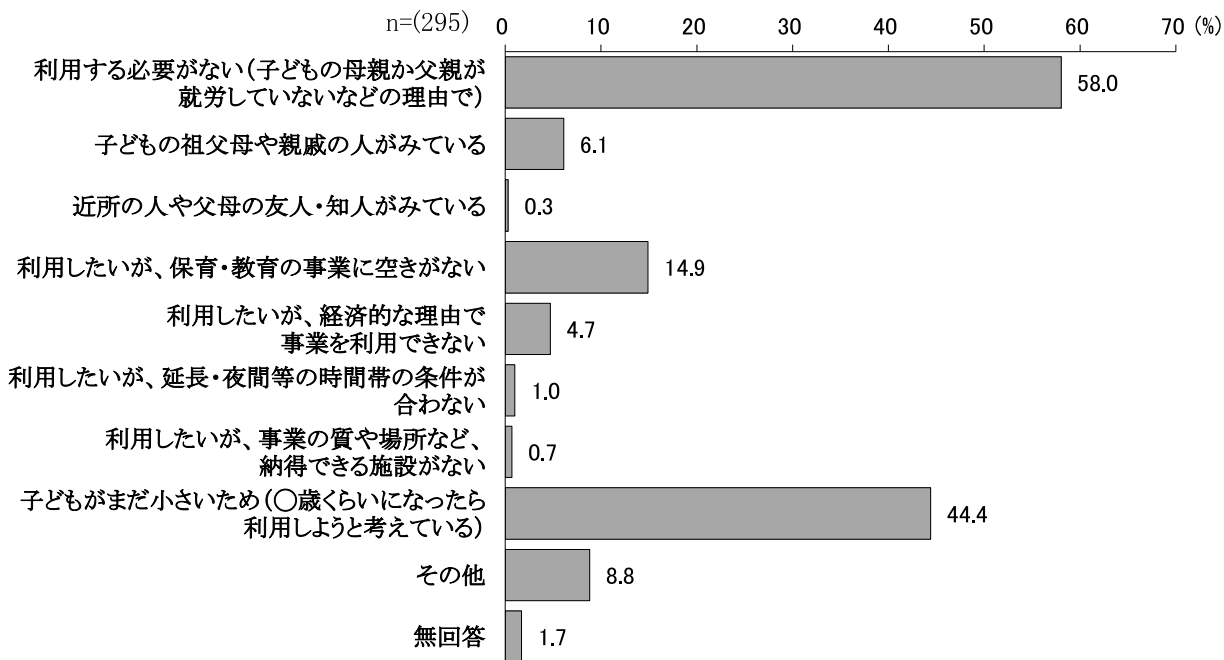


平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由は、「子どもの教育や発達のため」が65.0%と6割を超え最も高く、次いで「保護者が現在就労している」が51.0%となっている。

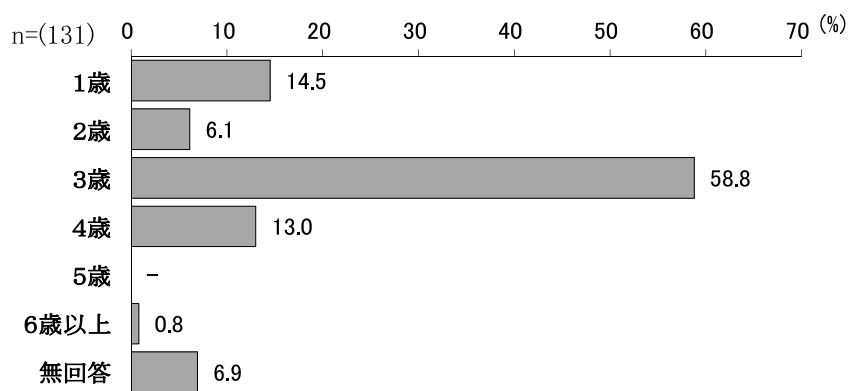
（6）平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

【問14で「利用していない」と回答された方に】

問14-5 利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）



【事業の利用を希望する子どもの年齢】



平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）」が58.0%で5割を超え最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」が44.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が14.9%となっている。

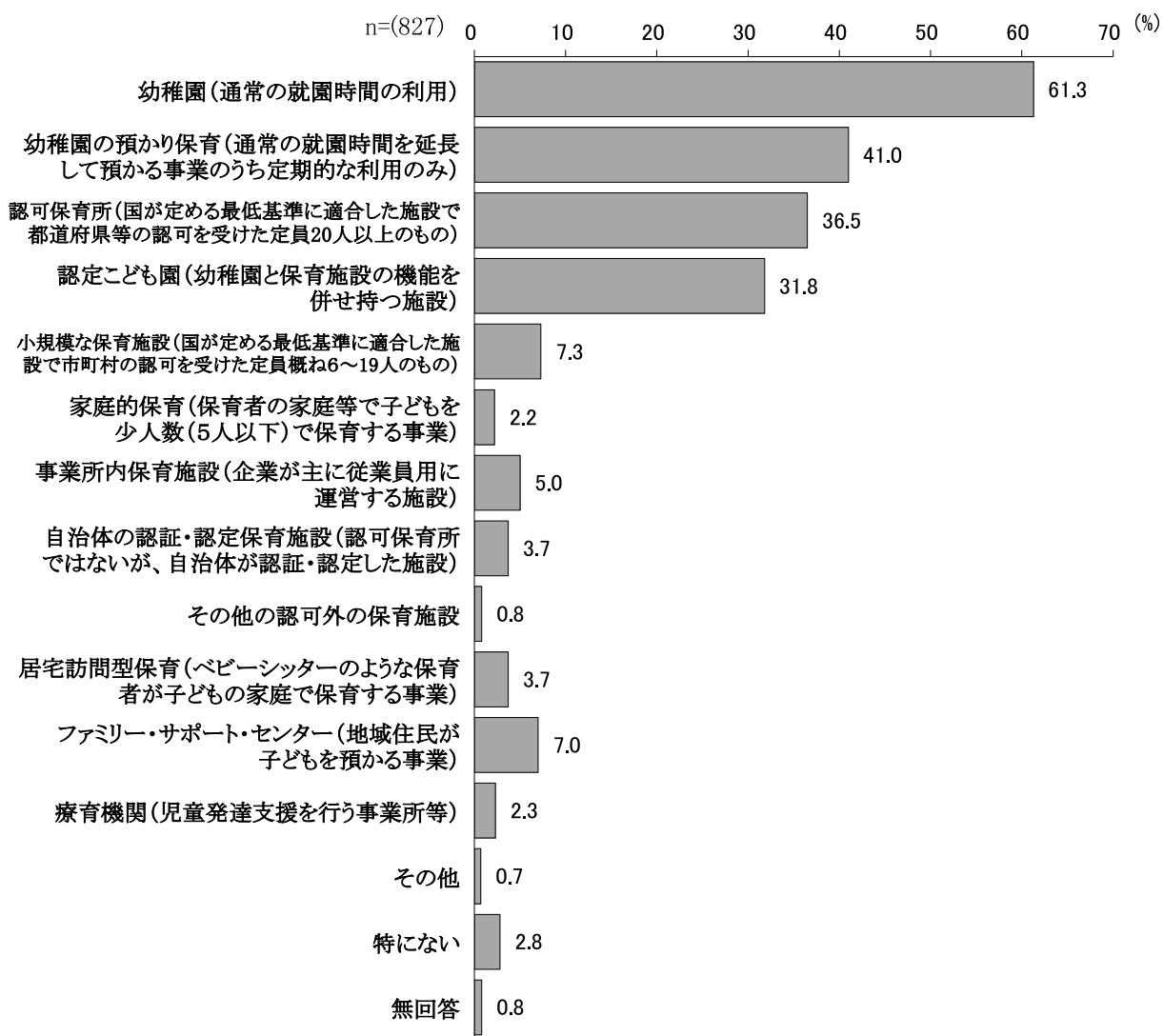
事業の利用を希望する時期は、子どもが「3歳」くらいになったらが58.8%で最も多く、次いで「1歳」くらいになったらが14.5%、「4歳」くらいになったらが13.0%となっている。

(7) 子どもの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業

【すべての方に】

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。（○はいくつでも）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

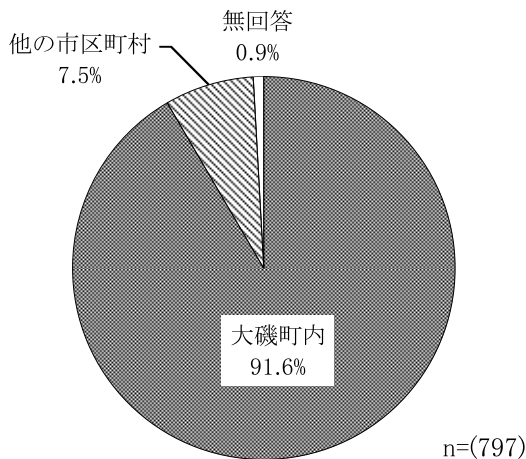


子どもの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業は、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が61.3%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」が41.0%、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」が36.5%となっている。

（8）教育・保育事業を利用したい場所

【問15でいずれかの「定期的に」利用したい事業を選択した方に】

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。（○は1つ）

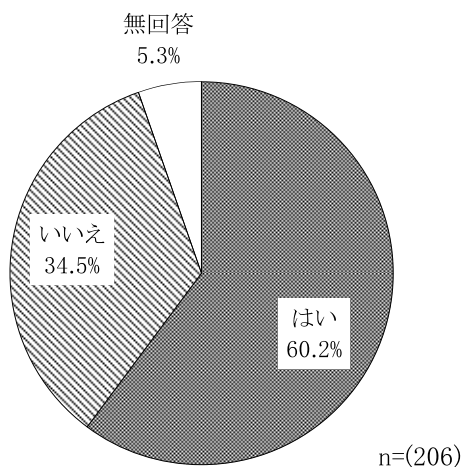


教育・保育事業を利用したい場所は、「大磯町内」が9割以上を占めている。一方、「他の市区町村」が7.5%となっている。

（9）幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望

【問15で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつその他の事業にも○をつけた方に】

問15-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）



幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望は、「はい」が60.2%で6割を占めている。一方、「いいえ」は34.5%となっている。

(10) 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望する理由

【問15-2で「はい」と回答された方に】

問15-3 その理由は何ですか。枠内にご記入ください。

内容	件数	内容	件数
働きたいため	63	親子の時間も持ちたいため	7
教育のため	44	小学校就学に向むけて	6
集団生活を経験してもらいたいため	25	無職のため	6
幼稚園は信頼・安心できるため	21	家から近くて便利	5
親自身の時間の余裕を持つため	15	家族の看病、通院があるため	4
保育園の料金が高いため	9	子どもを遊ばせたいため	4
兄弟が入園している	8	保育園に入れなため	3
親族に頼めないため	8	先生の質が良い	3

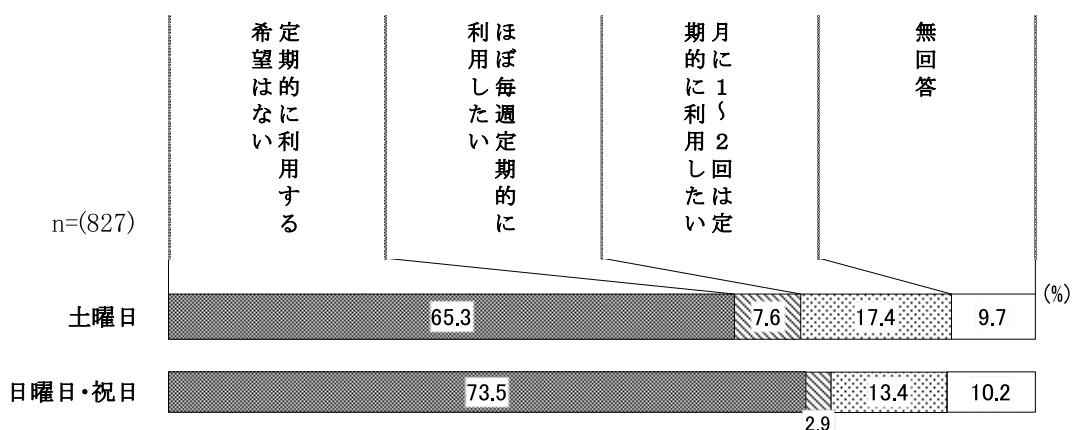
5. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

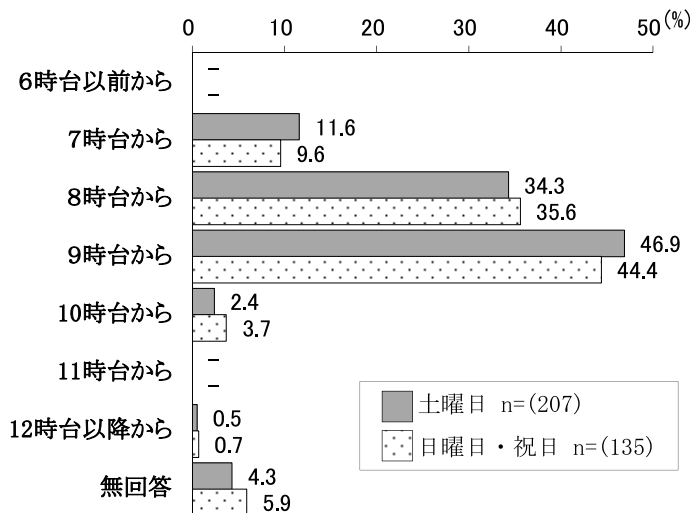
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



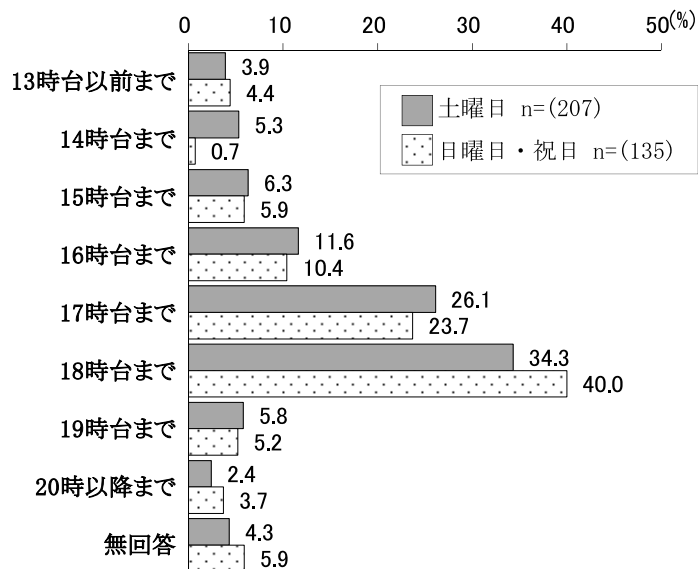
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「定期的に利用する希望はない」が65.3%で最も高く、次いで「月に1~2回は定期的に利用したい」が17.4%となっている。

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望でも、「定期的に利用する希望はない」が73.5%で最も高く、次いで「月に1~2回は定期的に利用したい」が13.4%となっている。

【利用希望開始時間】



【利用希望終了時間】



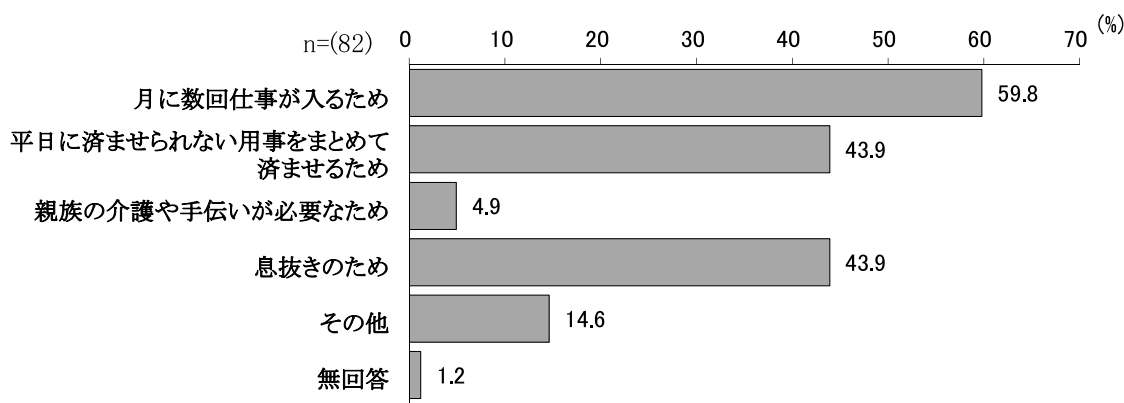
利用希望開始時間は、土曜日と日曜日・祝日で「9時台から」が4割を超えて最も高い。

利用希望終了時間は、「18時台まで」が土曜日で34.3%、日曜日・祝日で40.0%とともに最も高い。

(2) 「定期的」な教育・保育事業を、たまに利用したい理由

【問16の土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回は定期的に利用したい」と回答された方に】

問16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)



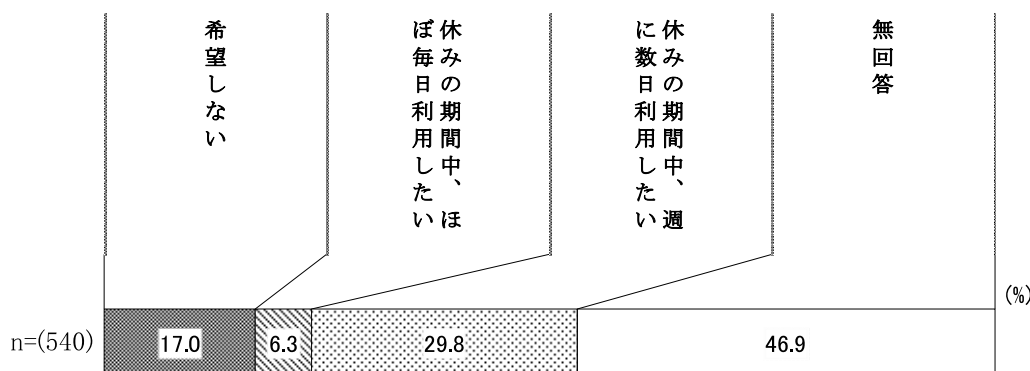
「定期的」な教育・保育事業を、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が59.8%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」がともに43.9%となっている。

（3）長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園）

【「幼稚園」を利用されている方に】

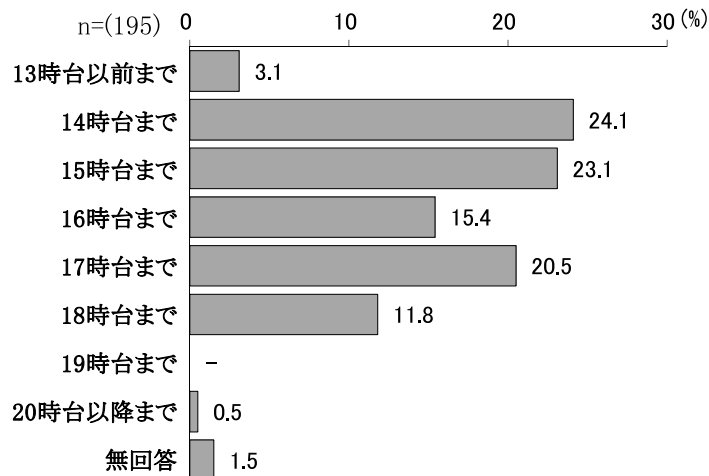
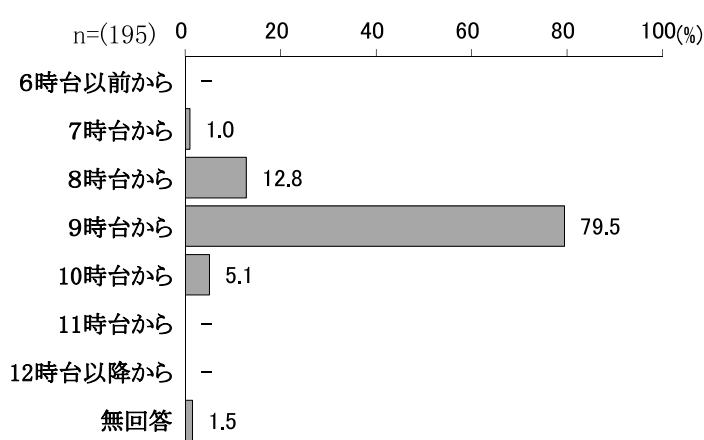
問17 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



【利用希望開始時間】

【利用希望終了時間】



長期の休暇期間中に教育・保育事業（幼稚園）の利用を希望するかについて、「休みの期間中、週に数日利用したい」が29.8%、次いで「希望しない」が17.0%となっている。

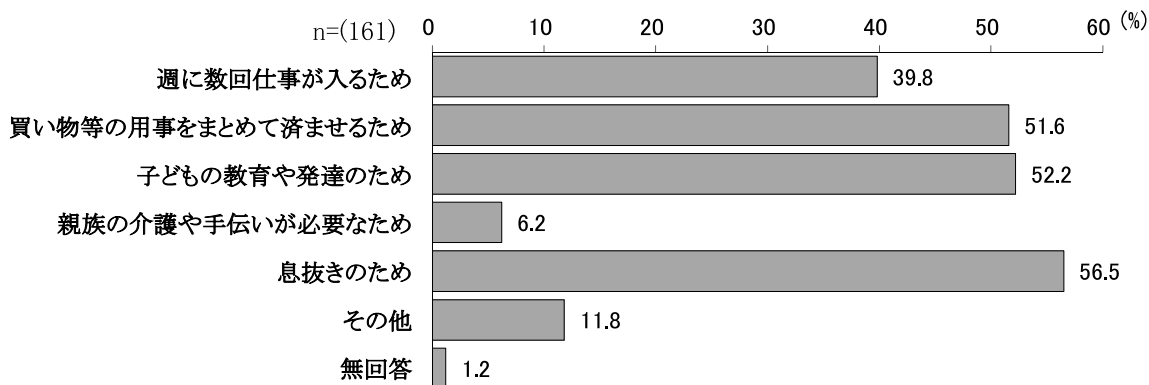
利用希望開始時間は、「9時台から」が79.5%で最も高く、次いで「8時台から」が12.8%となっている。

利用希望終了時間は、「14時台まで」が24.1%と最も高く、次いで「15時台まで」が23.1%、「17時台まで」が20.5%となっている。

（4）教育・保育事業（幼稚園）を、毎日ではなく、たまに利用したい理由

【問17で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答された方に】

問17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

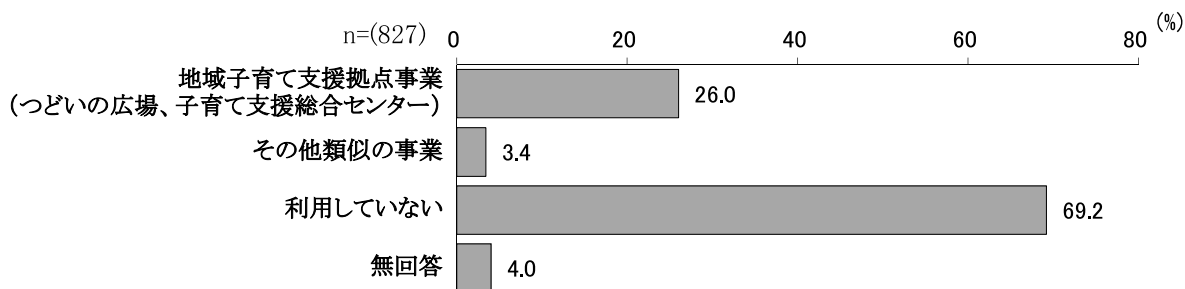


長期の休暇期間中に、教育・保育事業（幼稚園）を毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「息抜きのため」が56.5%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が52.2%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が51.6%となっている。

6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

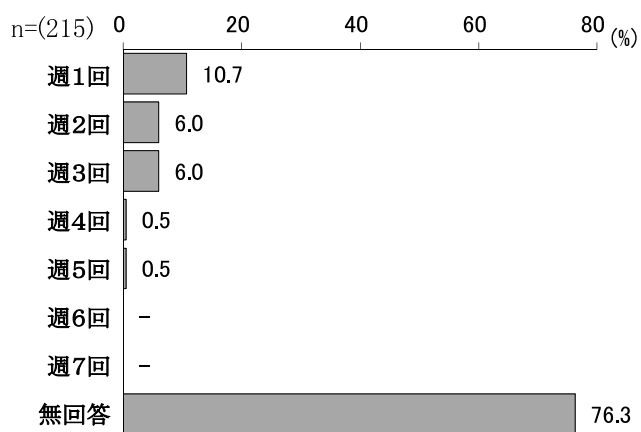
（1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

問18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援総合センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（〇はいくつでも）また、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）

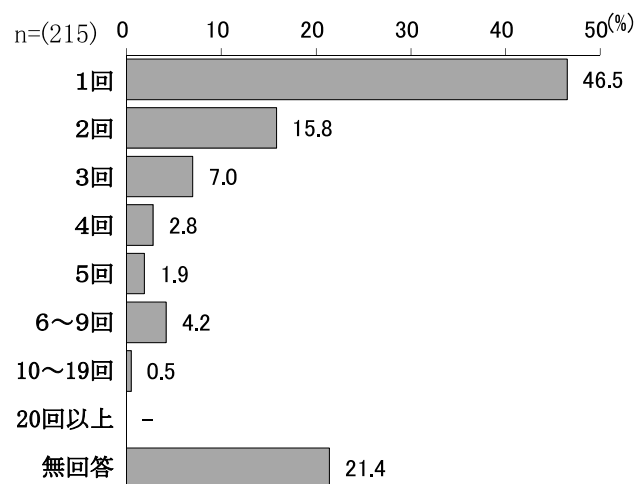


地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が69.2%で7割弱を占めている。地域子育て支援拠点事業（つどいの広場、子育て支援総合センター）は26.0%となっている。

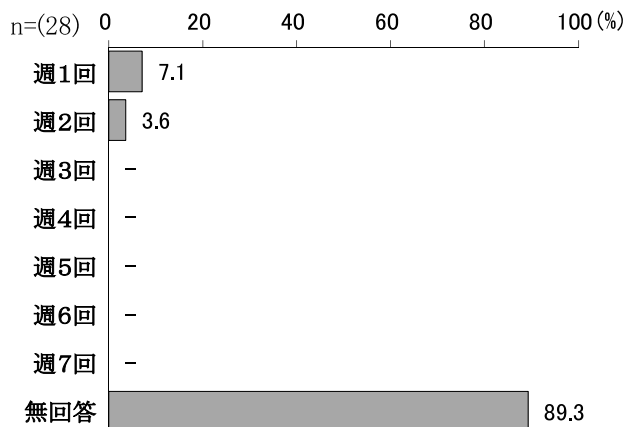
【地域子育て支援拠点事業の利用状況（週）】



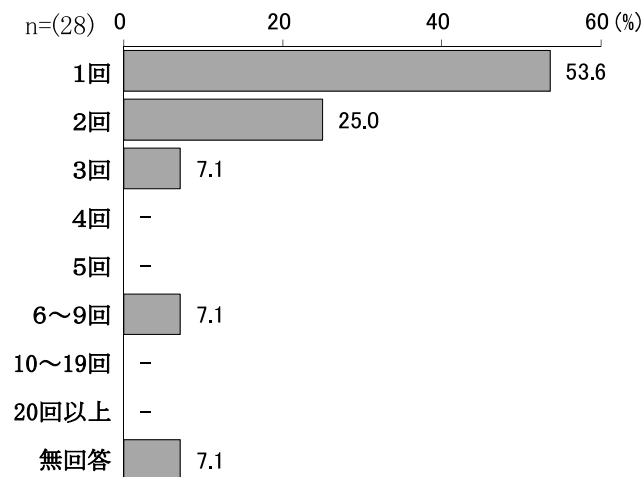
【地域子育て支援拠点事業の利用状況（月）】



【その他の類似事業の利用状況（週）】

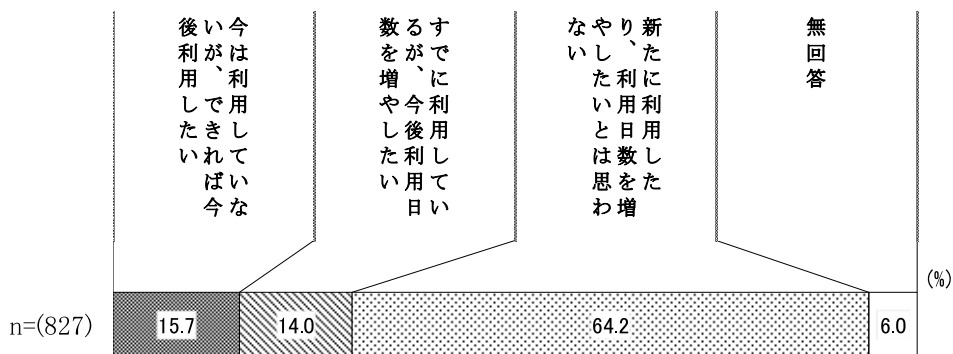


【その他の類似事業の利用状況（月）】



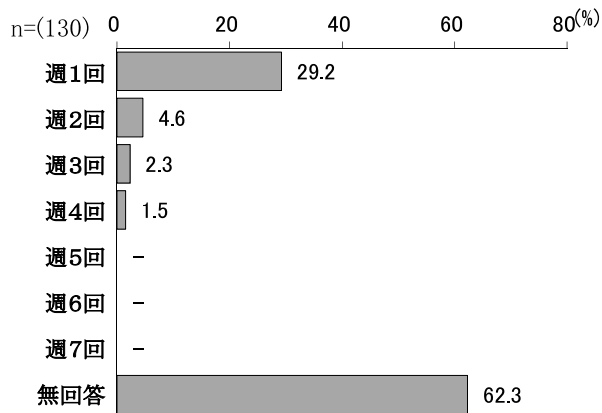
（2）地域子育て支援拠点事業等を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（○は1つ）また、おおよその利用希望回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）

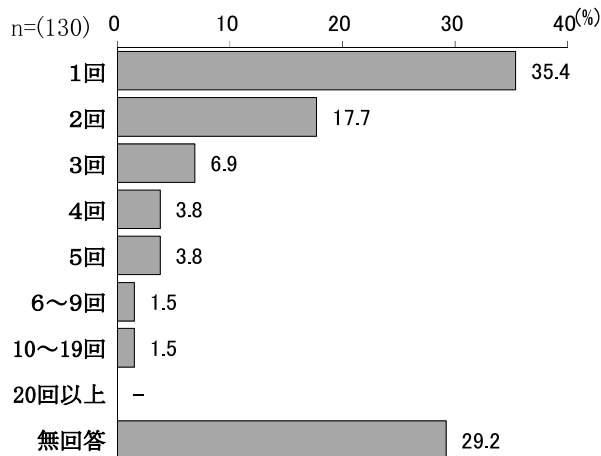


地域子育て支援拠点事業等を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が64.2%で最も高く、次いで「今は利用していないが、できれば今後利用したい」が15.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が14.0%となっている。

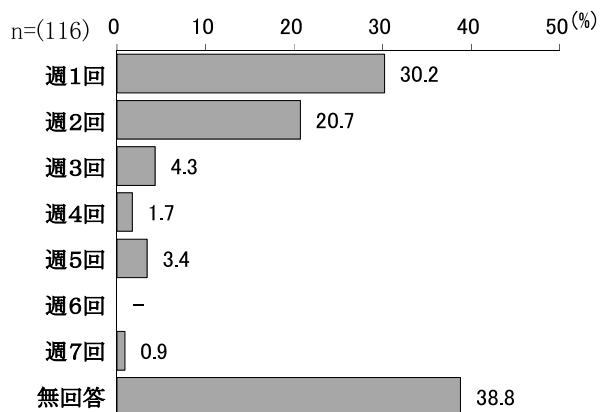
【地域子育て支援拠点事業の利用希望（週）】



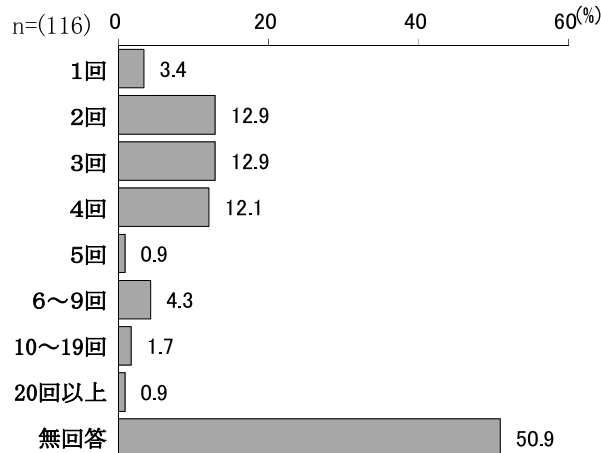
【地域子育て支援拠点事業の利用希望（月）】



【その他の類似事業の利用希望（週）】



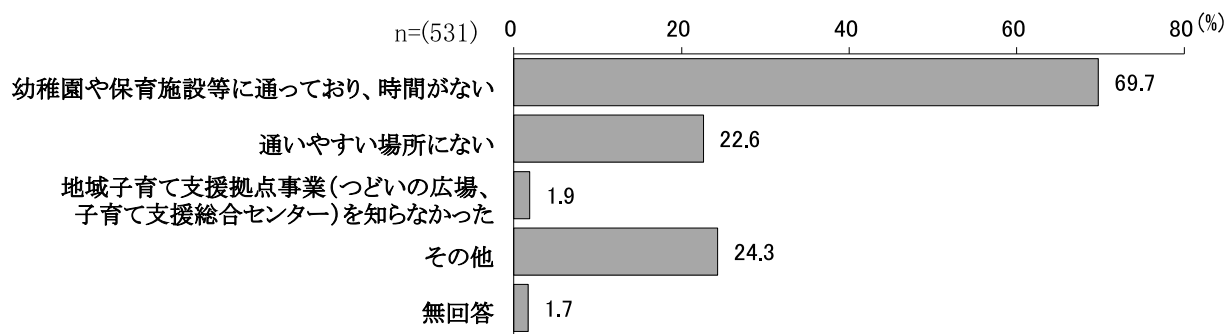
【その他の類似事業の利用希望（月）】



(3) 地域子育て支援拠点事業を新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由

【問19で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答された方に】

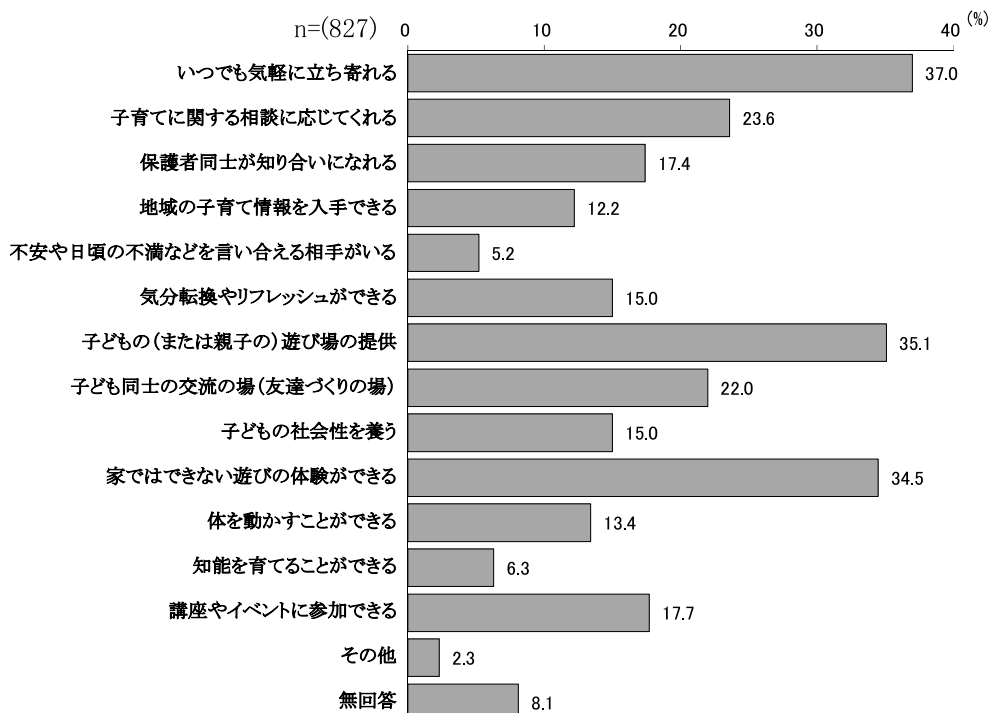
問19-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)



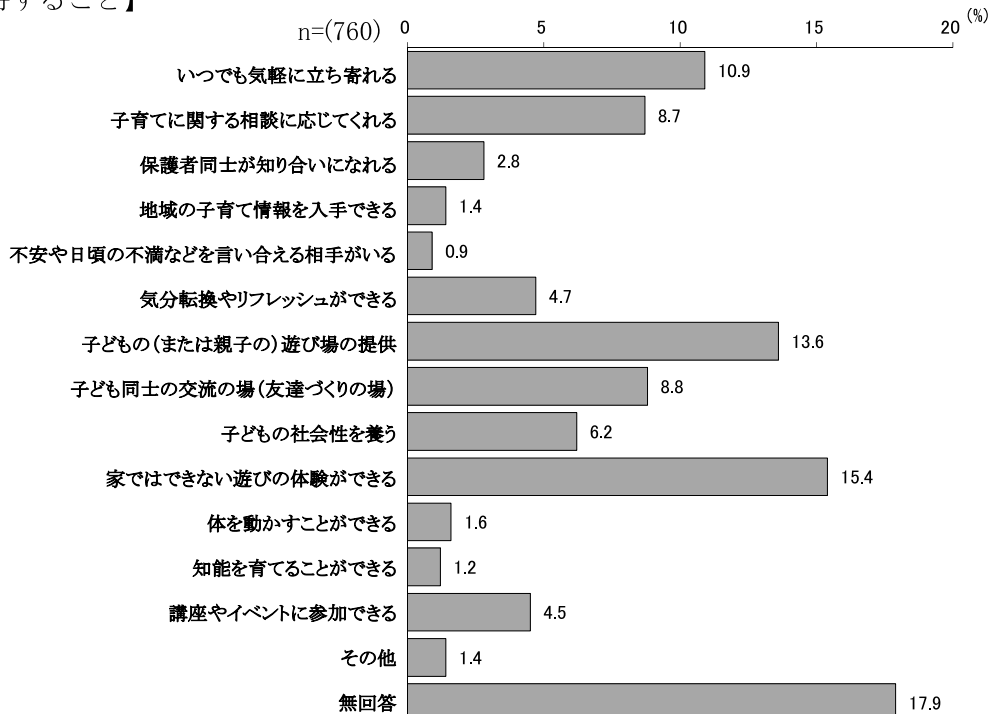
地域子育て支援拠点事業を新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由は、「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が69.7%で約7割と最も高く、次いで「通しやすい場所がない」が22.6%となっている。

（4）地域子育て支援拠点事業に期待すること

問20 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場、子育て支援総合センター）に期待することは、どれですか。（○は3つまで、最も期待する番号を1つ枠内にご記入ください）



【最も期待すること】



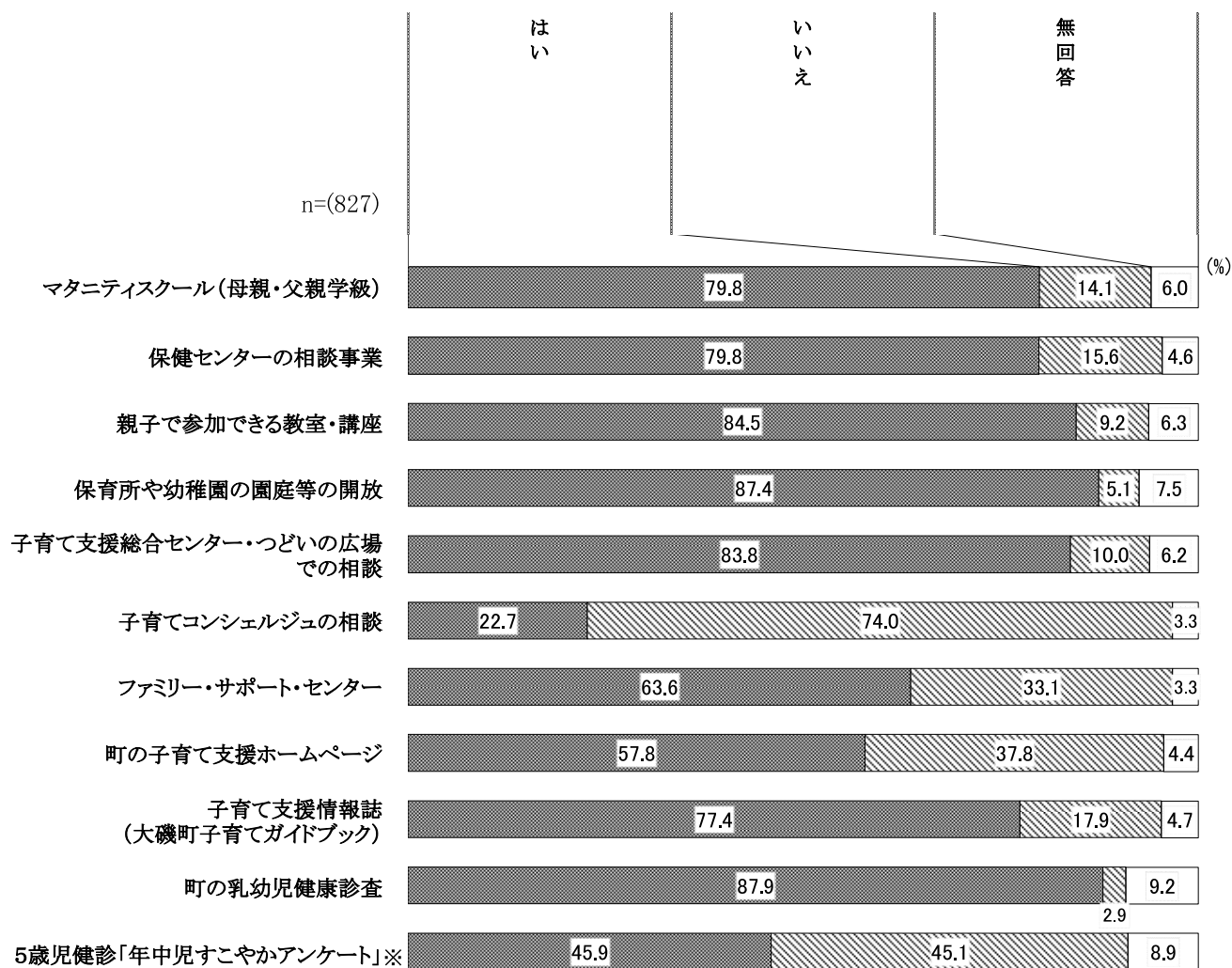
地域子育て支援拠点事業に期待することは、「いつでも気軽に立ち寄れる」が37.0%で最も高く、次いで「子どもの（または親子の）遊び場の提供」が35.1%、「家ではできない遊びの体験ができる」が34.5%となっている。

最も期待することは、「家ではできない遊びの体験ができる」が15.4%で最も高く、次いで「子どもの（または親子の）遊び場の提供」が13.6%、「いつでも気軽に立ち寄れる」が10.9%となっている。

（5）子育て関連事業で知っているもの、利用経験、利用意向のあるもの

問21 子育て関連事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。（各事業ごとにお答えください。）なお、事業によっては、大磯町で実施されていないものもあります。

【知っている事業】

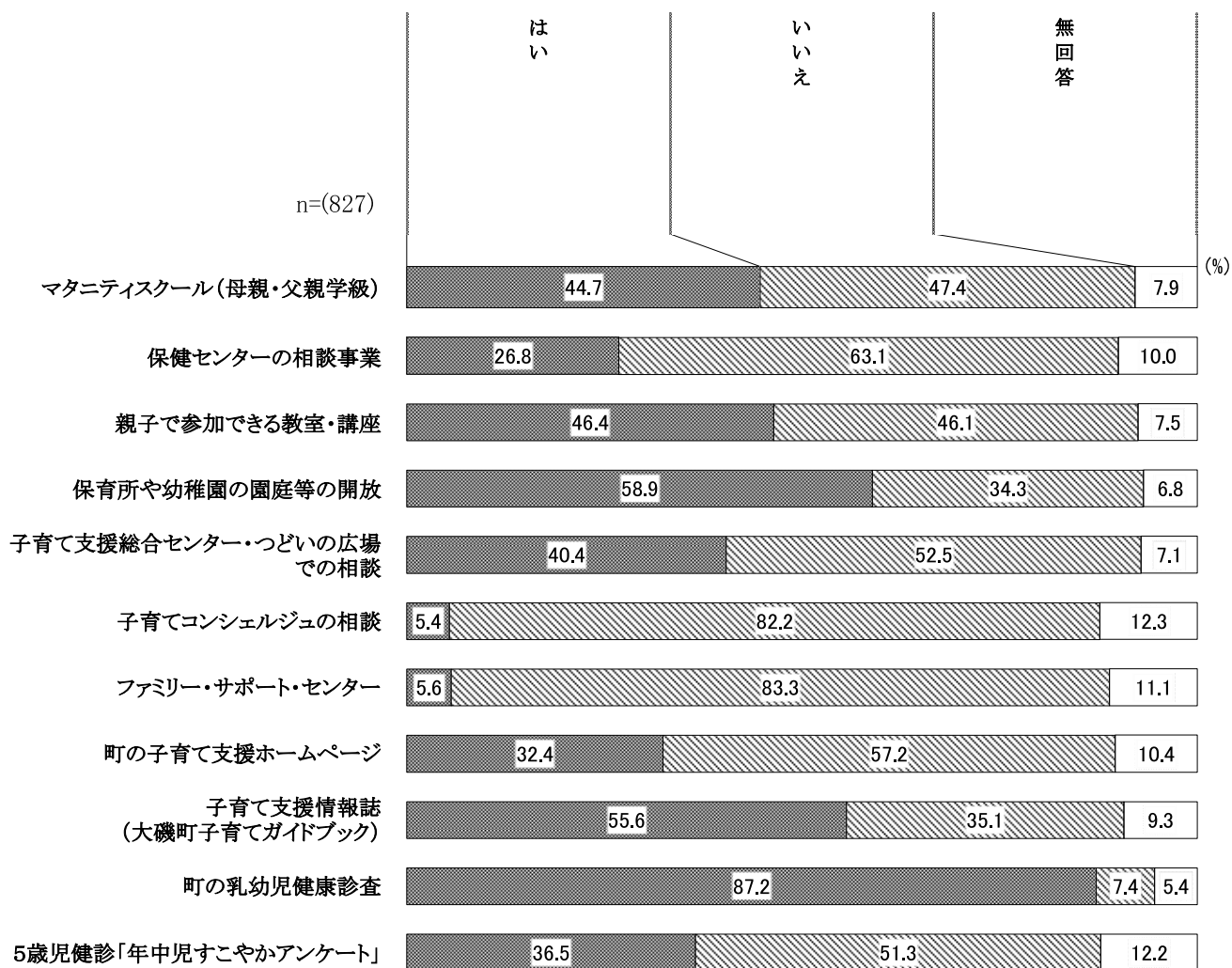


※「年中児すこやかアンケート」とは満5歳児に対してお子さんの発達や行動・生活状況について実施するアンケート

子育て関連事業で知っているものは、「町の乳幼児健康診査」が87.9%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が87.4%、「親子で参加できる教室・講座」が84.5%となっている。

一方、知らない事業は、「子育てコンシェルジュの相談」が74.0%で最も高く、次いで「5歳児健診『年中児すこやかアンケート』」が45.1%、「町の子育て支援ホームページ」が37.8%となっている。

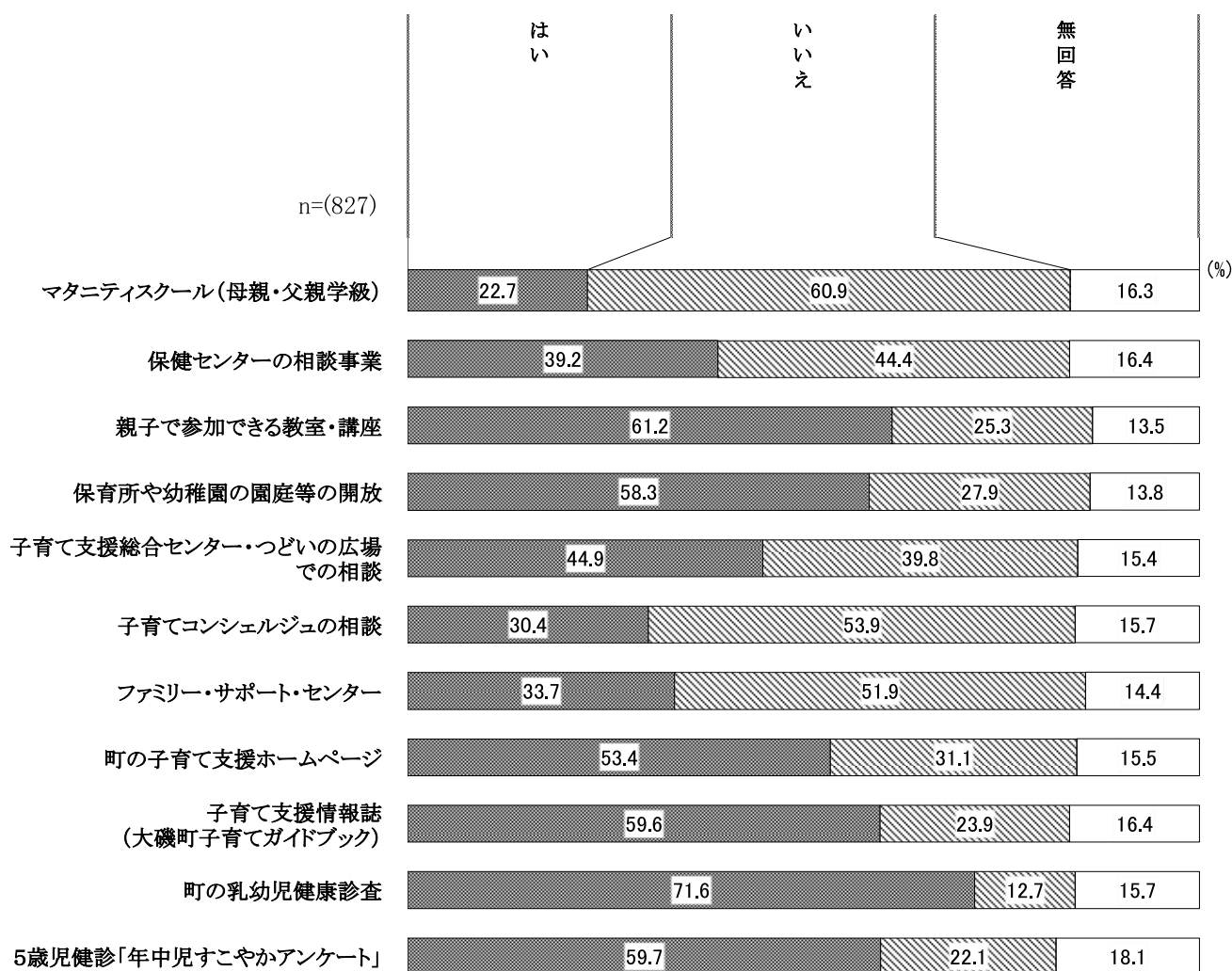
【これまでに利用したことがある事業】



子育て関連事業でこれまでに利用したことがあるものは、「町の乳幼児健康診査」が87.2%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が58.9%、「子育て支援情報誌（大磯町子育てガイドブック）」が55.6%となっている。

一方、利用したことがない事業は、「ファミリー・サポート・センター」が83.3%で最も高く、次いで「子育てコンシェルジュの相談」が82.2%、「保健センターの相談事業」が63.1%となっている。

【今後利用したい事業】



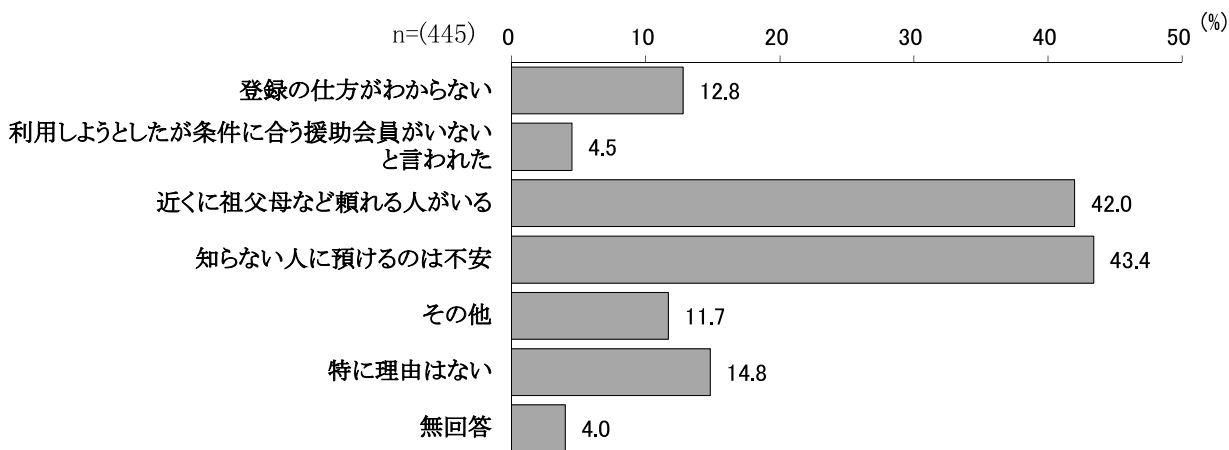
今後利用したい事業については、「町の乳幼児健康診査」が71.6%で最も高く、次いで「親子で参加できる教室・講座」が61.2%、「5歳児健診『年中児すこやかアンケート』」が59.7%となっている。

一方、今後利用したいと思わない事業は、「マタニティスクール(母親・父親学級)」が60.9%で最も高く、次いで「子育てコンシェルジュの相談」が53.9%、「ファミリー・サポート・センター」が51.9%となっている。

（6）ファミリー・サポート・センターを利用していない理由

【問21でファミリー・サポート・センターを「知っている」を選択し、かつ「これまでに利用したことがない」と回答された方に】

問22 現在まで、利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

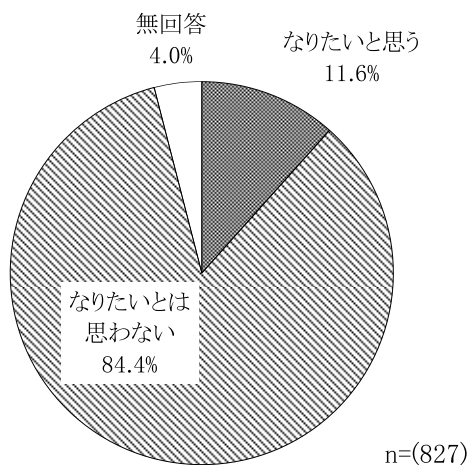


ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は、「知らない人に預けるのは不安」が43.4%で最も高く、次いで「近くに祖父母など頼れる人がいる」が42.0%となっている。

（7）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか

問23 今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思いますか。（○は1つ）

※援助会員とは保育ニーズのある保護者からお子さんを預かり、自宅で保育をしたり、保育所・学童等への送迎の援助等を行う活動です。

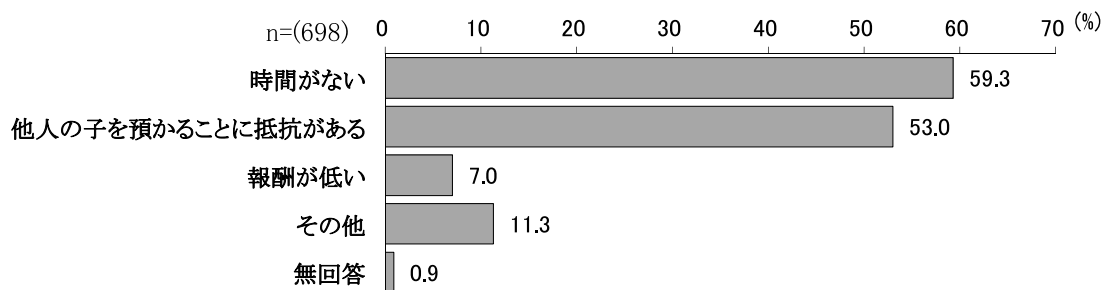


ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うかは、「なりたいとは思わない」が84.4%で8割以上を占めている。一方、「なりたいと思う」は11.6%となっている。

（8）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由

【問23で「なりたいとは思わない」と回答された方に】

問23-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



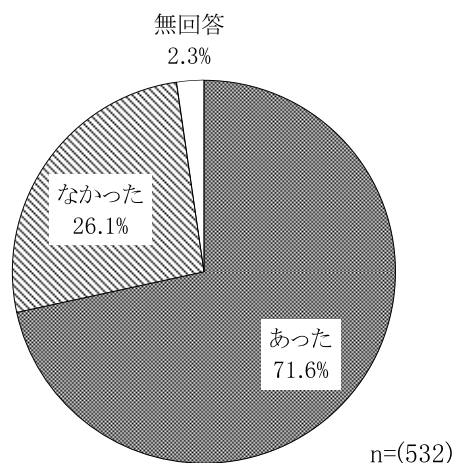
ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由は、「時間がない」が59.3%で約6割と最も高く、次いで「他人の子を預かることに抵抗がある」が53.0%となっている。

7. 子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育の利用者のみ）

（1）子どもが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったこと

【問14で、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答された方に】

問24 この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）



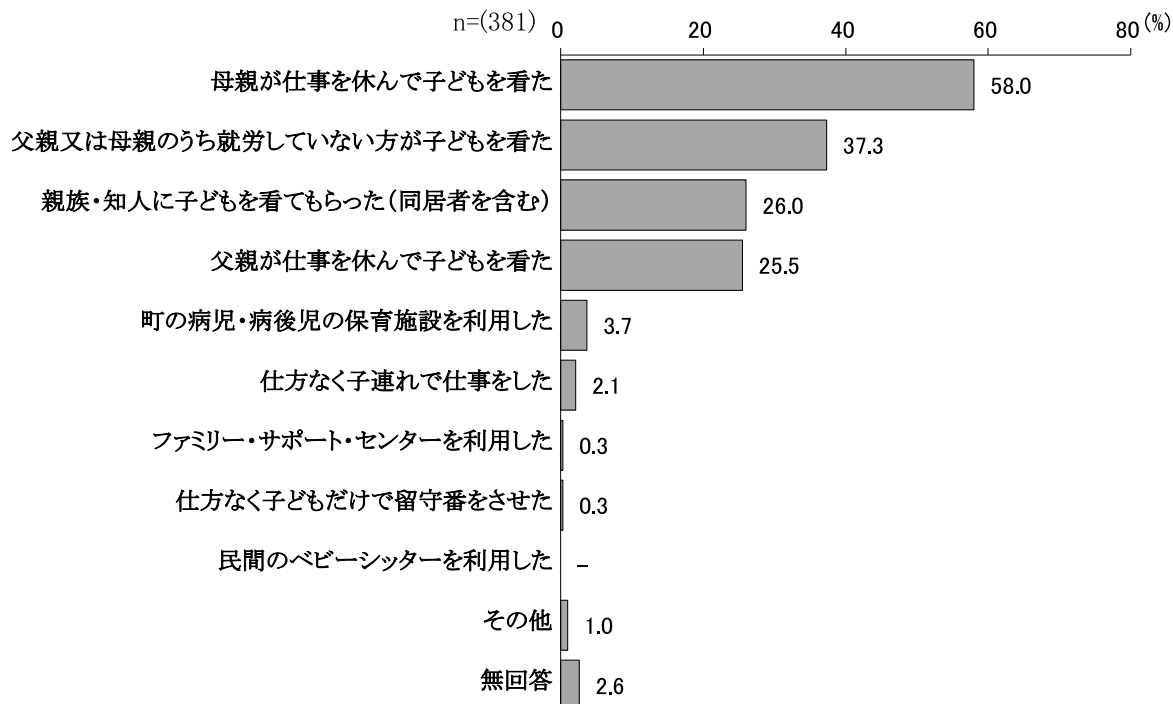
子どもが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことは、「あった」が71.6%で高くなっている。一方、「なかった」は26.1%となっている。

(2) 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

【問14で、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答された方に】

問24-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(〇はいくつでも) また、それぞれの日数もご記入ください。(数字を記入)

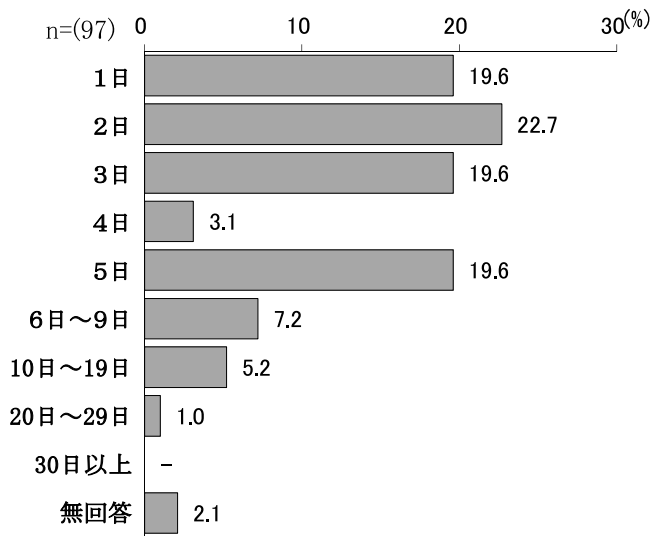
※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。



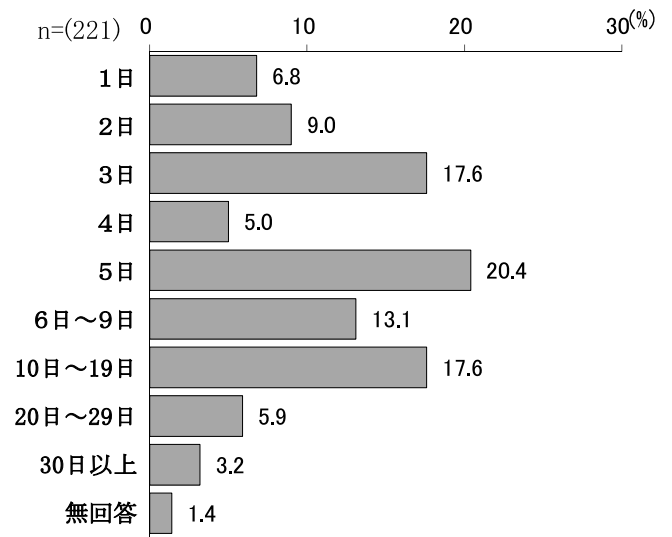
子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んで子どもを見た」が58.0%で最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」が37.3%、「親族・知人に子どもを看てもらった(同居者を含む)」が26.0%となっている。

○対処の日数（年間）

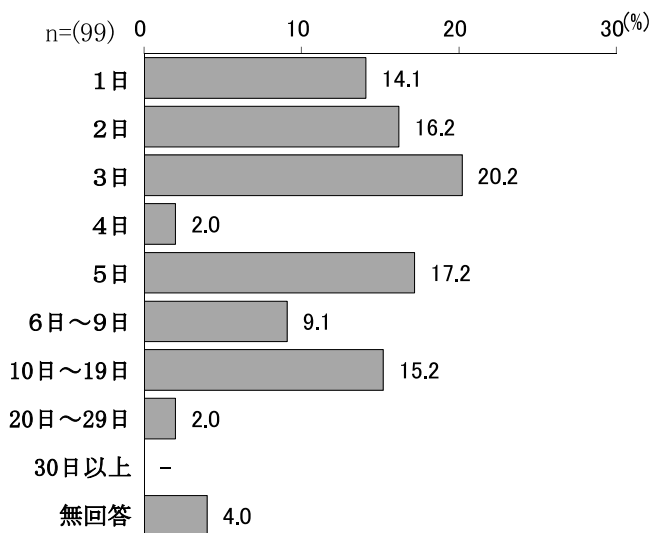
【父親が仕事を休んで子どもを見た】



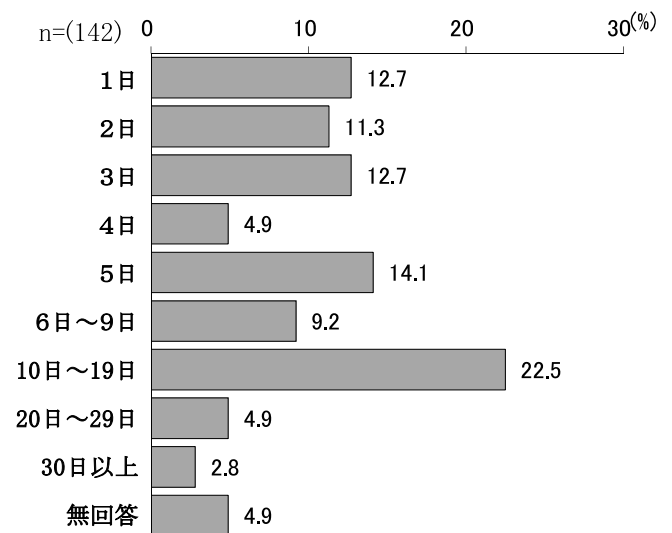
【母親が仕事を休んで子どもを見た】



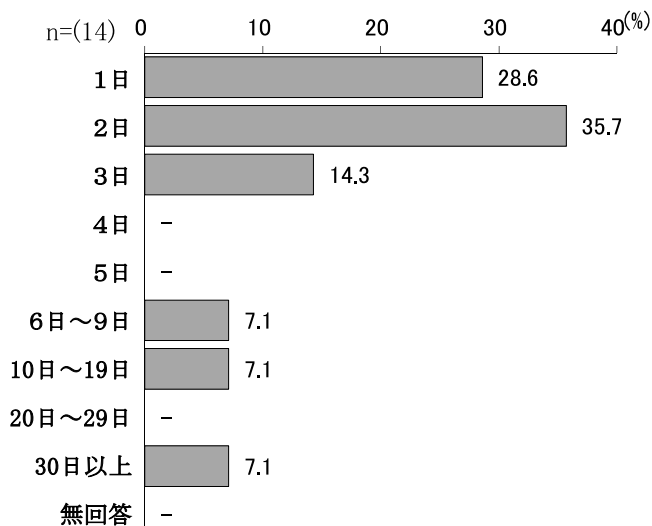
【親族・知人に子どもを看てもらった】



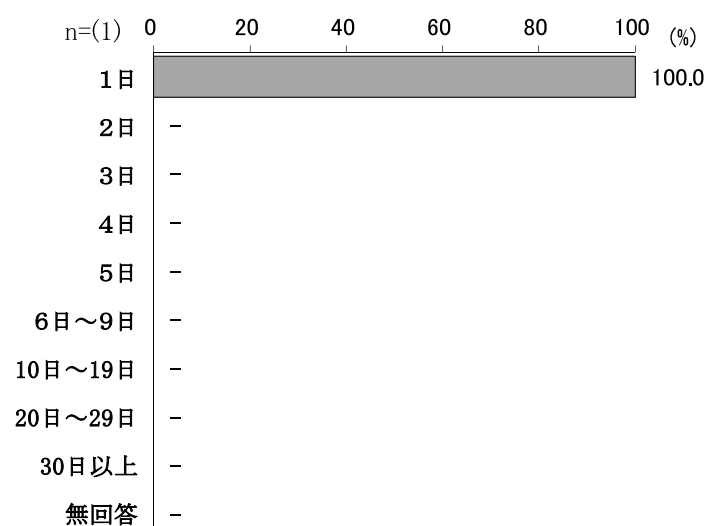
【父親又は母親のうち就労していない方が見た】



【町の病児・病後児の保育施設を利用した】

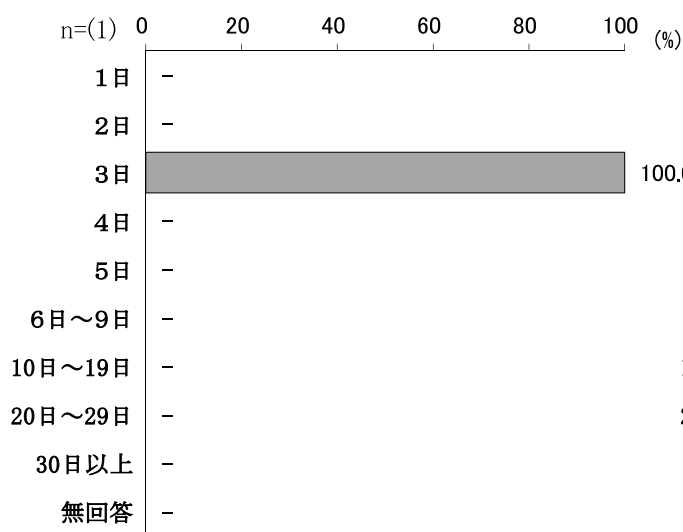


【ファミリー・サポート・センターを利用した】

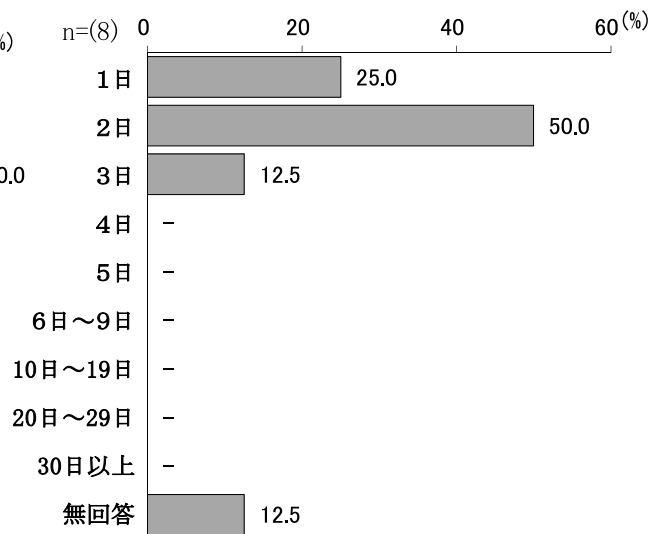


第2章 調査結果の詳細（未就学児）

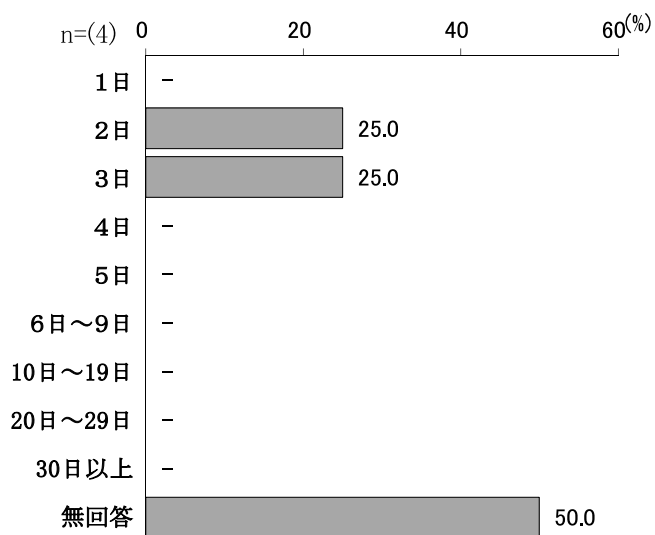
【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【仕方なく子連れで仕事をした】



【その他】



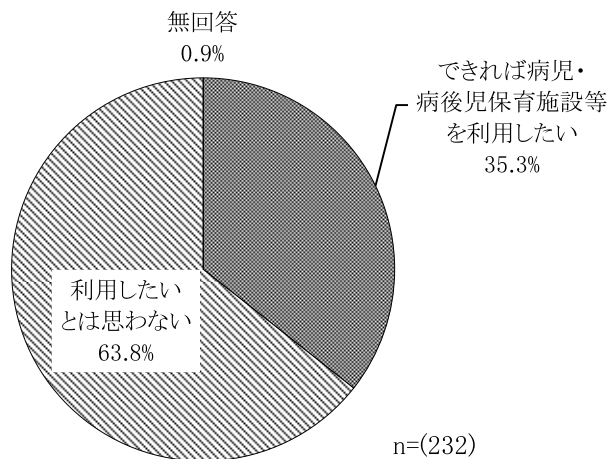
※「民間のベビーシッターを利用した」は回答者なしのため図を省略している。

(3) 父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

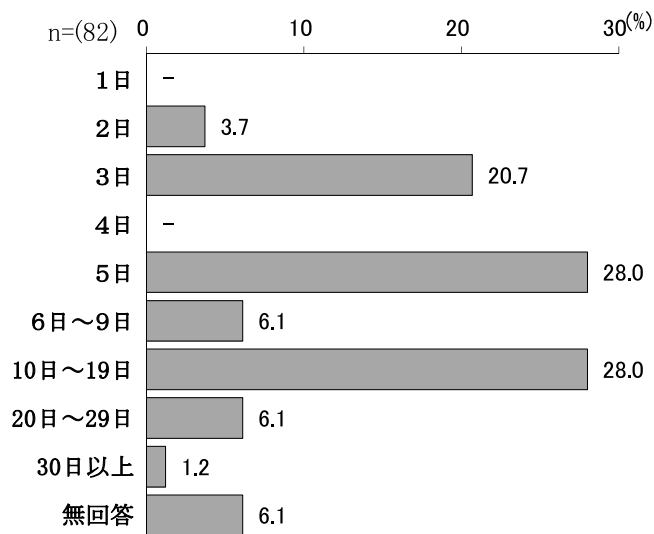
【問24-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答された方に】

問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ) また、その日数もご記入ください。(数字を記入)

※病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。



【利用希望日数（年間）】



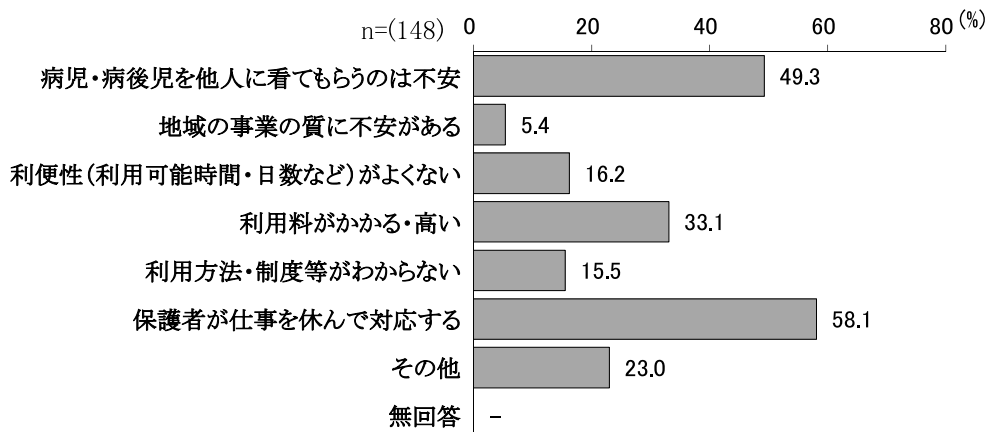
父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかは、「利用したいとは思わない」が63.8%と高くなっている。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は35.3%となっている。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方の利用希望日数は、「5日」「10日～19日」がともに28.0%で最も高く、次いで「3日」が20.7%となっている。

（4）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

【問24-2で「利用したいと思わない」と回答された方に】

問24-3 そう思われる理由は何ですか。（〇はいくつでも）

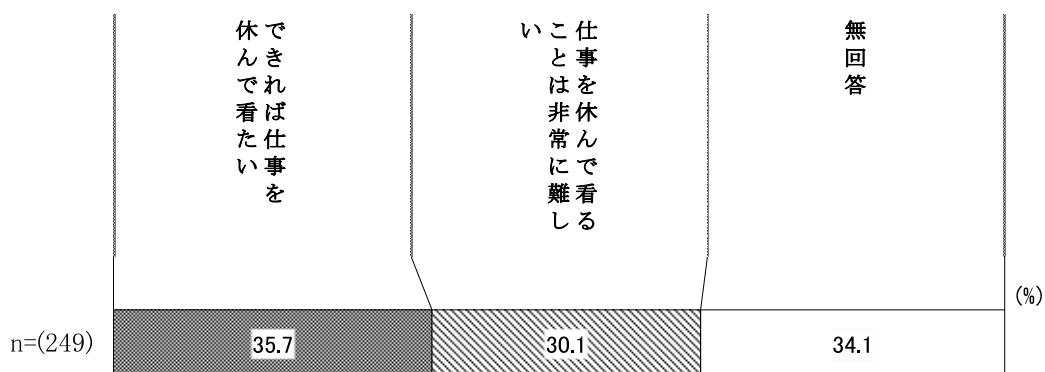


病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が58.1%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.3%、「利用料がかかる・高い」が33.1%となっている。

（5）子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

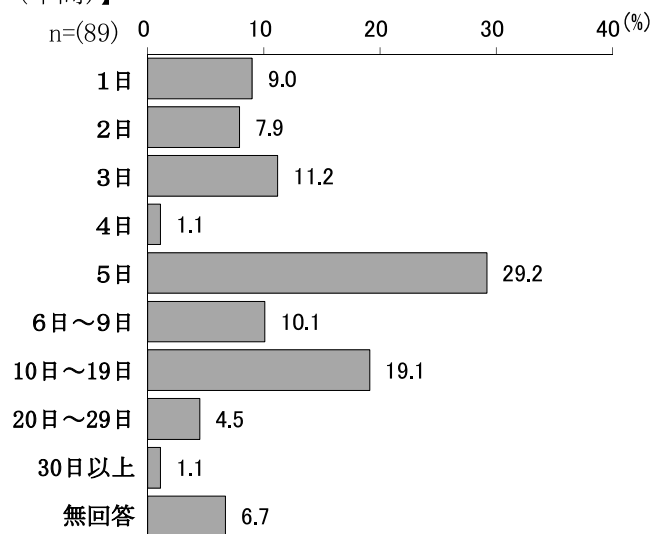
【問24-1で「父親が仕事を休んで子どもを看た」「母親が仕事を休んで子どもを看た」以外のいずれかに回答された方に】

問24-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（〇は1つ）また、「父親」または「母親」が休んで対応した以外の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。



子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が35.7%で高くなっている。一方、「仕事を休んで看することは非常に難しい」は30.1%となっている。

【仕事を休んで看たい日数（年間）】

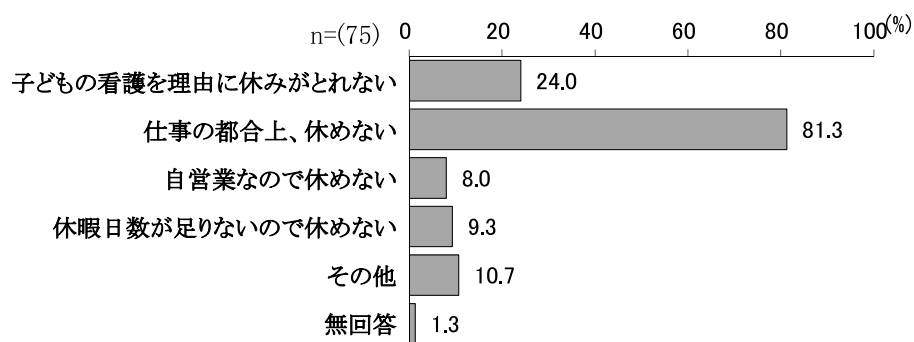


「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方の希望日数は、「5日」が29.2%で最も高く、次いで「10日～19日」が19.1%、「3日」が11.2%となっている。

(6) 仕事を休んで看することは非常に難しい理由

【問24-4で「仕事を休んで看することは非常に難しい」と回答された方に】

問24-5 その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)



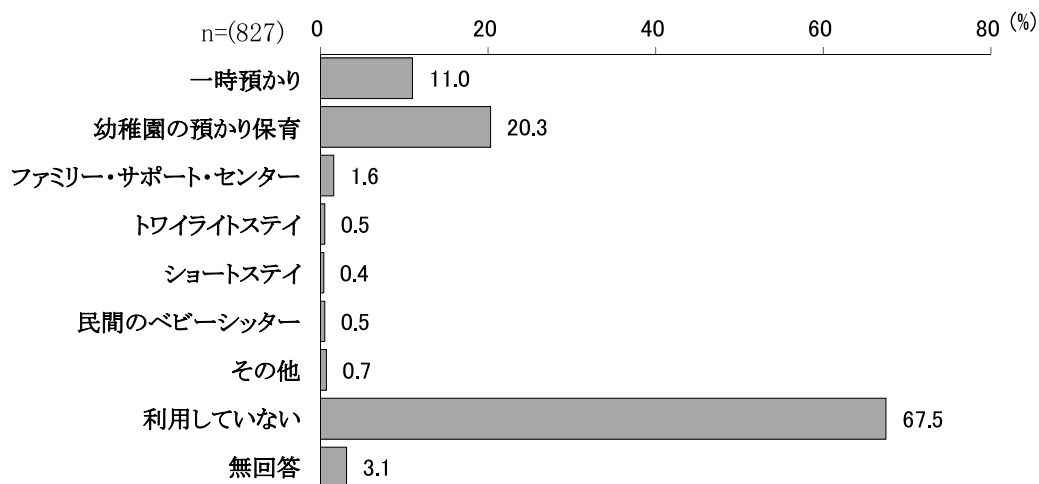
仕事を休んで看することは非常に難しい理由は、「仕事の都合上、休めない」が81.3%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が24.0%となっている。

8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業

問25 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業はありますか。(〇はいくつでも) また、その場合の1年間の利用日数(おおよそ)及び希望する利用日数もご記入ください。(数字を記入)

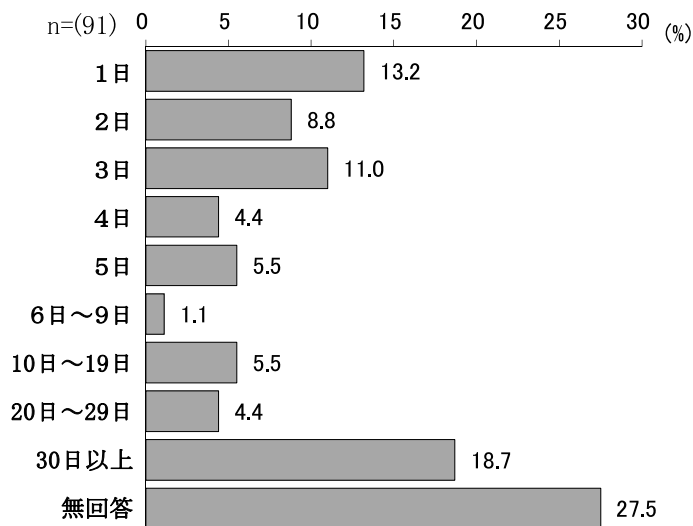
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
 ※事業によっては大磯町で実施されていないものもあります。



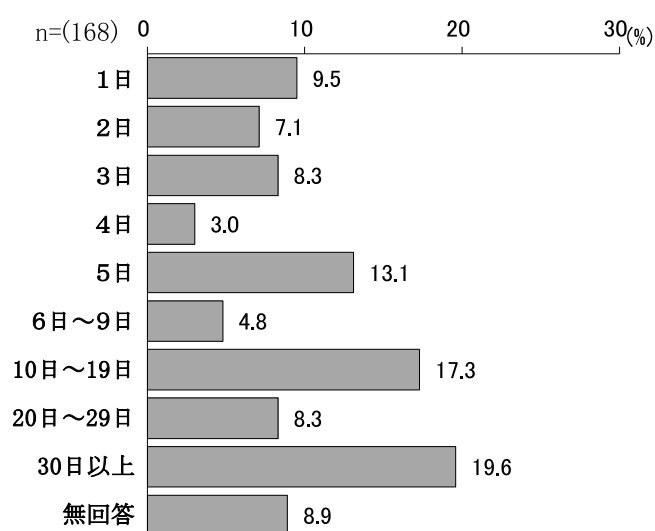
日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が20.3%で最も高く、次いで「一時預かり」が11.0%となっている。一方、「利用していない」は67.5%と6割を超え高くなっている。

○現在の利用日数（年間）

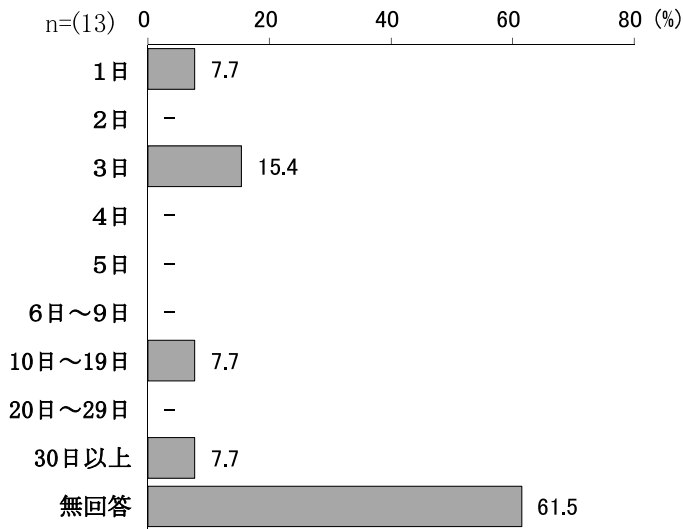
【一時預かり】



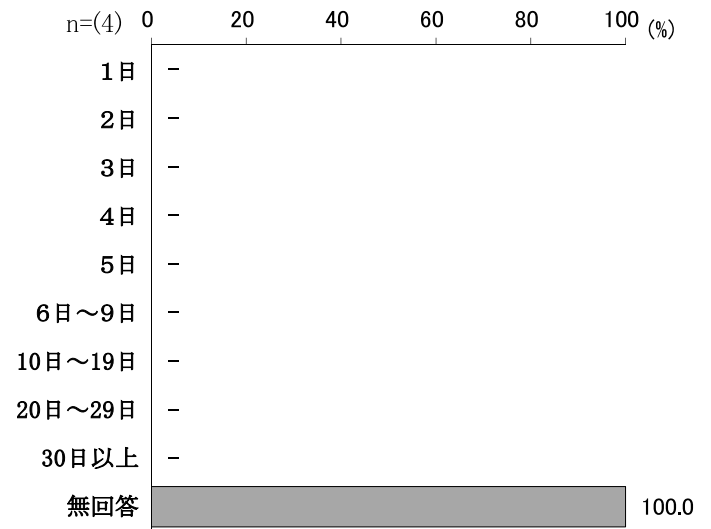
【幼稚園の預かり保育】



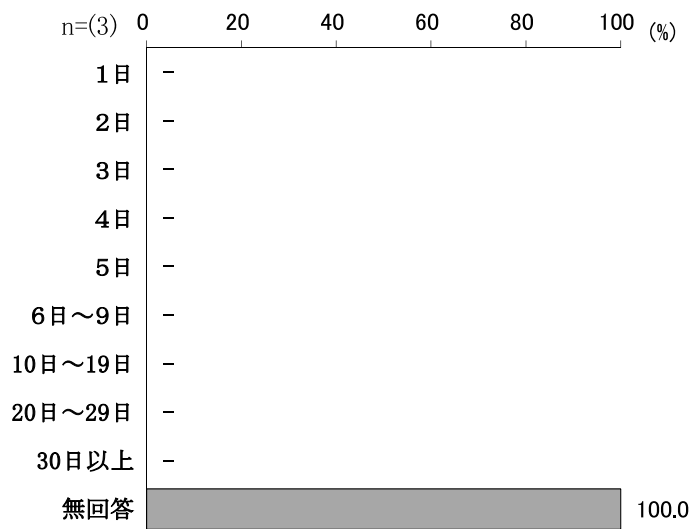
【ファミリー・サポート・センター】



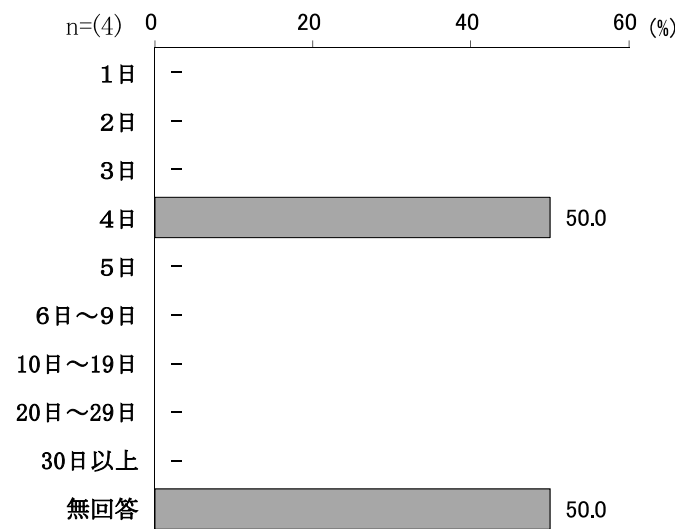
【トワイライトステイ】



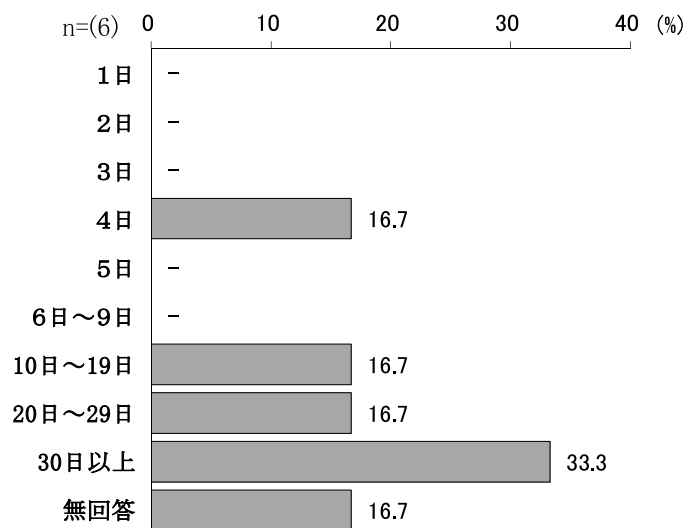
【ショートステイ】



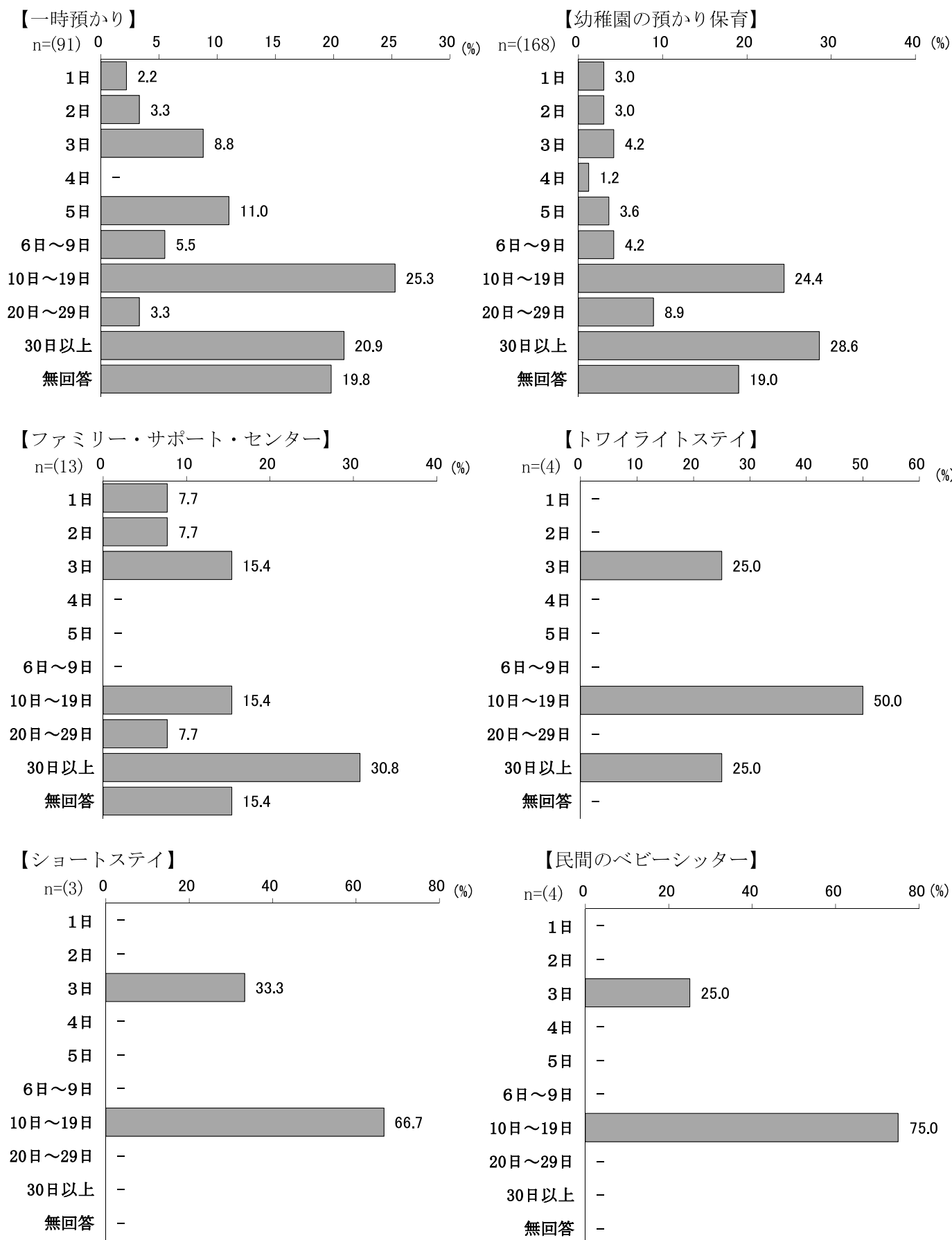
【民間のベビーシッター】

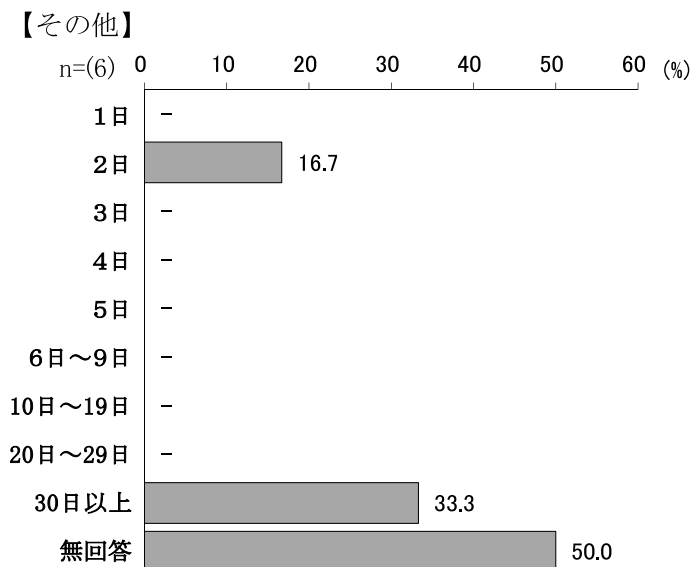


【その他】



○希望の利用日数（年間）

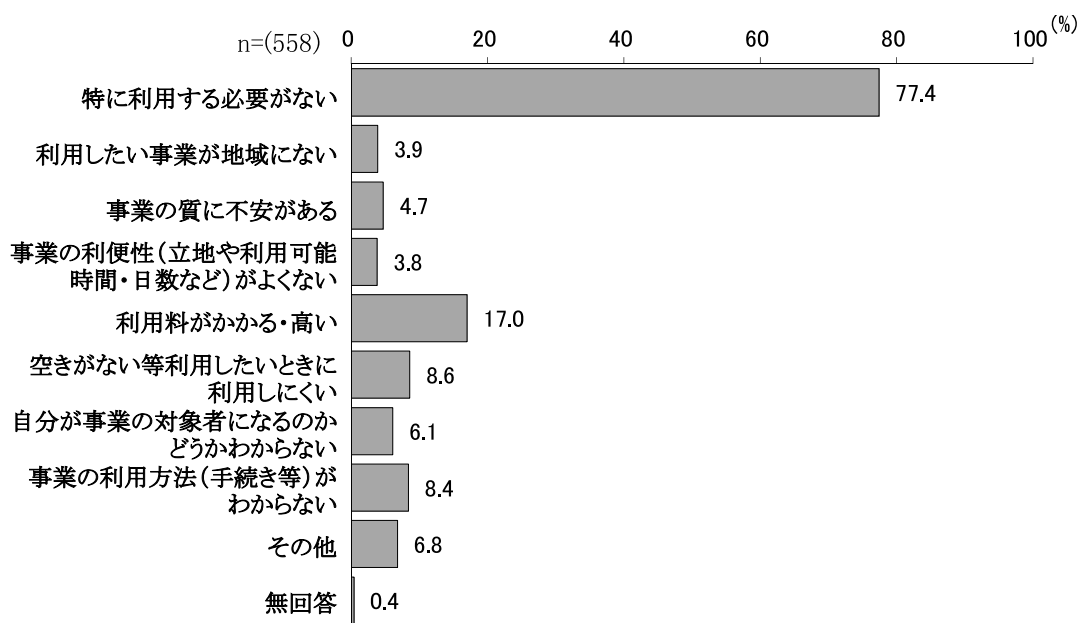




(2) 私用等の目的で、現在不定期的に事業を利用していない理由

【問25で「利用していない」と回答された方に】

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

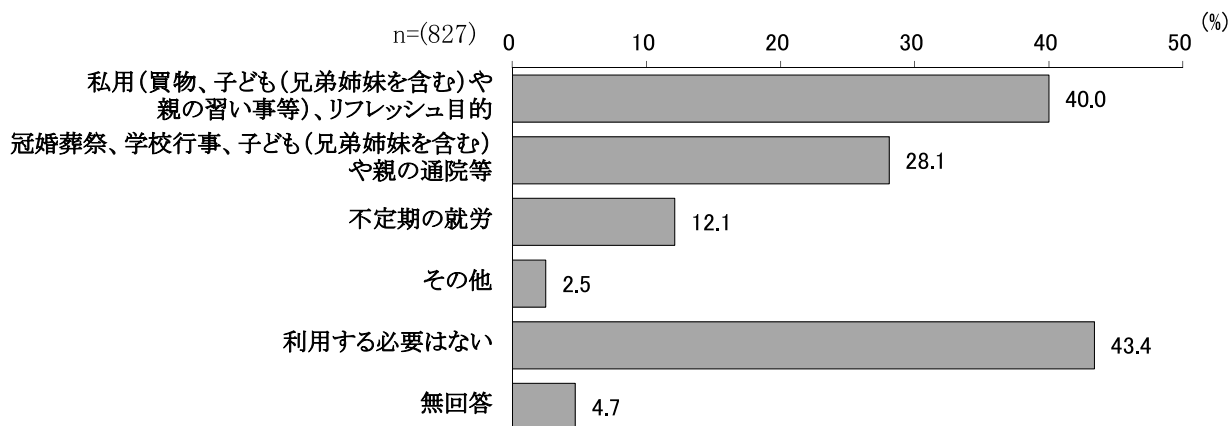


日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期的就労等の目的で現在不定期的に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が77.4%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が17.0%となっている。

（3）保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的での一時預かり等の利用希望

問26 あて名のお子さんについて、保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で、一時預かり等を利用する希望がありますか。ある場合、その利用の目的は何ですか。（○はいくつでも）また、必要な日数も記入してください。（数字を記入）

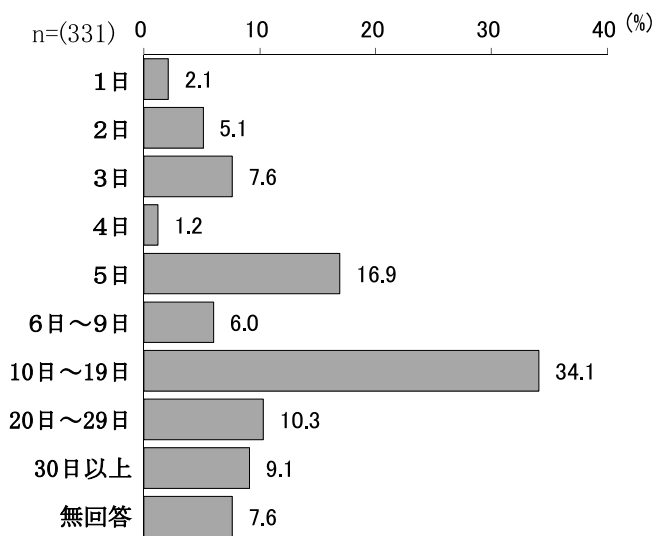
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



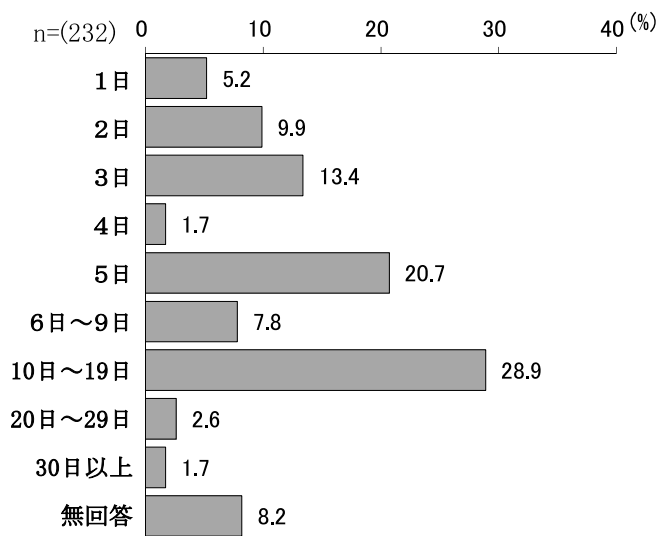
保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で、一時預かり等の利用希望は、「利用する必要はない」が43.4%で最も高くなっている。一方、利用希望がある場合の目的は、「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が40.0%と高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が28.1%となっている。

○必要な日数（年間）

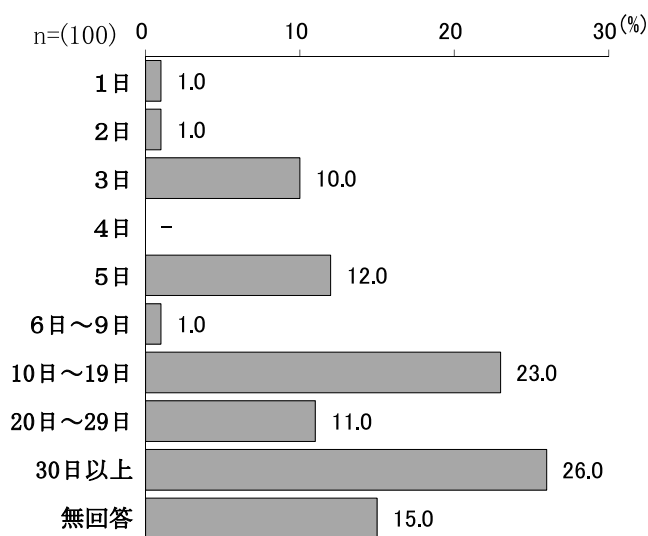
【私用・リフレッシュ目的】



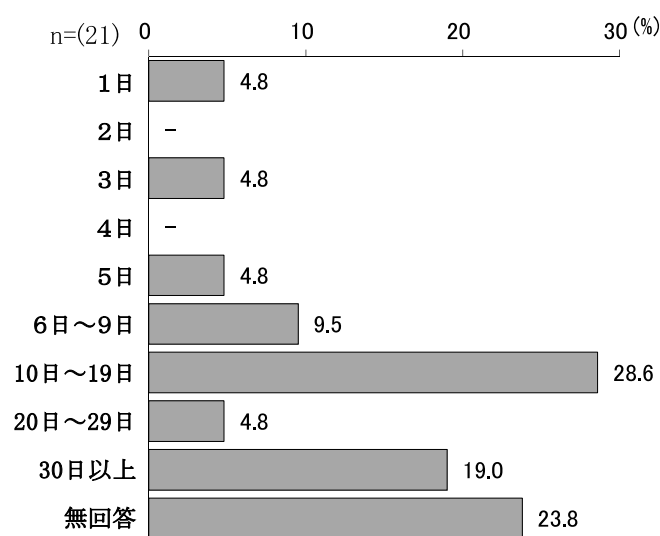
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不規則の就労】



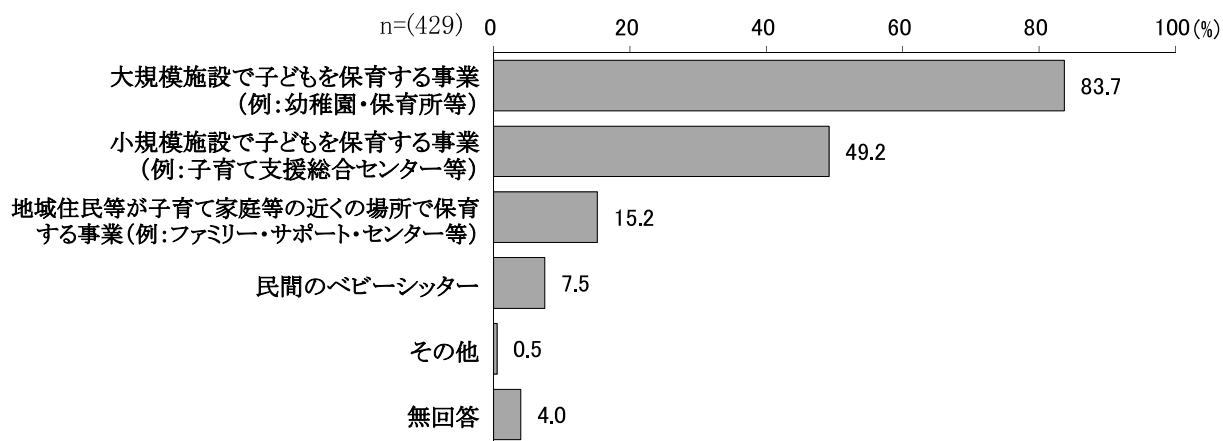
【その他】



(4) 保護者の私用、親の通院、不規則の就労の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態

【問26で「保護者の私用」「親の通院」「不規則の就労」等の目的で、一時預かり等を利用する希望があると回答された方に】

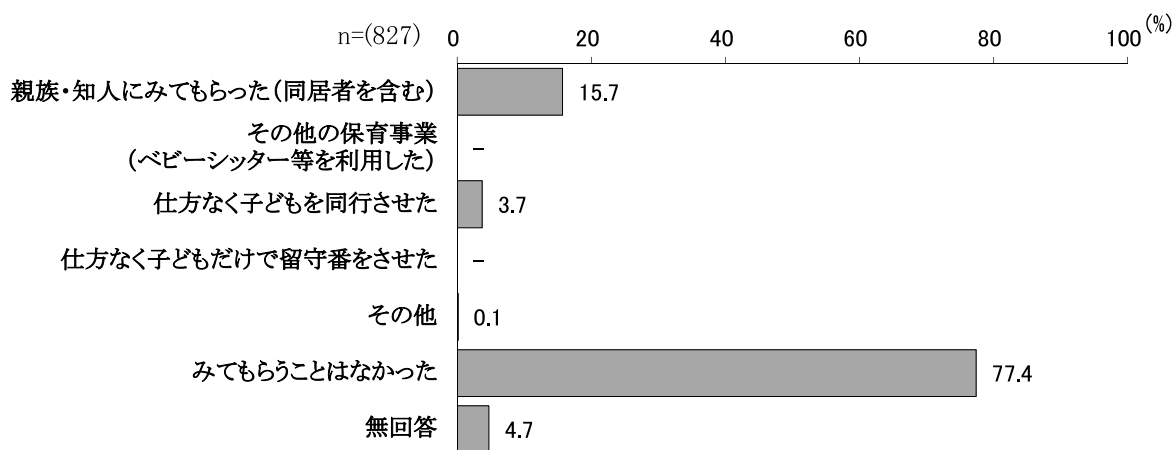
問26-1 問26の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)



保護者の私用、親の通院、不規則の就労の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が83.7%で8割を超えて高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援総合センター等）」が49.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が15.2%となっている。

（5）保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験

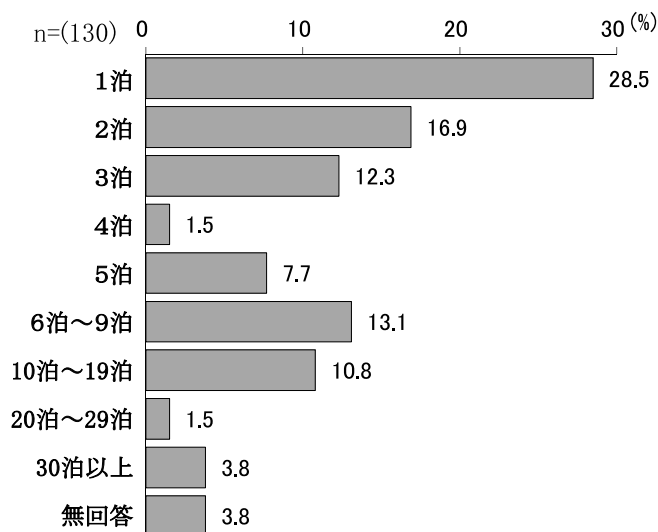
問27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（○はいくつでも）（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、日数もご記入ください。（数字を記入）



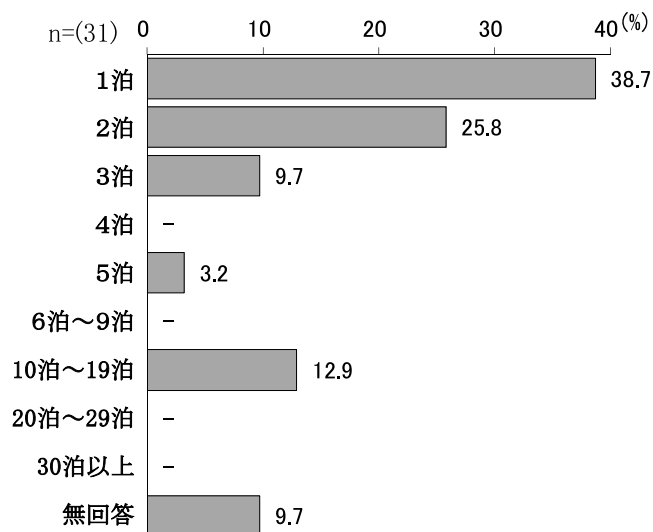
保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、「みてもらうことはなかった」が77.4%で7割を超え高くなっている。一方、みてもらわなければならなかった経験は、「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」が15.7%で高くなっている。

○実際に経験した日数（年間）

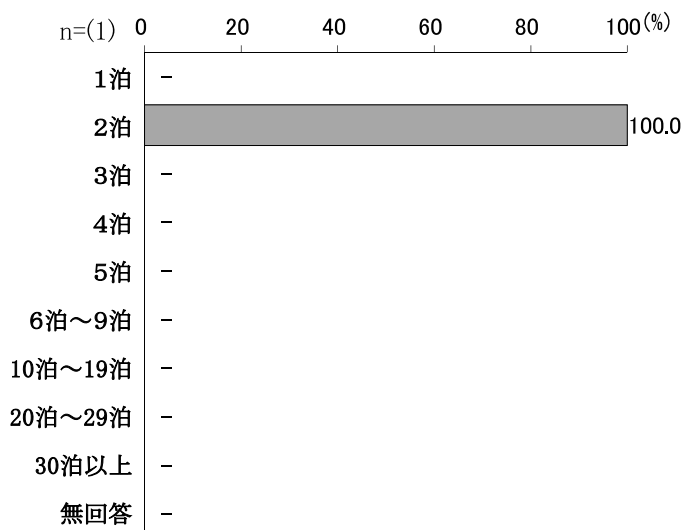
【親族・知人】



【仕方なく子どもを同行させた】



【その他】



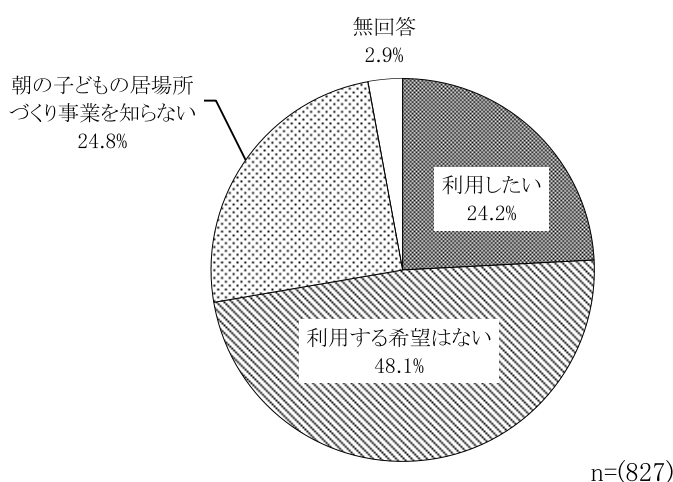
9. 小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について

朝の子どもの居場所づくり事業とは、

地域のボランティア等の協力のもと、小学校の始業前（7：15～8：15）に学童施設を利用して子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる居場所を設け、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができる事業です。（利用には、事前登録と登録保険料が必要です。また、利用の際は、保護者が実施場所に送り届ける必要があります。）

（1）就学後の朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向

問28 あて名のお子さんについて、就学後、朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向はありますか。（○は1つ）

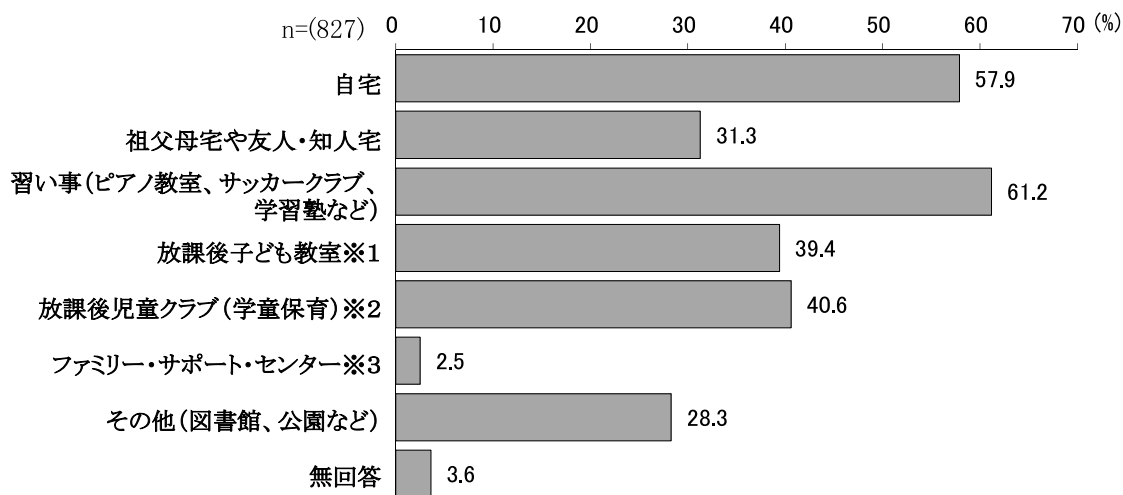


就学後の朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向は、「利用する希望はない」が48.1%で高くなっており、一方「利用したい」は24.2%となっている。また、「朝の子どもの居場所づくり事業を知らない」は24.8%となっている。

(2) 小学校低学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所

問29 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」※2の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

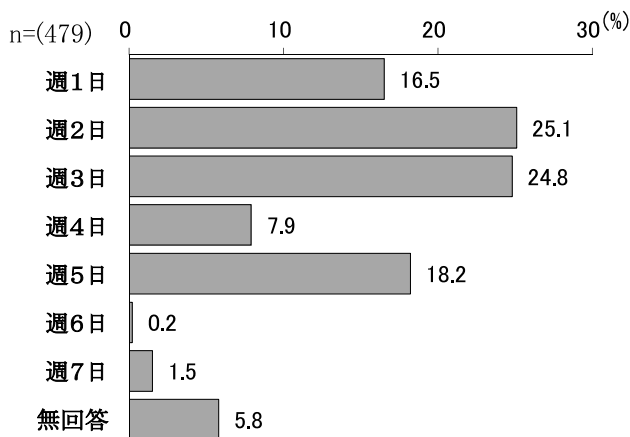


- ※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
- ※2 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
- ※3 「ファミリー・サポート・センター」・・・保育所、習い事への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをします。(有料)

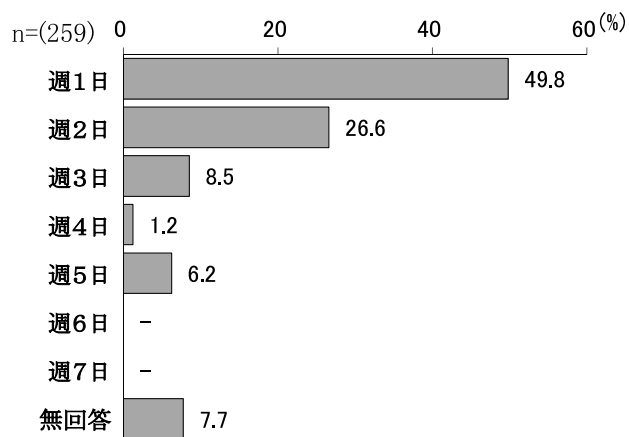
小学校低学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が61.2%で最も高く、次いで「自宅」が57.9%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が40.6%となっている。

○利用希望日数

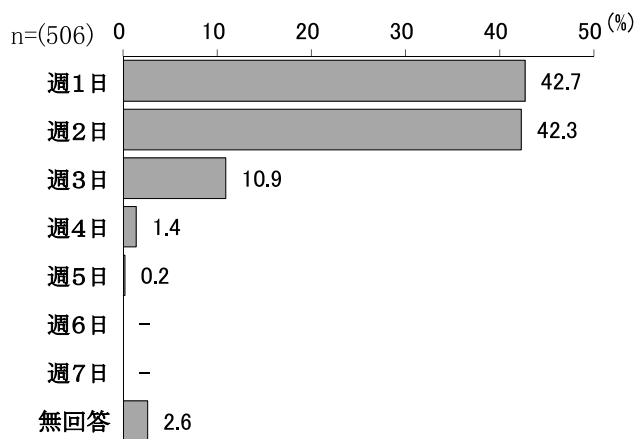
【自宅】



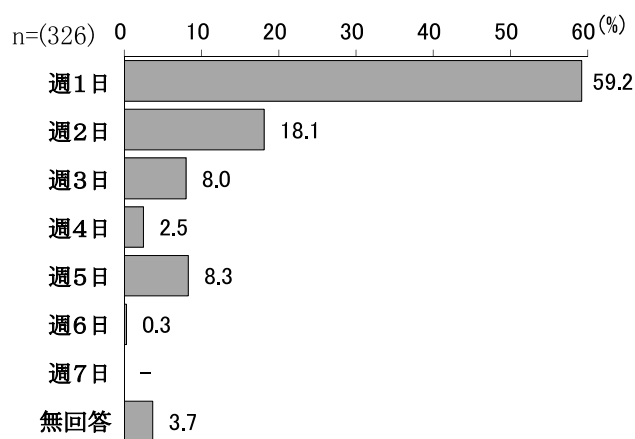
【祖父母宅や友人・知人宅】



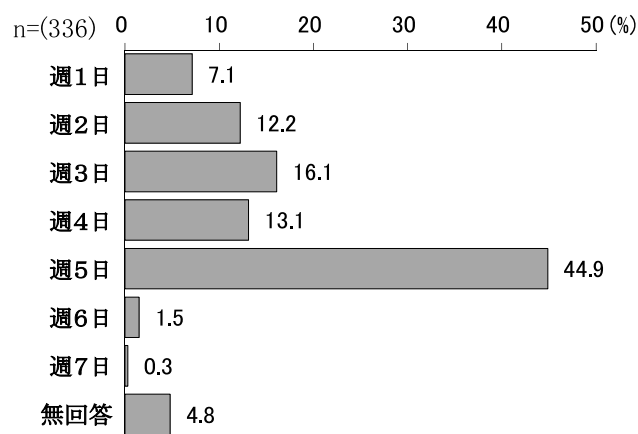
【習い事】



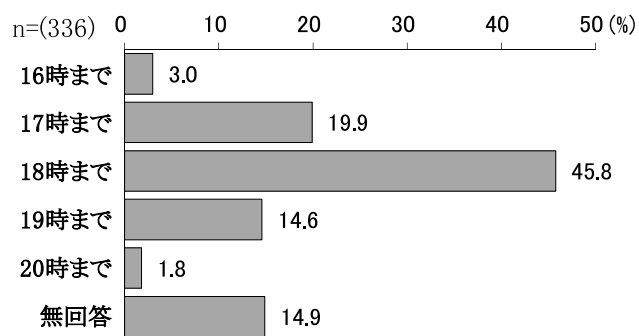
【放課後子ども教室】



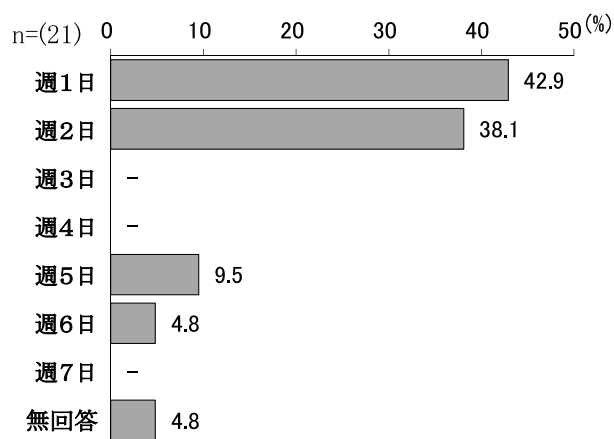
【放課後児童クラブ】



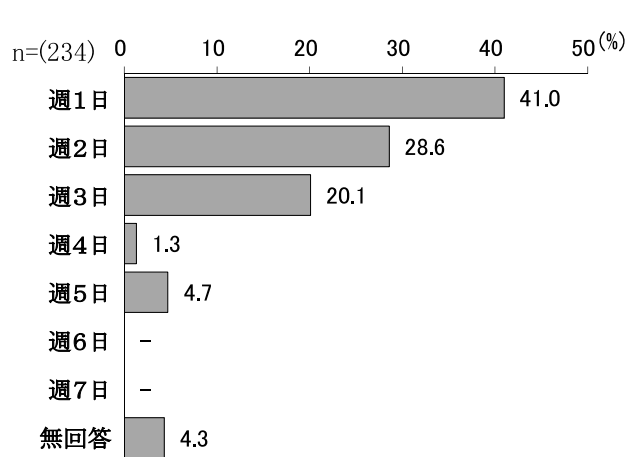
【放課後児童クラブの利用時間（下校時から）】



【ファミリー・サポート・センター】



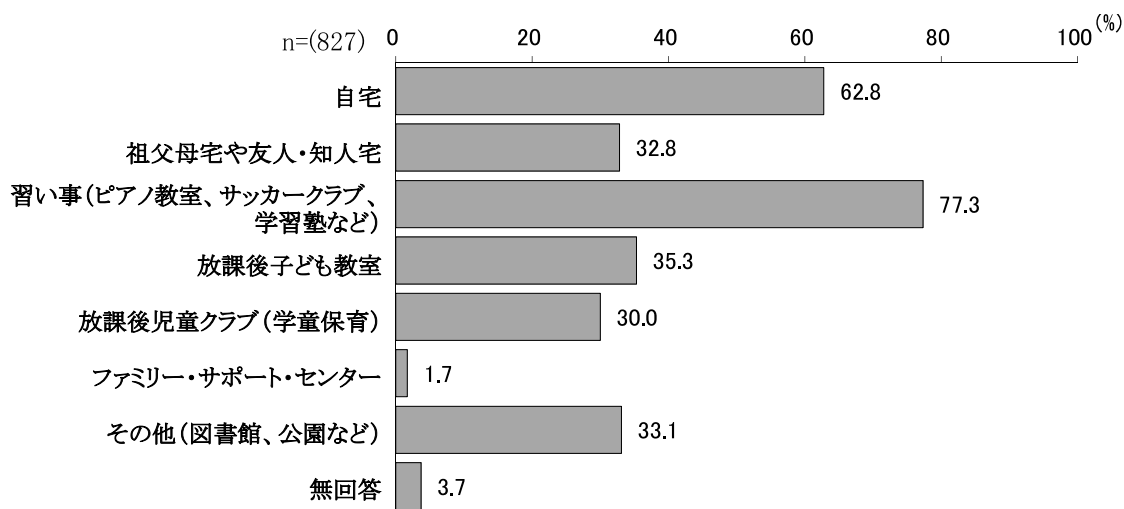
【その他（図書館、公園など）】



（3）小学校高学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所

問30 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）

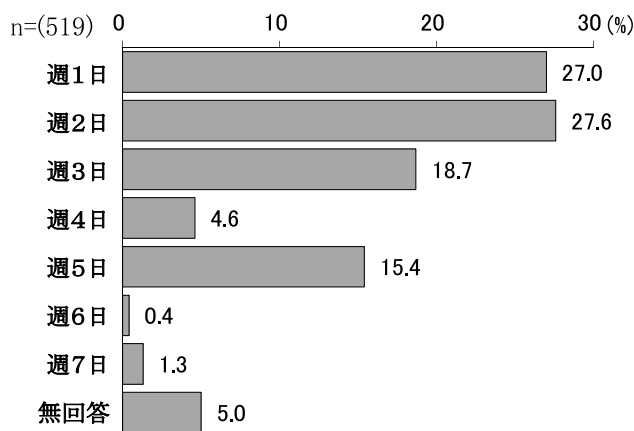
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
 ※だいたい先のことにはなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



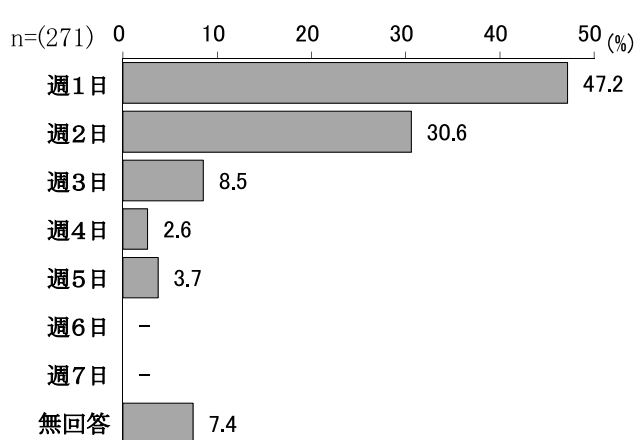
小学校高学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が77.3%で最も高く、次いで「自宅」が62.8%、「放課後子ども教室」が35.3%となっている。

○利用希望日数

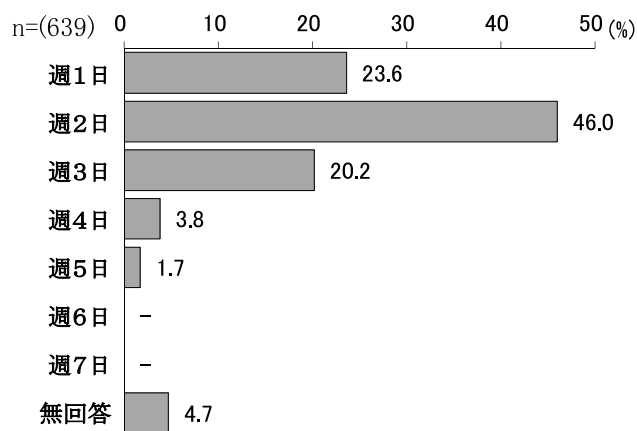
【自宅】



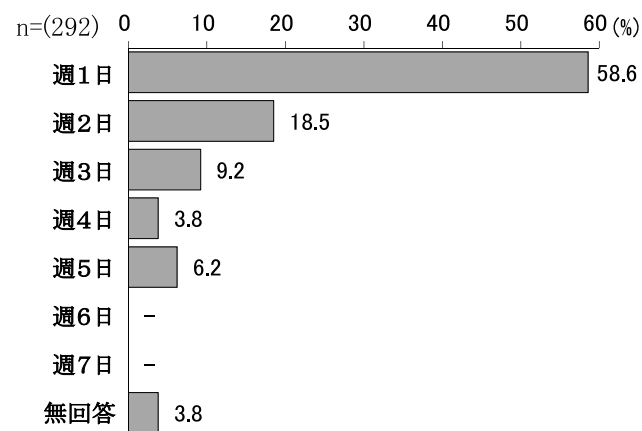
【祖父母宅や友人・知人宅】



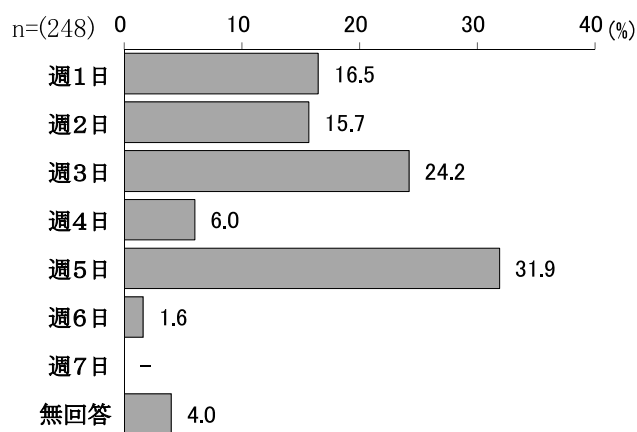
【習い事】



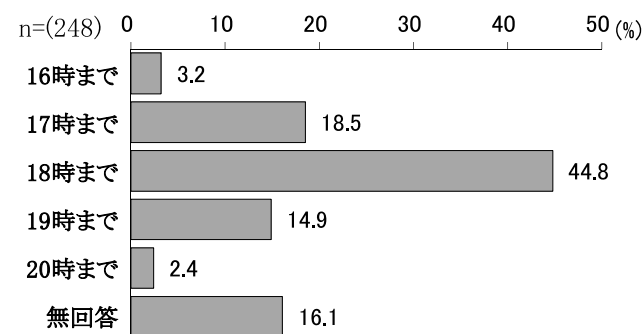
【放課後子ども教室】



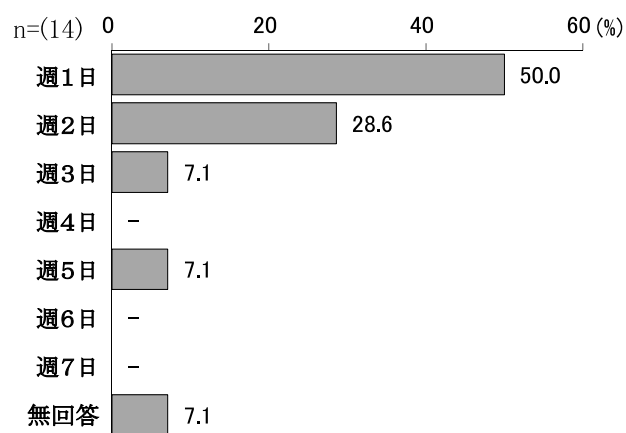
【放課後児童クラブ】



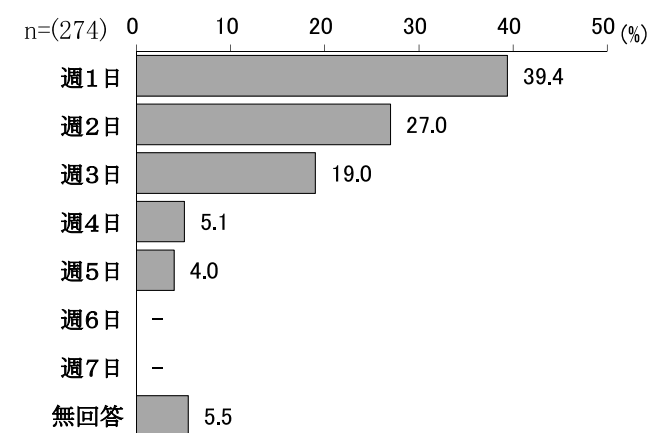
【放課後児童クラブの利用時間（下校時から）】



【ファミリー・サポート・センター】



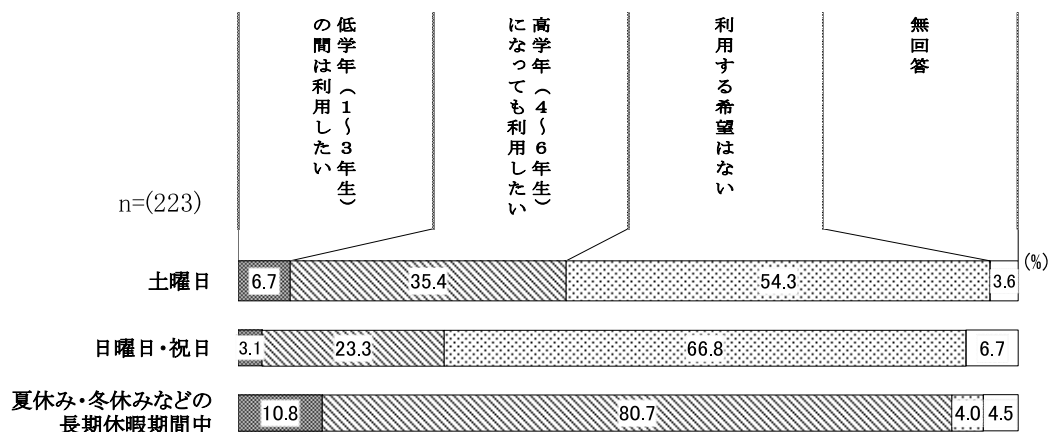
【その他（図書館、公園など）】



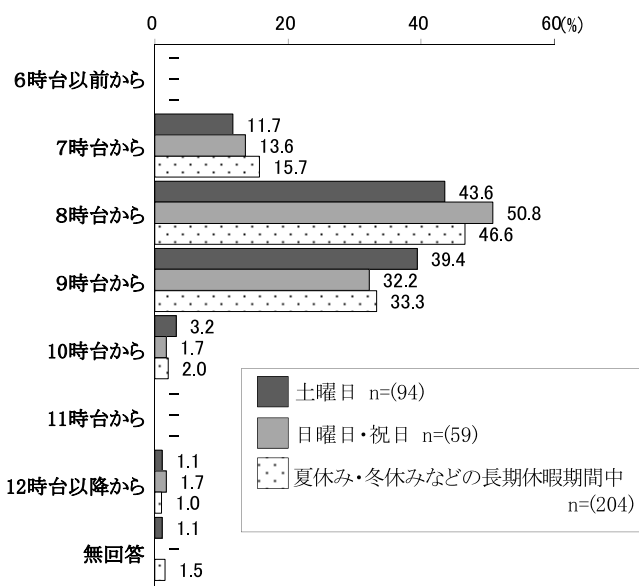
（4）放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

【問29または問30で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答された方に】

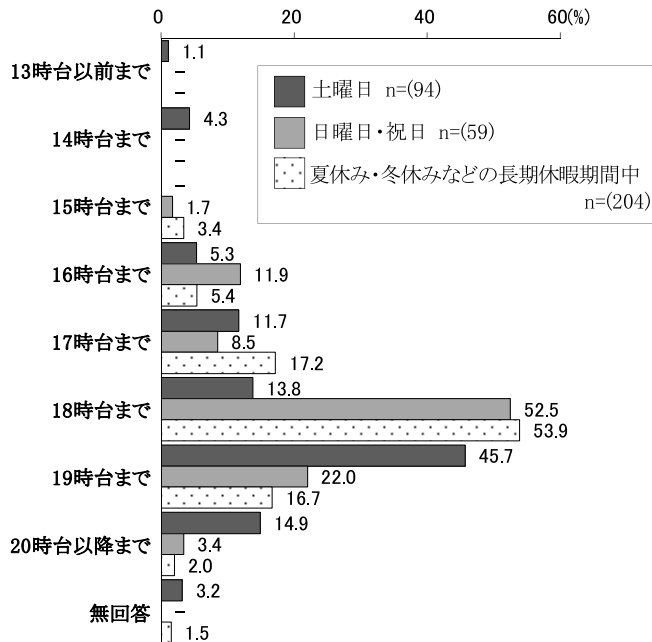
問31 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。【それぞれに○は1つ】また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



【利用希望開始時間】



【利用希望終了時間】



放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する希望はない」が5割を超えて最も高くなっている。

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が80.7%で8割と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が10.8%となっている。

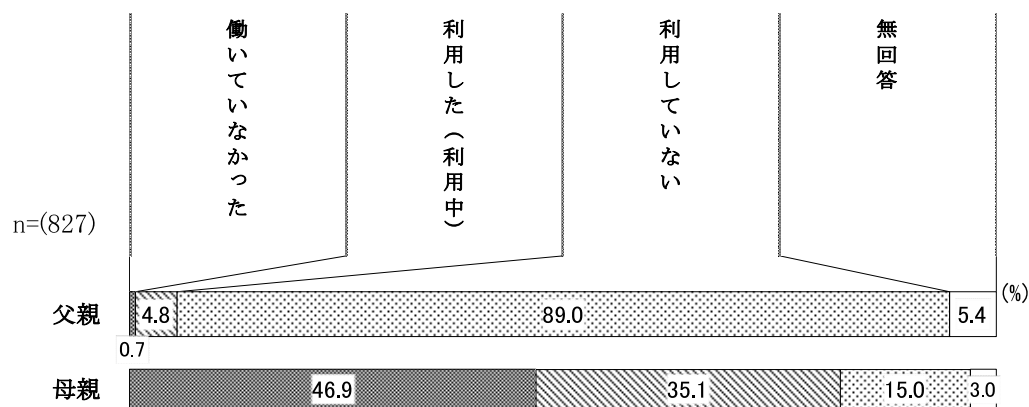
利用希望開始時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中ともに「8時台から」が4割を超えて最も高くなっている。

利用希望終了時間は、日曜日・祝日、長期休暇期間中で「18時台まで」が5割を超え最も高く、土曜日は、「19時台まで」が4割を超えて最も高くなっている。

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

（1）育児休業の取得状況

問32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

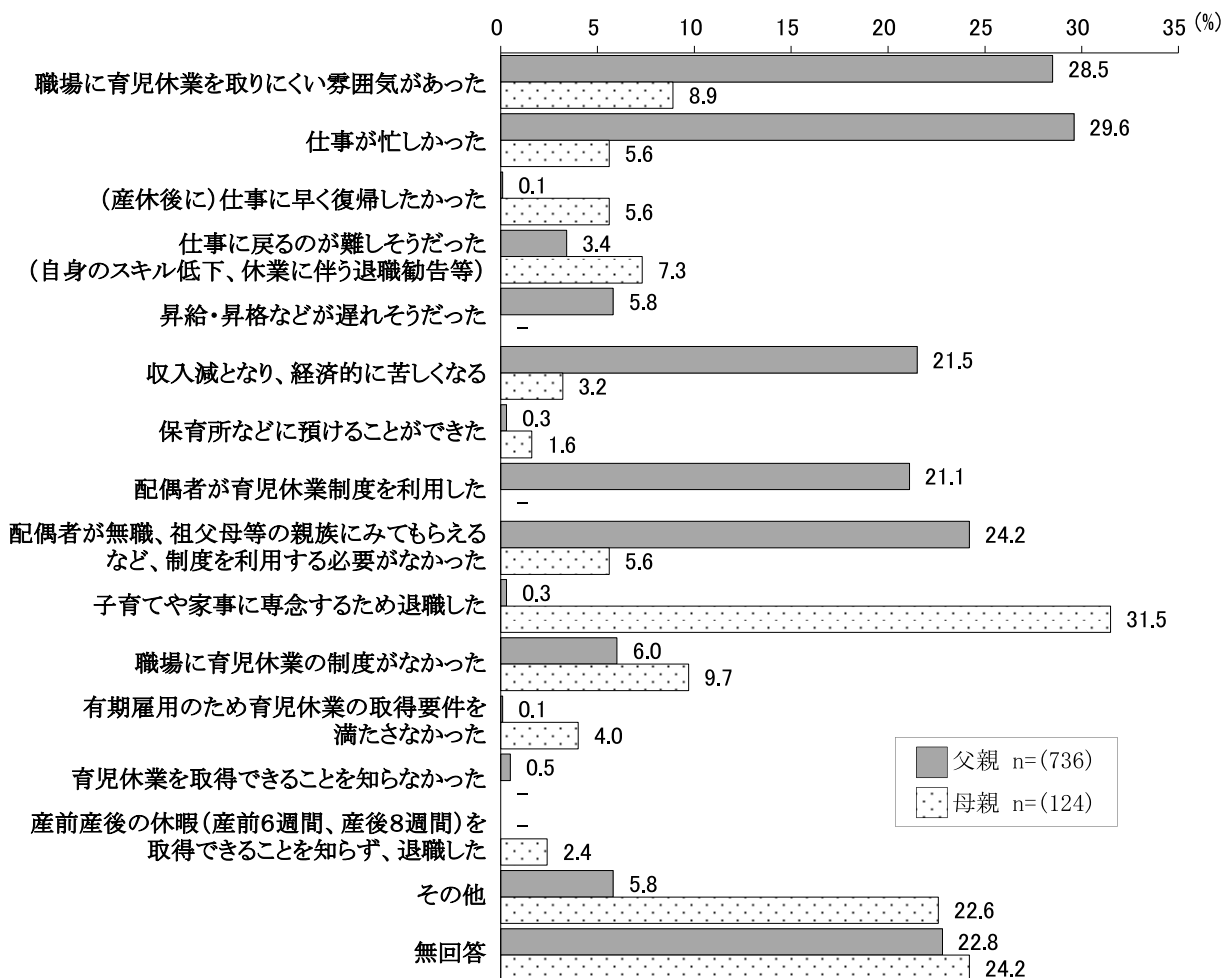


育児休業の取得状況について、父親は「利用していない」が9割弱を占めている。

母親では、「働いていなかった」が46.9%で高く、次いで「利用した（利用中）」が35.1%となっている。

（2）育児休業を取得していない理由

問32 育児休業を取得していない方はその理由をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）



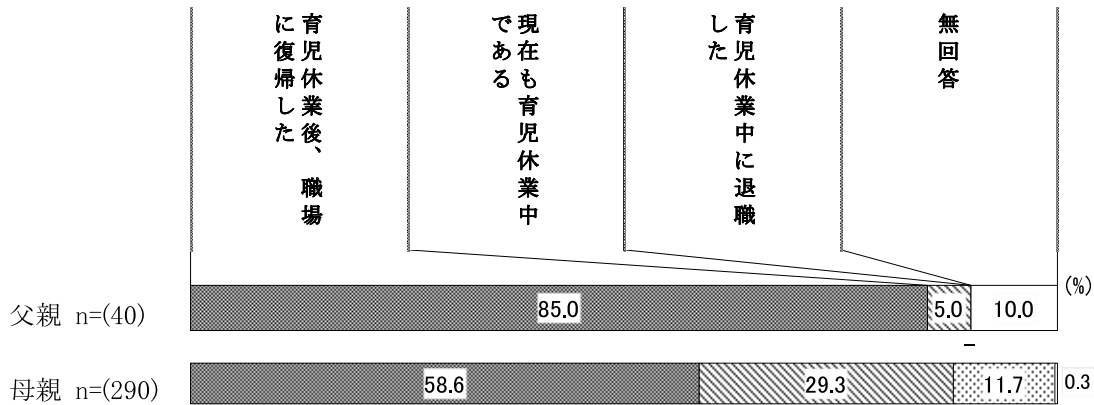
父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が29.6%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が28.5%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が24.2%となっている。

母親の育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が31.5%で最も高くなっている。

（3）育児休業後、職場に復帰したか

【問32で「利用した（利用中）」と回答された方に】

問32-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



父親が育児休業後、職場に復帰したかは、「育児休業後、職場に復帰した」が85.0%で8割を超え最も高くなっている。

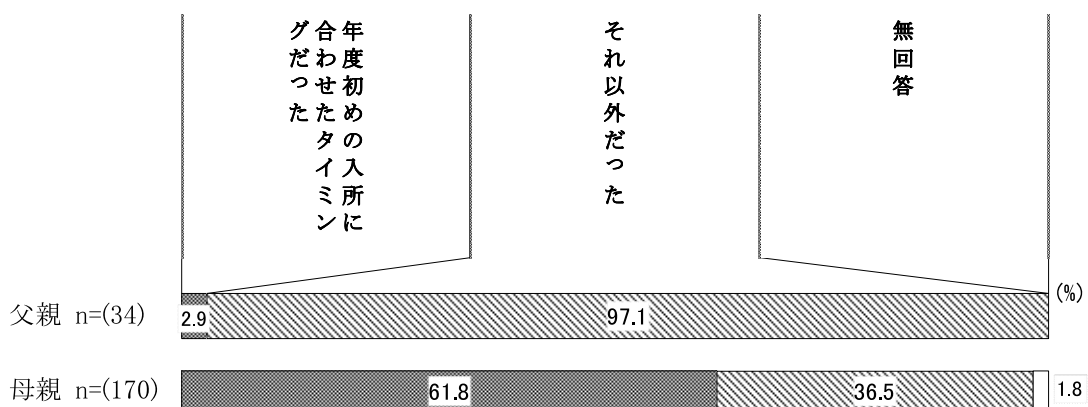
母親が育児休業後、職場に復帰したかは、「育児休業後、職場に復帰した」が58.6%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が29.3%となっている。

（4）育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったか

【問32-1で「育児休業後、職場に復帰した」と回答された方に】

問32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つ）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。



父親が育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったかは、「それ以外だった」が97.1%で9割以上を占めている。

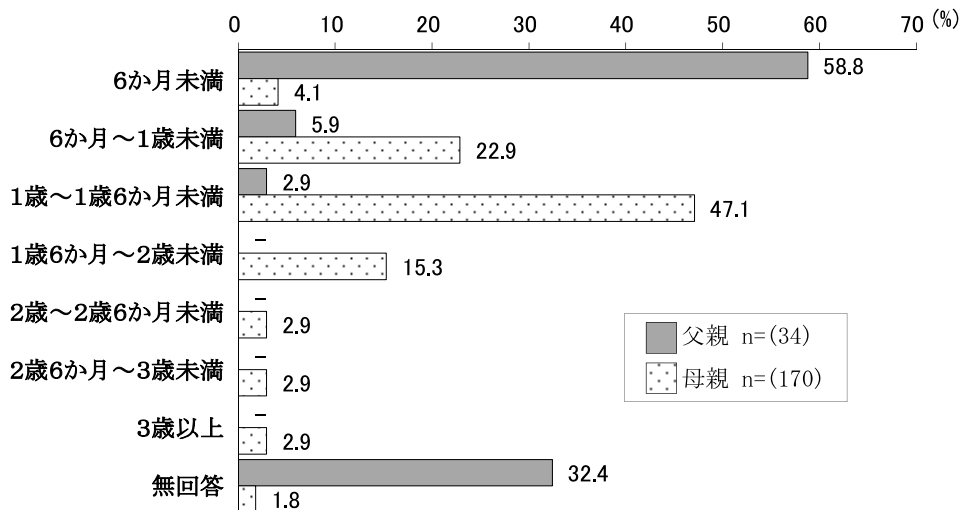
母親が育児休業から職場に復帰したのは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が61.8%で6割を超え高くなっており、一方「それ以外だった」は36.5%となっている。

（5）育児休業の利用期間

【問32-1で「育児休業後、職場に復帰した」と回答された方に】

問32-3 育児休業の利用期間について伺います。（数字を記入）

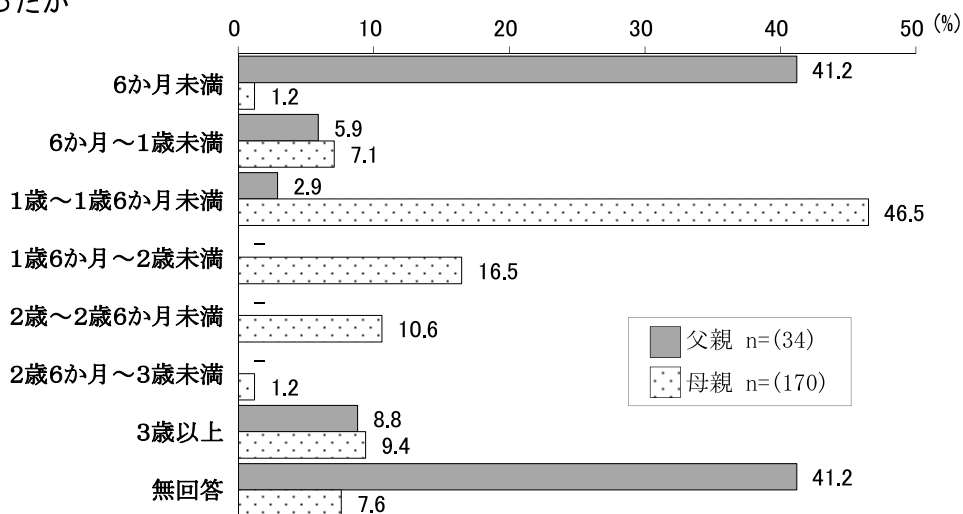
（1）お子さんが何歳何か月の時に職場復帰したか



お子さんが何歳何か月の時に職場復帰したかは、父親が「6か月未満」が58.8%で最も高くなっている。

母親は、「1歳～1歳6か月未満」が47.1%で最も高く、次いで「6か月～1歳未満」が22.9%、「1歳6か月～2歳未満」が15.3%となっている。

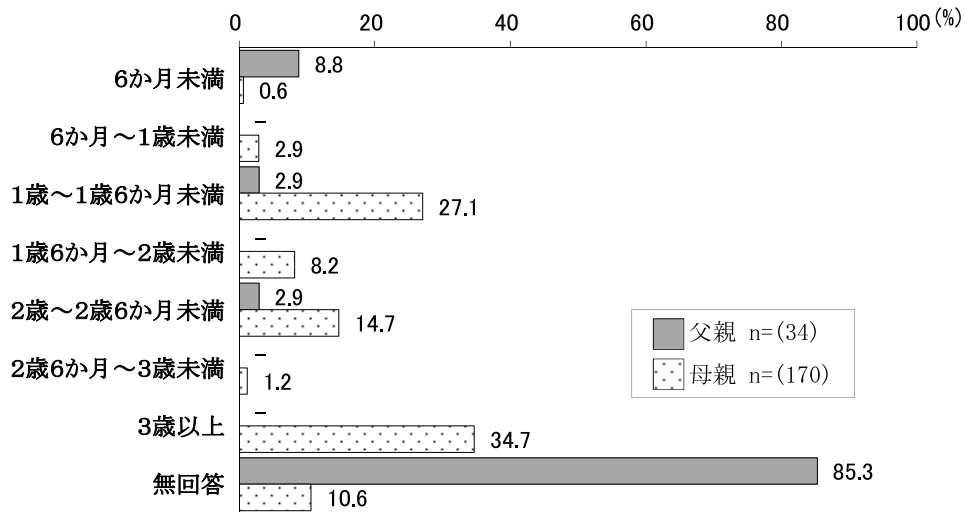
（2）お勤め先の育児休業の制度の期間内で、希望としては何歳何か月の時まで育児休業を利用しなかったか



希望としては何歳何か月の時まで育児休業を利用しなかったかは、父親が「6か月未満」が41.2%で最も高くなっている。

母親は、「1歳～1歳6か月未満」が46.5%で最も高く、次いで「1歳6か月～2歳未満」が16.5%となっている。

(3) お勤め先に育児休業を3歳まで利用できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったか

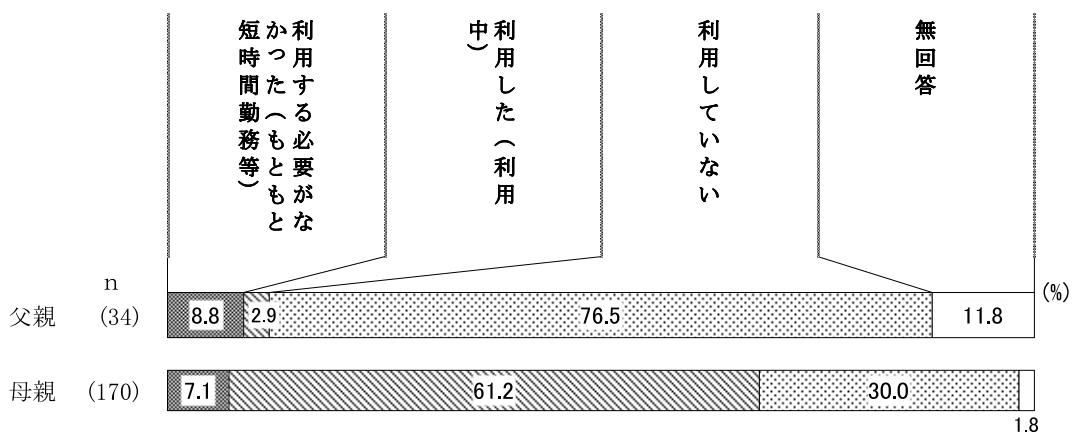


育児休業を3歳まで利用できる制度があった場合、何歳何か月のときまで取りたかったかは、母親が「3歳以上」が34.7%で最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が27.1%となっている。

(6) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか

【問32-1で「育児休業後、職場に復帰した」と回答された方に】

問32-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

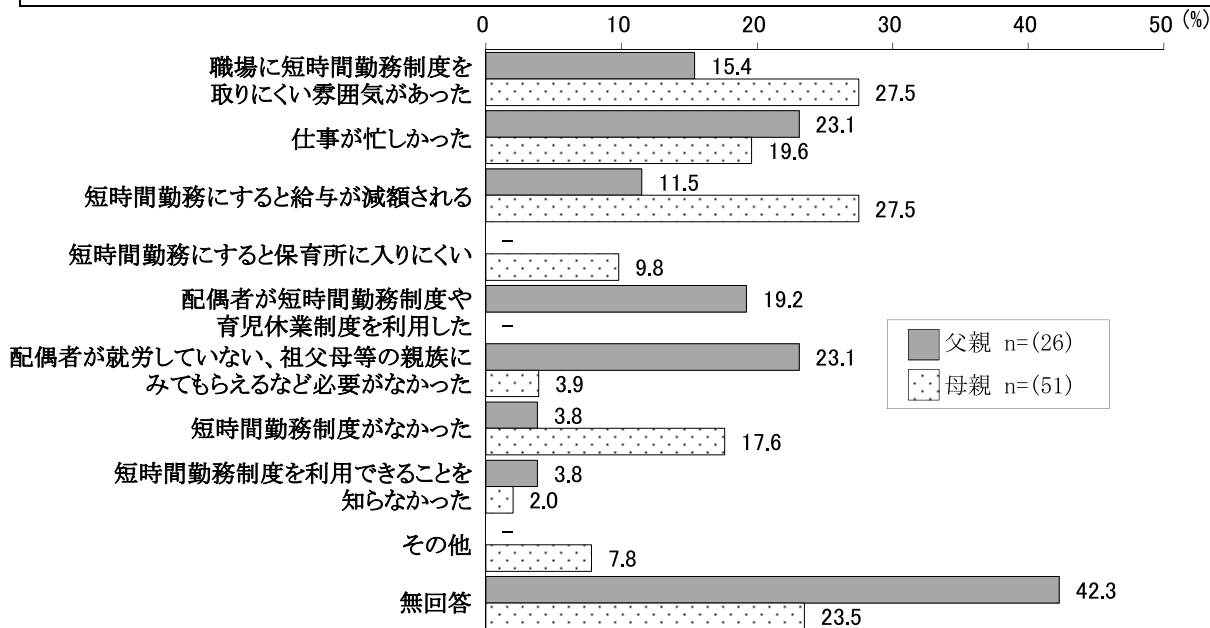


父親が育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したかは、「利用していない」が76.5%で7割を超えている。

母親が利用したかは、「利用した(利用中)」が61.2%で最も高く、次いで「利用していない」が30.0%となっている。

（7）短時間勤務制度を利用していない理由

問32-4 短時間勤務制度を取得していない方はその理由をご記入ください。（いずれかに○）



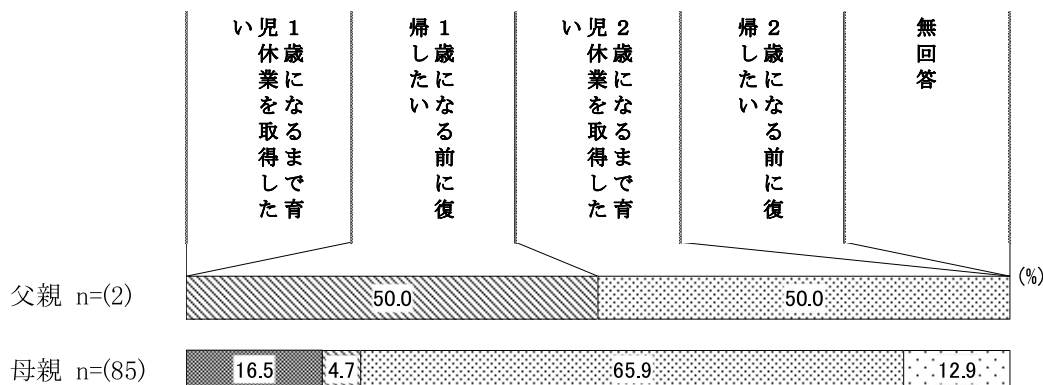
父親が育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用していない理由は、「仕事が忙しかった」と「配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった」がともに23.1%で最も高く、次いで「配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した」が19.2%となっている。

母親が育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用していない理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに27.5%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が19.6%となっている。

（8）1歳もしくは2歳になったときに必ず預けられる事業があった場合の利用希望

【問32-1で「現在も育児休業中である」と回答された方に】

問32-5 あて名のお子さんが1歳もしくは2歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳もしくは2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳もしくは2歳になる前に復帰しますか。（○は1つ）

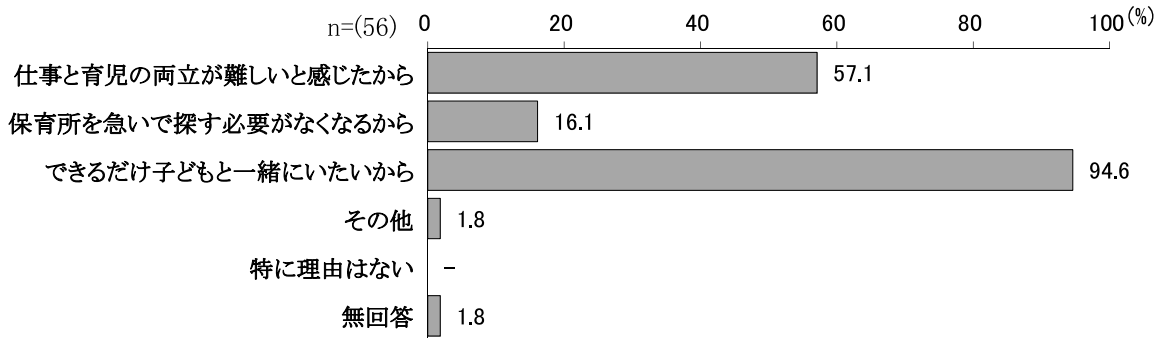


子どもが1歳もしくは2歳になったときに必ず預けられる事業があった場合、母親の利用希望は、「2歳になるまで育児休業を取得したい」が65.9%で6割を超えて最も高く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」が16.5%となっている。

（9）育児休業を2年以上利用したいと考える理由

【問32-5で「2歳になるまで育児休業を取得したい」と回答された方に】

問32-6 あなたが育児休業を2年以上利用したいと考える理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

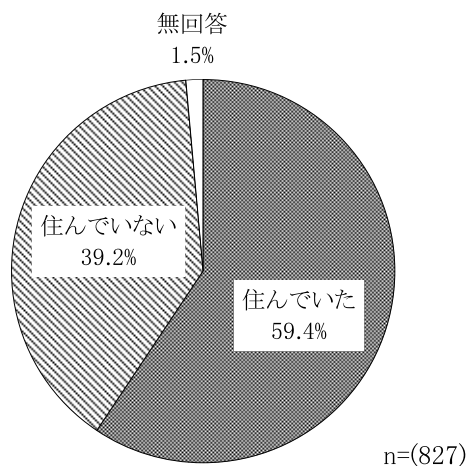


育児休業を2年以上利用したいと考える理由は、「できるだけ子どもと一緒にいたいから」が94.6%と最も高く、次いで「仕事と育児の両立が難しいと感じたから」が57.1%、「保育所を急いで探す必要がなくなるから」が16.1%となっている。

11. 現状での子育て環境の満足度について

（1）最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたか

問33 最初にお子さんが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町にお住まいでしたか。（○は1つ）

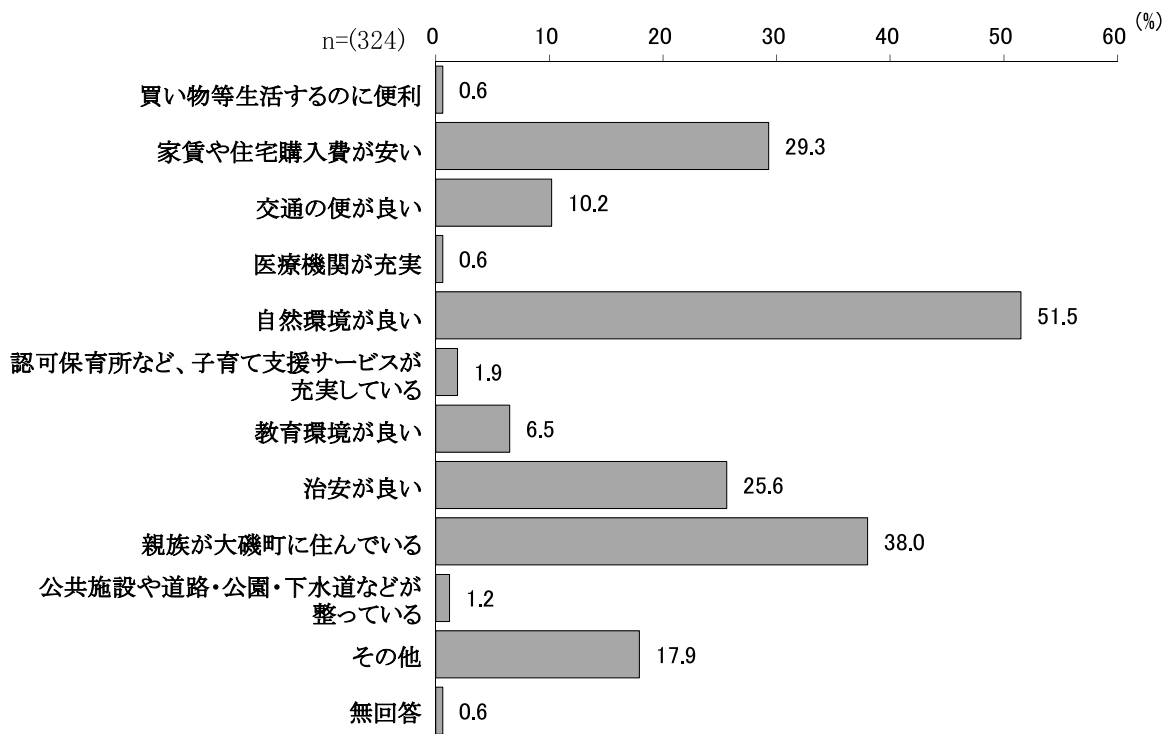


最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたかは、「住んでいた」が59.4%で約6割と高くなっており、一方、「住んでいない」が39.2%となっている。

（2）大磯町に転入した理由

【問33で「住んでいない」と回答された方に】

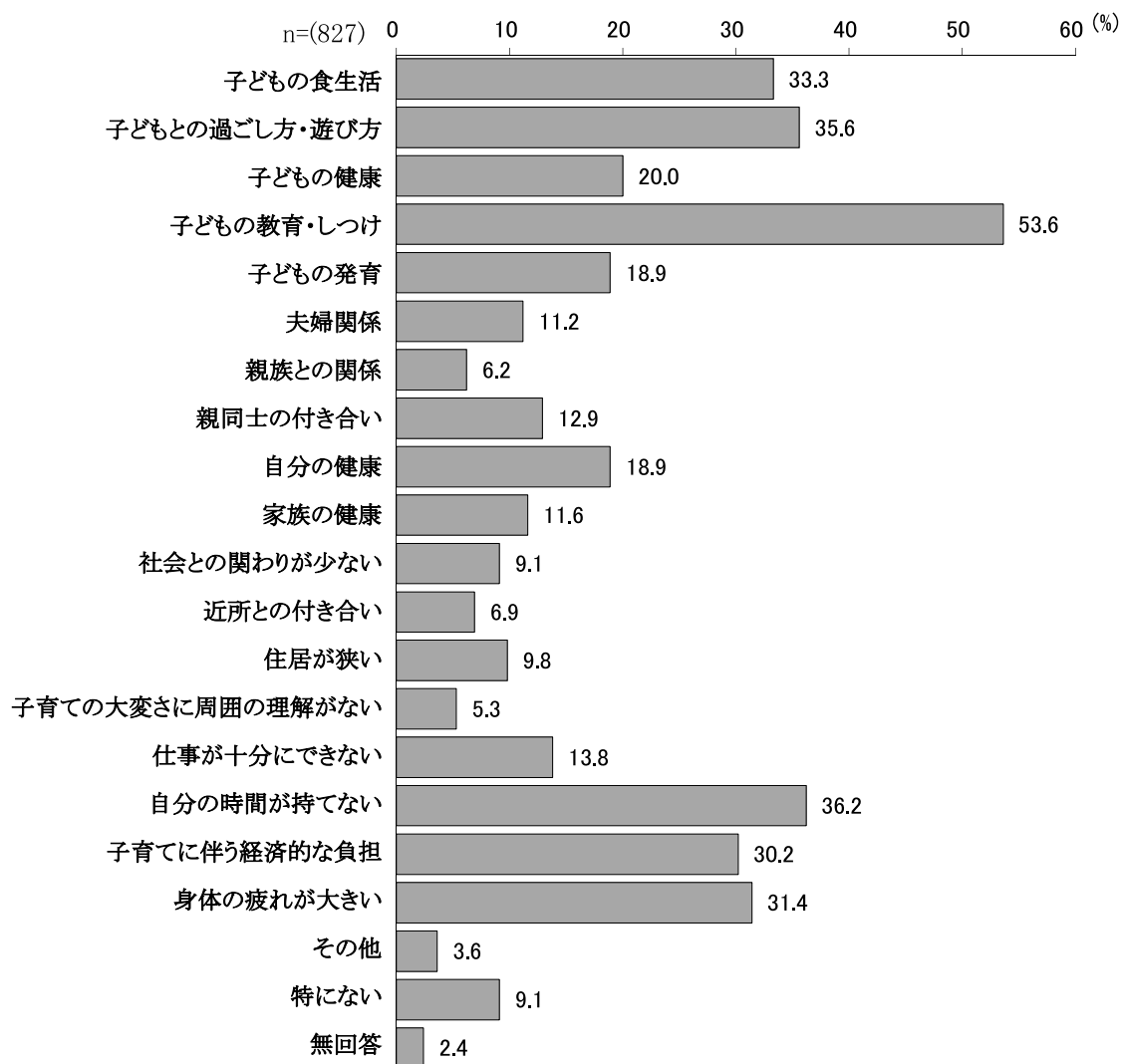
問33-1 大磯町に転入した理由をお聞かせください。（〇はいくつでも）



大磯町に転入した理由は、「自然環境が良い」が51.5%で最も高く、次いで「親族が大磯町に住んでいる」が38.0%、「家賃や住宅購入費が安い」が29.3%となっている。

(3) 子育てをされていて感じている悩み

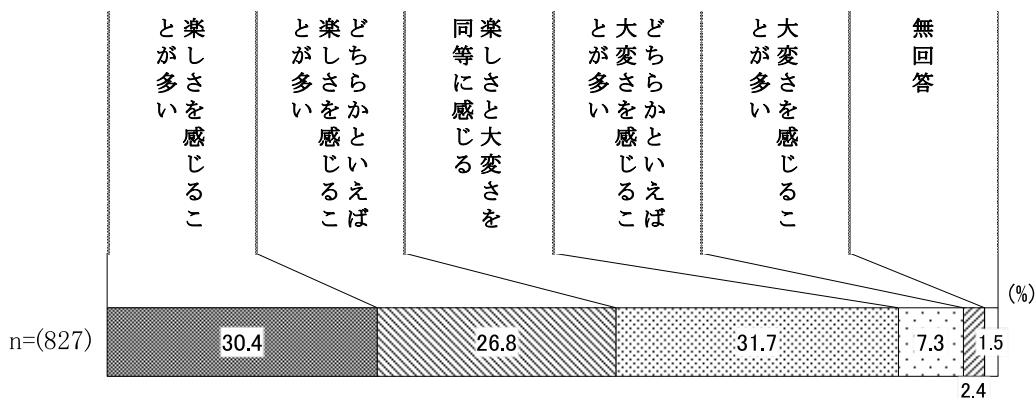
問34 現在、子育てをされていて感じている悩みは何ですか。（〇はいくつでも）



子育てをされていて感じている悩みは、「子どもの教育・しつけ」が53.6%で最も高く、次いで「自分の時間が持てない」が36.2%、「子どもとの過ごし方・遊び方」が35.6%となっている。

（4）子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか

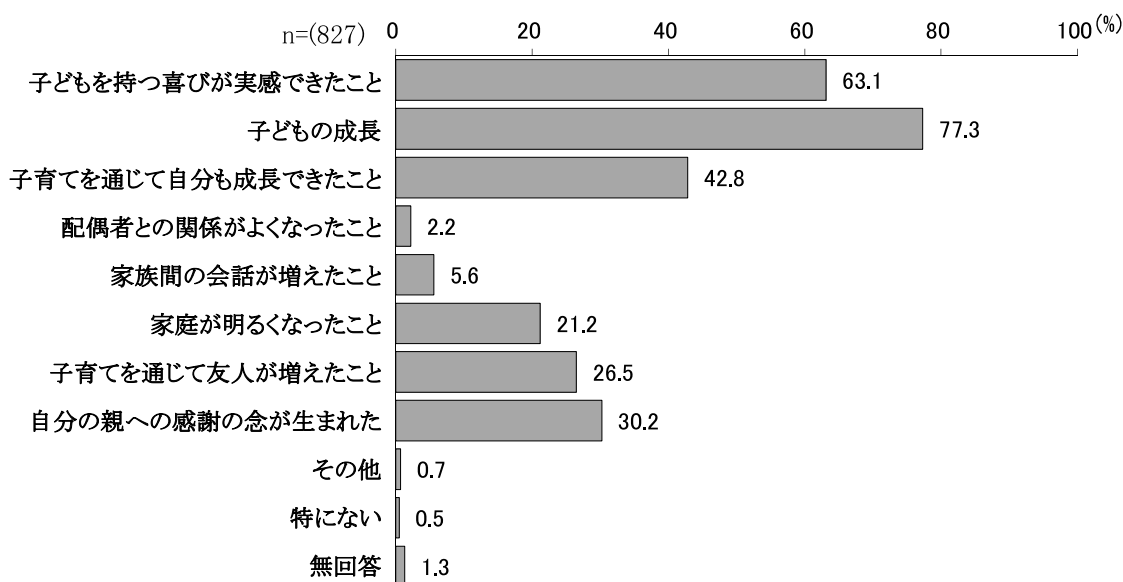
問35 現在、子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。（○は1つ）



子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いかは、「楽しさと大変さを同等に感ずる」が31.7%で最も高く、次いで「楽しさを感ずることが多い」が30.4%、「どちらかといえば楽しさを感ずることが多い」が26.8%となっている。

（5）子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと

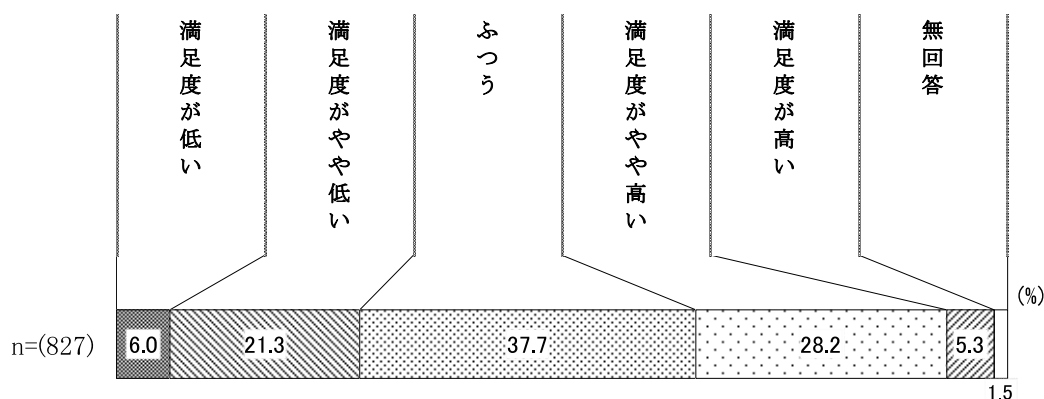
問36 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。（○は3つまで）



子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、「子どもの成長」が77.3%で7割を超えて最も高く、次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が63.1%、「子育てを通じて自分も成長できたこと」が42.8%となっている。

（6）子育ての環境や支援の満足度

問37 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。
 （「1（満足度低）～5（満足度高）」に○を1つ）

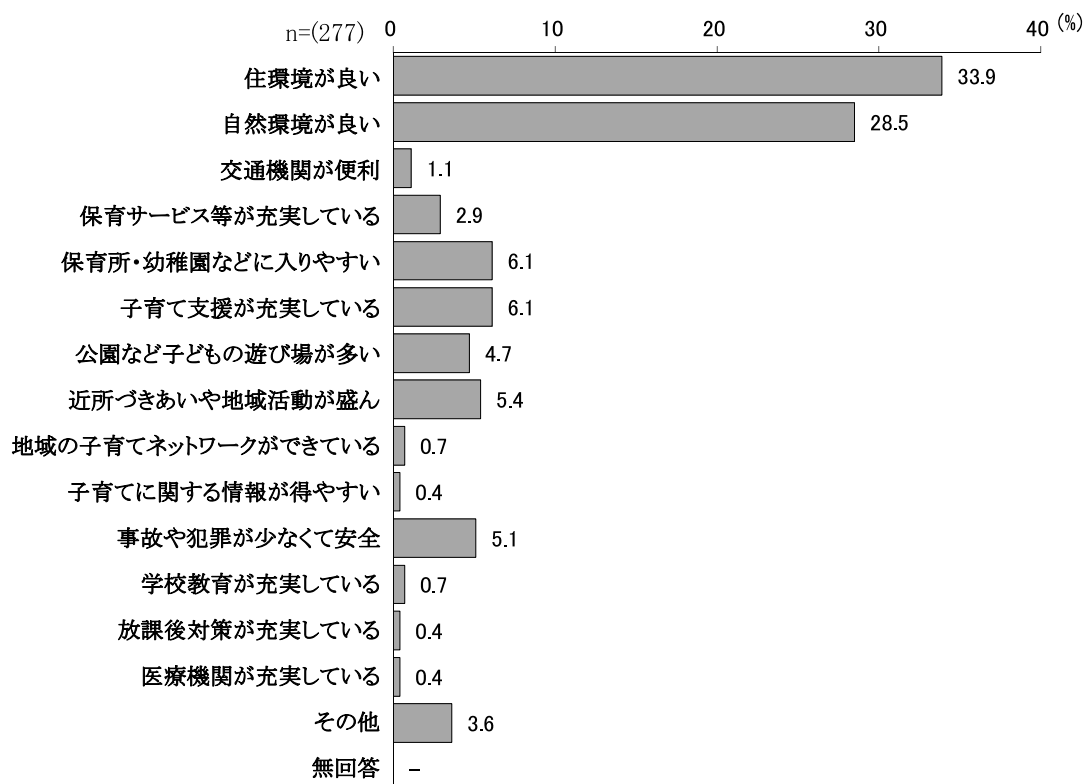


子育ての環境や支援の満足度は、「ふつう」が37.7%で最も高く、次いで「満足度がやや高い」が28.2%、「満足度がやや低い」が21.3%となっている。

（7）満足度が高い理由

【問37で「満足度がやや高い」または「満足度が高い」と回答された方に】

問37-1 満足度が高い理由は何ですか。（○は1つ）

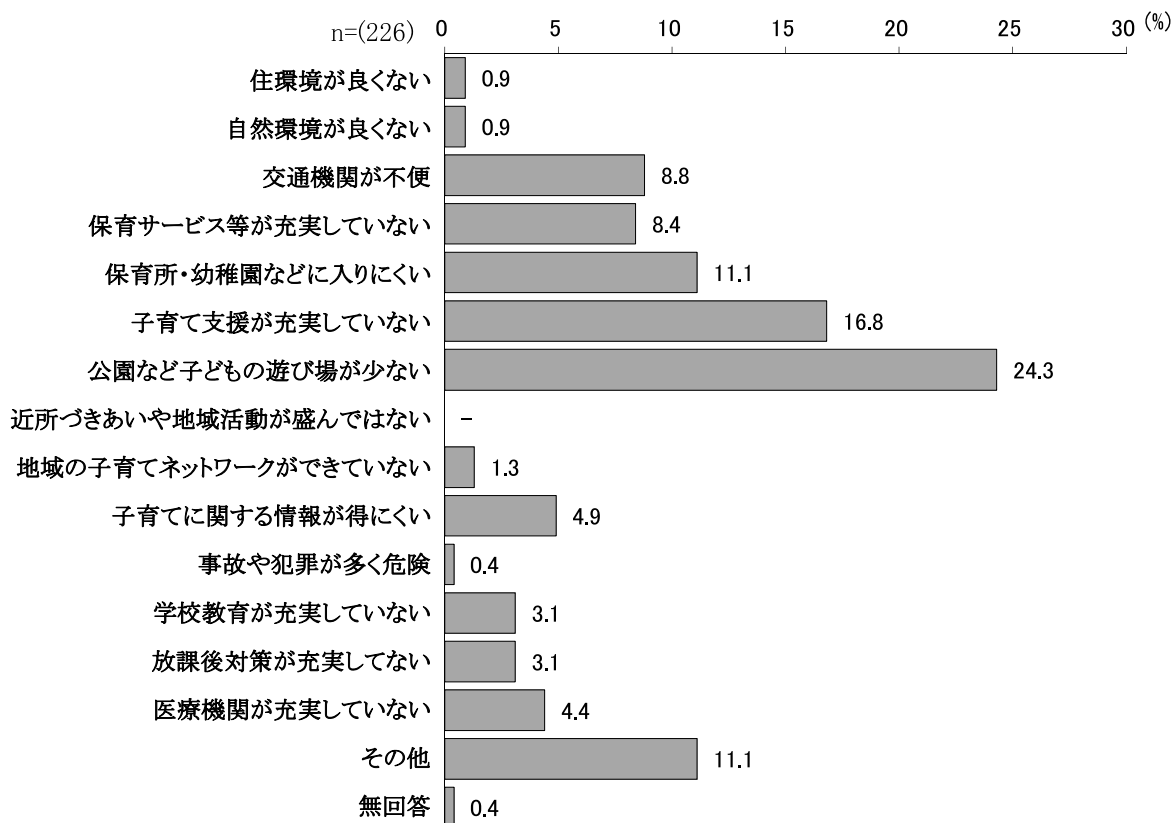


子育ての環境や支援の満足度は、「住環境が良い」が33.9%で最も高く、次いで「自然環境が良い」が28.5%、「保育所・幼稚園などに入りやすい」「子育て支援が充実している」がともに6.1%となっている。

（8）満足度が低い理由

【問37で「満足度が低い」または「満足度がやや低い」と回答された方に】

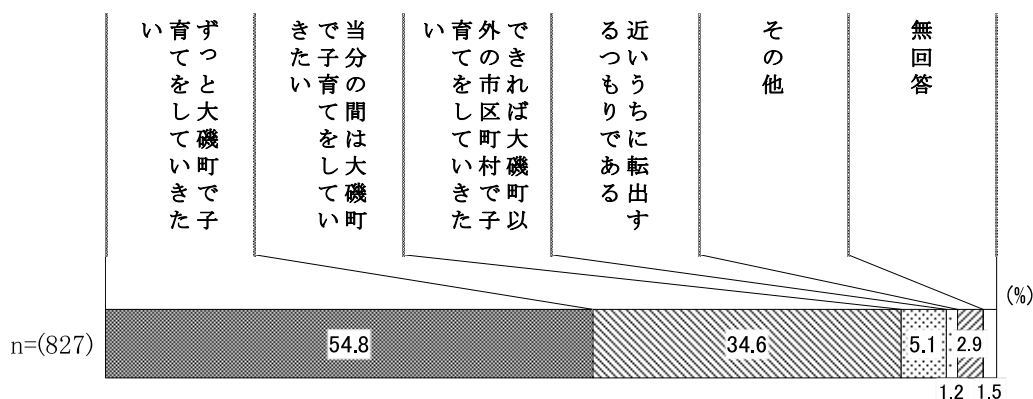
問37-2 満足度が低い理由は何ですか。（○は1つ）



満足度が低い理由は、「公園など子どもの遊び場が少ない」が24.3%で最も高く、次いで「子育て支援が充実していない」が16.8%、「保育所・幼稚園などに入りにくい」が11.1%となっている。

（9）今後も、大磯町で子育てをしていきたいか

問38 今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思いますか。（○は1つ）

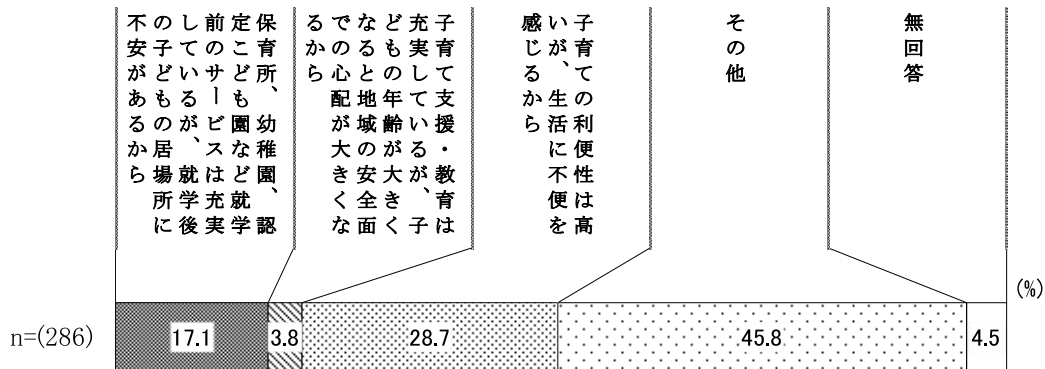


今後も、大磯町で子育てをしていきたいかは、「ずっと大磯町で子育てをしたい」が54.8%で最も高く、次いで「当分の間は大磯町で子育てをしたい」が34.6%となっている。

(10) 「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由

【問38で「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と回答された方に】

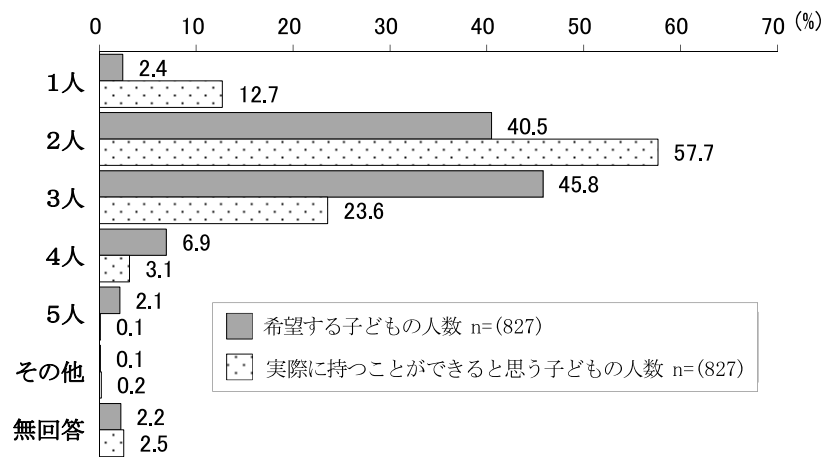
問38-1 「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。（○は1つ）



「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は、「子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じるから」が28.7%と高く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園など就学前のサービスは充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから」が17.1%となっている。

(11) 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」

問39 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について伺います。（それぞれに○は1つ）



「希望する子どもの人数」は、「3人」が45.8%で最も高く、次いで「2人」が40.5%となっている。

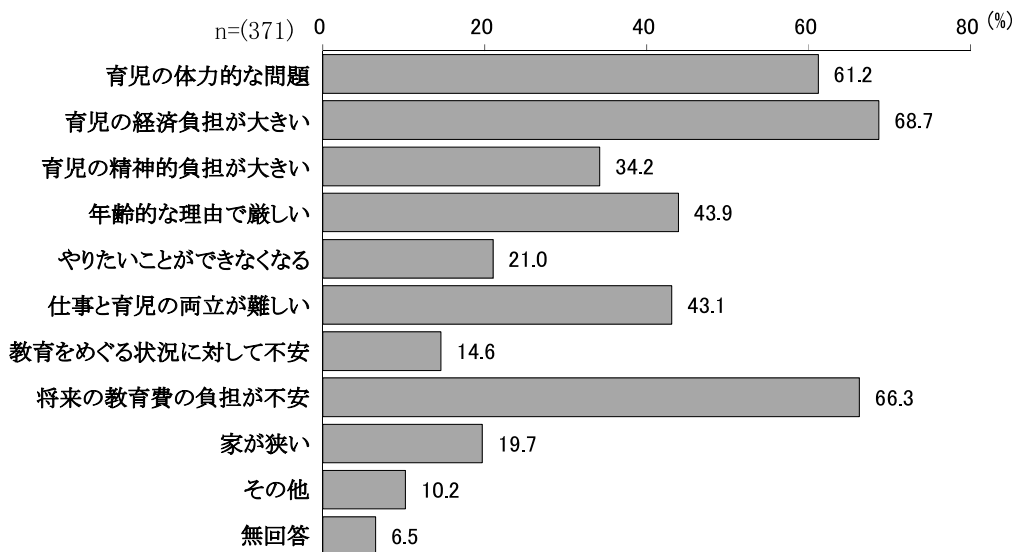
「実際に持つことができると思う子どもの人数」は、「2人」が57.7%で最も高く、次いで「3人」が23.6%となっている。

(12) 「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少ない理由

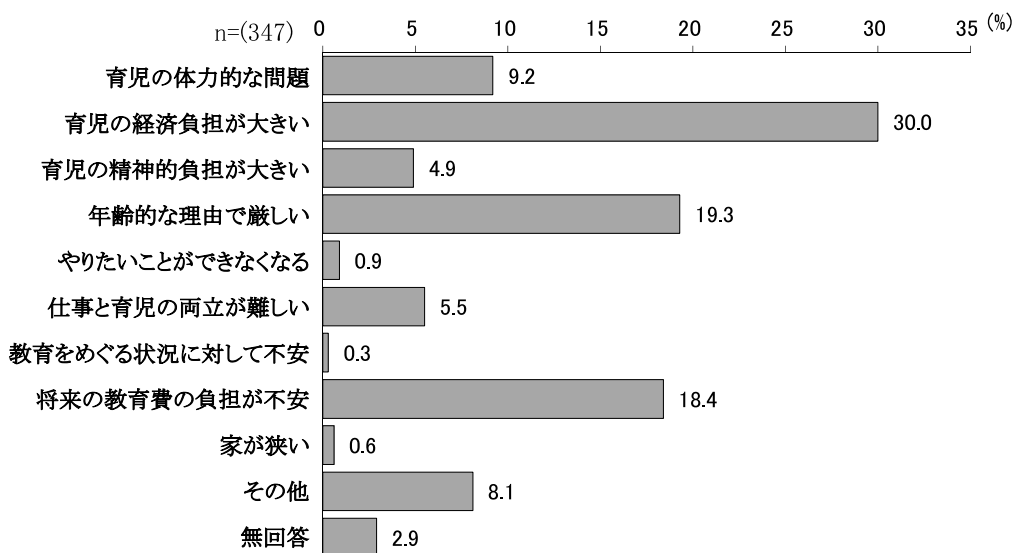
【問39で「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少なかった方に】

問39-1 あてはまる理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）なかでも最大の理由をお選びください。（○は1つ）

(1) 少ない理由（あてはまるものすべて）



(2) そのうち最大の理由

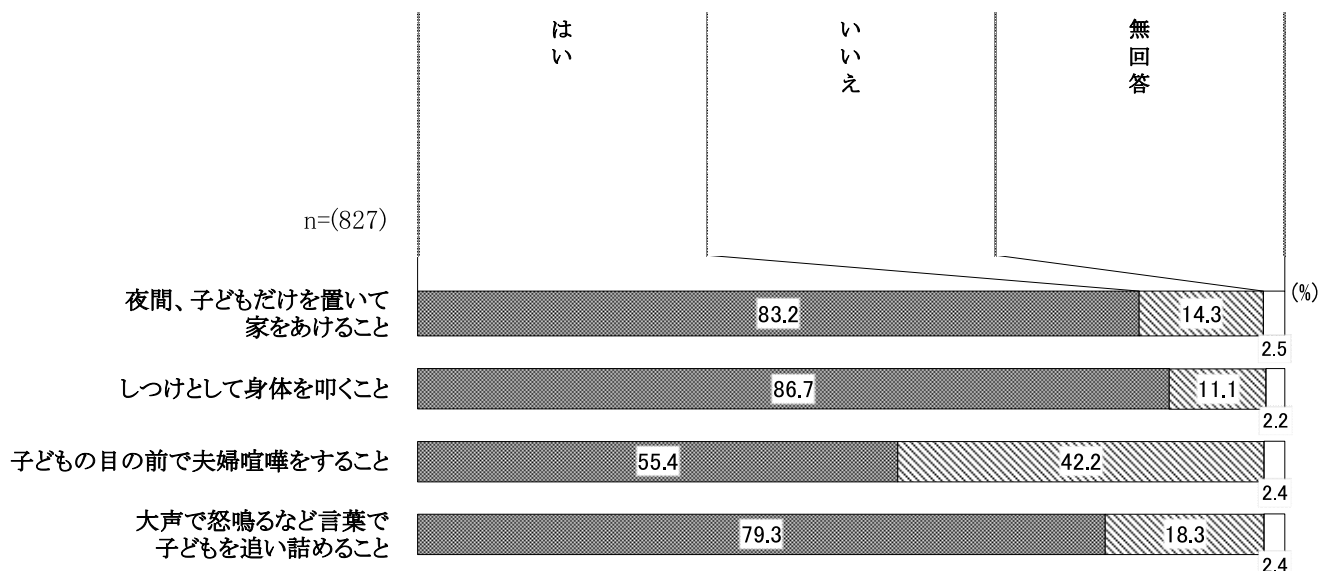


「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少ない理由は、「育児の経済負担が大きい」が68.7%と最も高く、次いで「将来の教育費の負担が不安」が66.3%、「育児の体力的な問題」が61.2%となっている。

少ない理由のうちで最大の理由は、「育児の経済負担が大きい」が30.0%で最も高く、次いで「年齢的な理由で厳しい」が19.3%、「将来の教育費の負担が不安」が18.4%になっている。

(13) 児童虐待にあたることの認知

問40 各項目が児童虐待にあたることを知っていますか。（それぞれ1つに○）

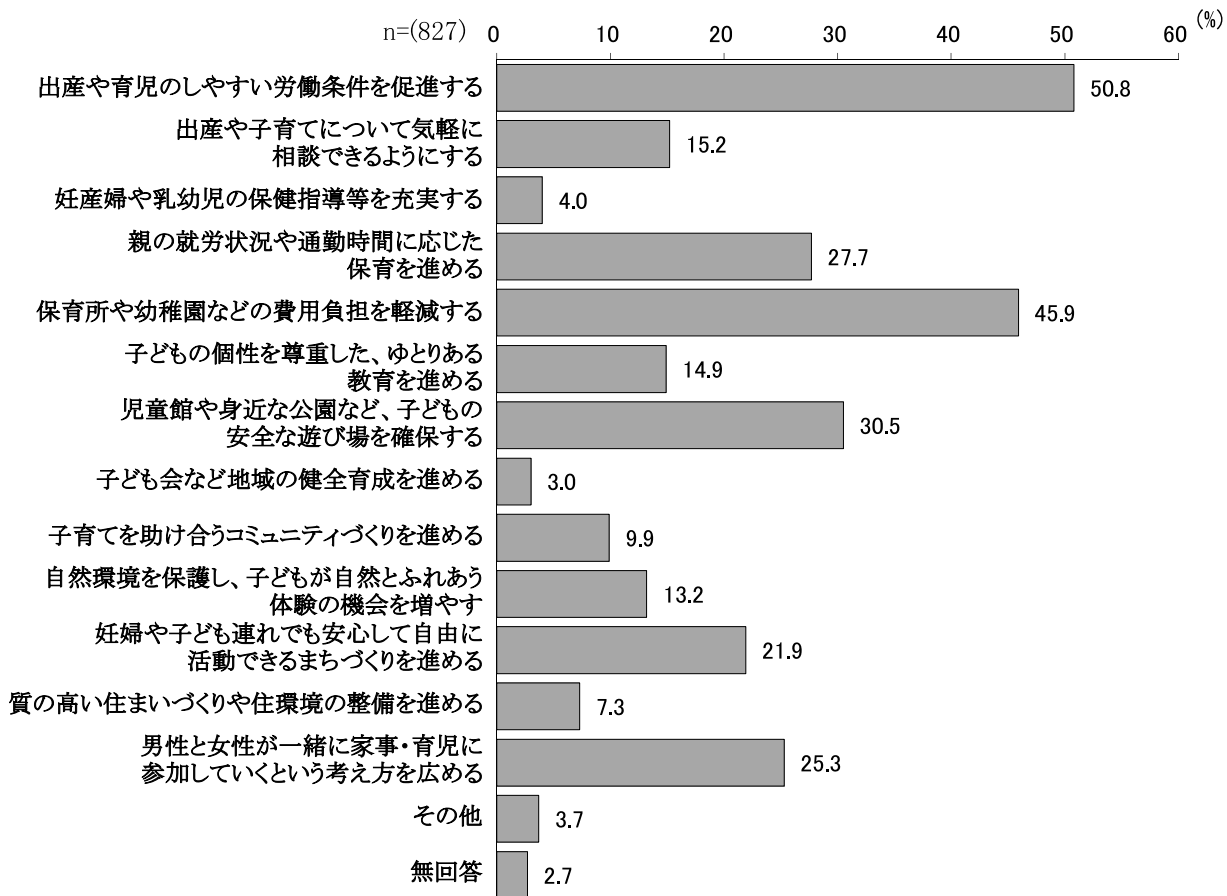


児童虐待にあたることを認知しているものは、「しつけとして身体を叩くこと」が86.7%で最も高く、次いで「夜間、子どもだけを置いて家をあけること」が83.2%、「大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること」が79.3%となっている。

一方、虐待にあたることを認知していない状況は、「子どもの目の前で夫婦喧嘩をすること」が最も高く42.2%になっている。

(14) 子どもを健やかに産み育てるために必要だと思うこと

問41 子どもを健やかに産み育てるために必要だと思うことは、どのようなことですか。
 (〇は3つまで)

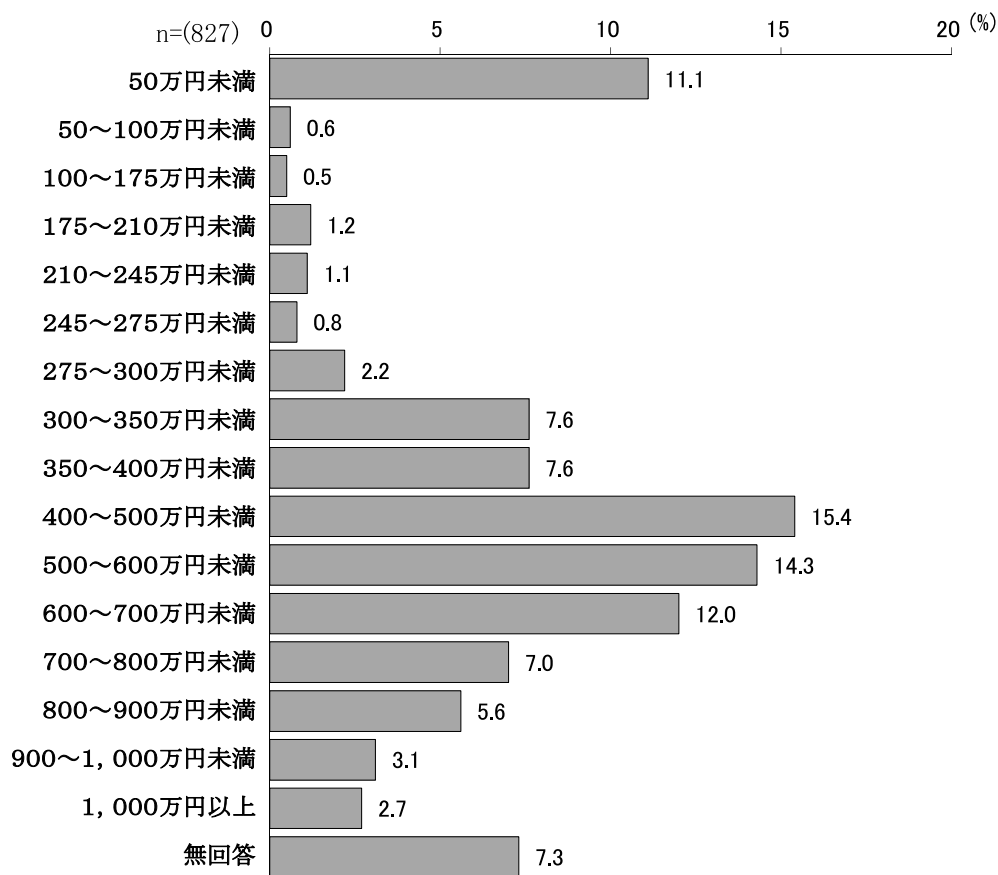


子どもを健やかに産み育てるために必要だと思うことは、「出産や育児のしやすい労働条件を促進する」が50.8%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園などの費用負担を軽減する」が45.9%、「児童館や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する」が30.5%になっている。

12. 子育てにかかる費用等について

(1) 世帯合算の手取り収入

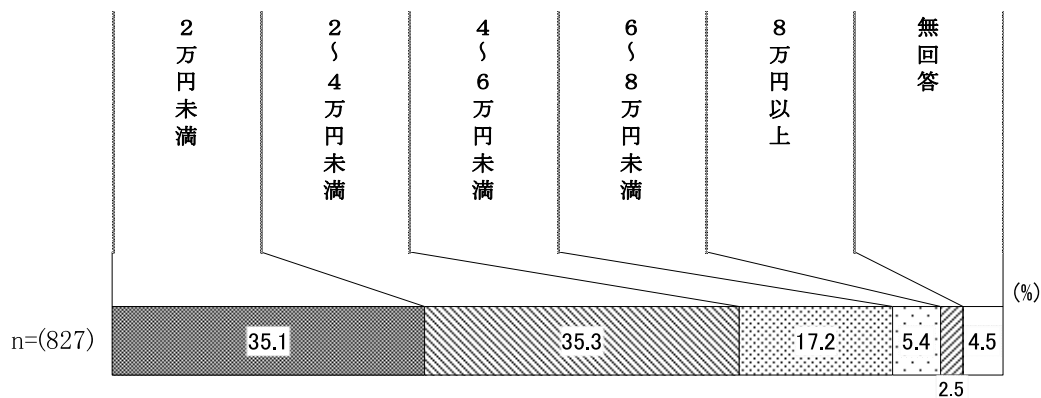
問42 世帯合算の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）を伺います。（〇は1つ）



世帯合算の手取り収入は、「400～500万円未満」が15.4%、「500～600万円未満」が14.3%、「600～700万円未満」が12.0%となっている。

（2）1か月当たりにかかる子育ての費用

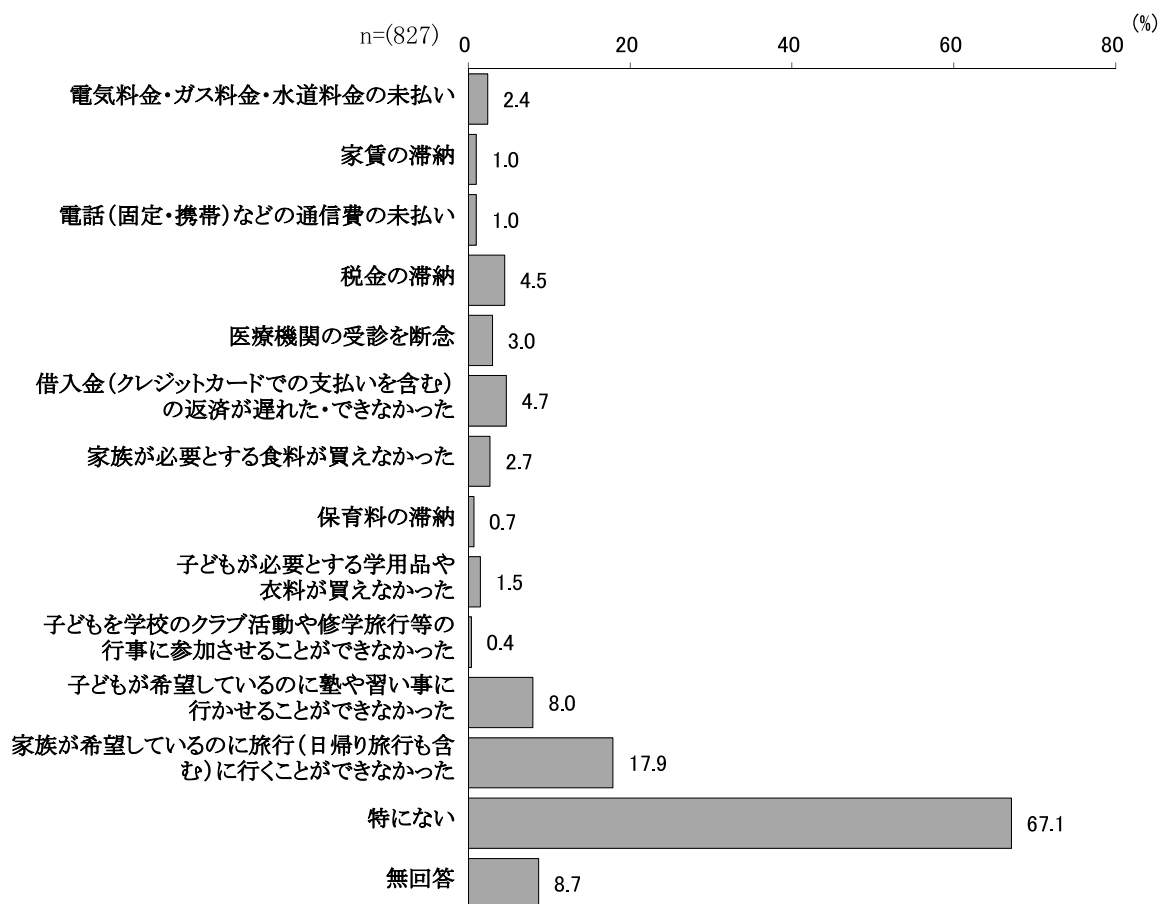
問43 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1か月いくら位ですか。（○は1つ）



1か月当たりにかかる子育ての費用は、「2～4万円未満」が35.3%で最も高く、次いで「2万円未満」が35.1%、「4～6万円未満」が17.2%となっている。

（3）過去1年間に経済的理由により経験したこと

問44 あて名のお子さんの世帯では、過去1年間に経済的理由により、各項目のような経験をしたことはありますか。（〇はいくつでも）

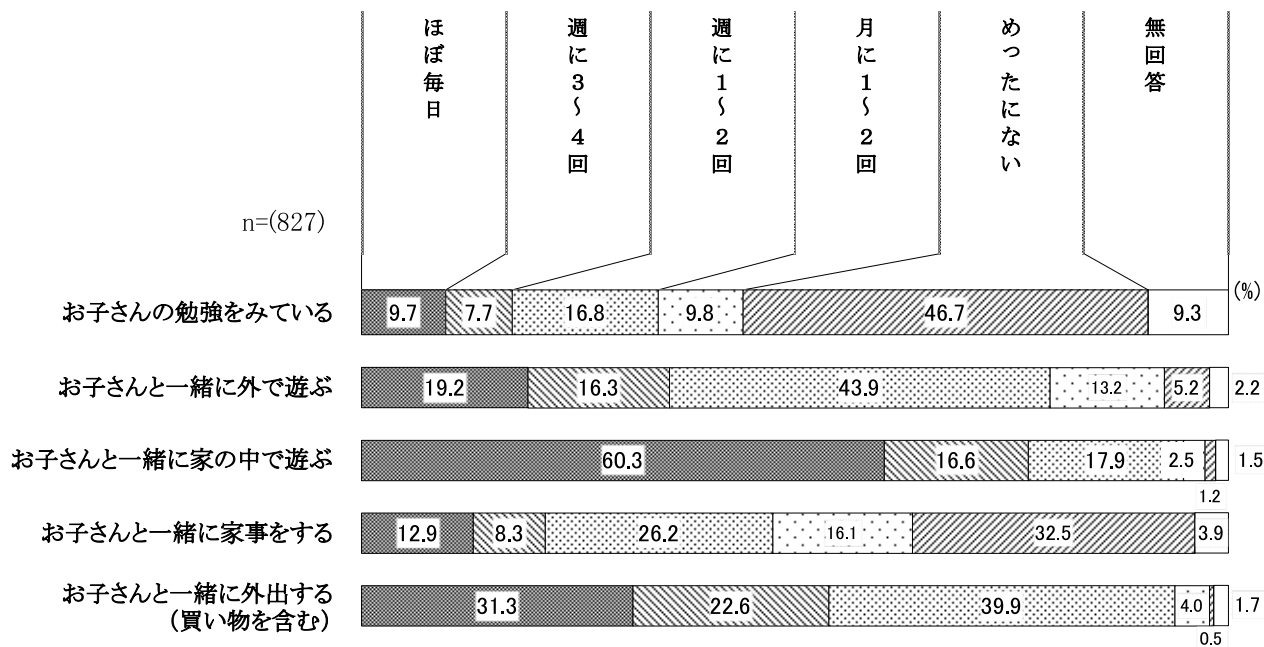


過去1年間に経済的理由により経験したことは、「特にない」が67.1%で最も高くなっている。

経験をしたことについては、「家族が希望しているのに旅行（日帰り旅行も含む）に行くことができなかった」が17.9%、次いで「子どもが希望しているのに塾や習い事に行かせることができなかった」が8.0%となっている。

（4）家庭で子どもとすること

問45 あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のことをすることがありますか。（それぞれ1つに○）

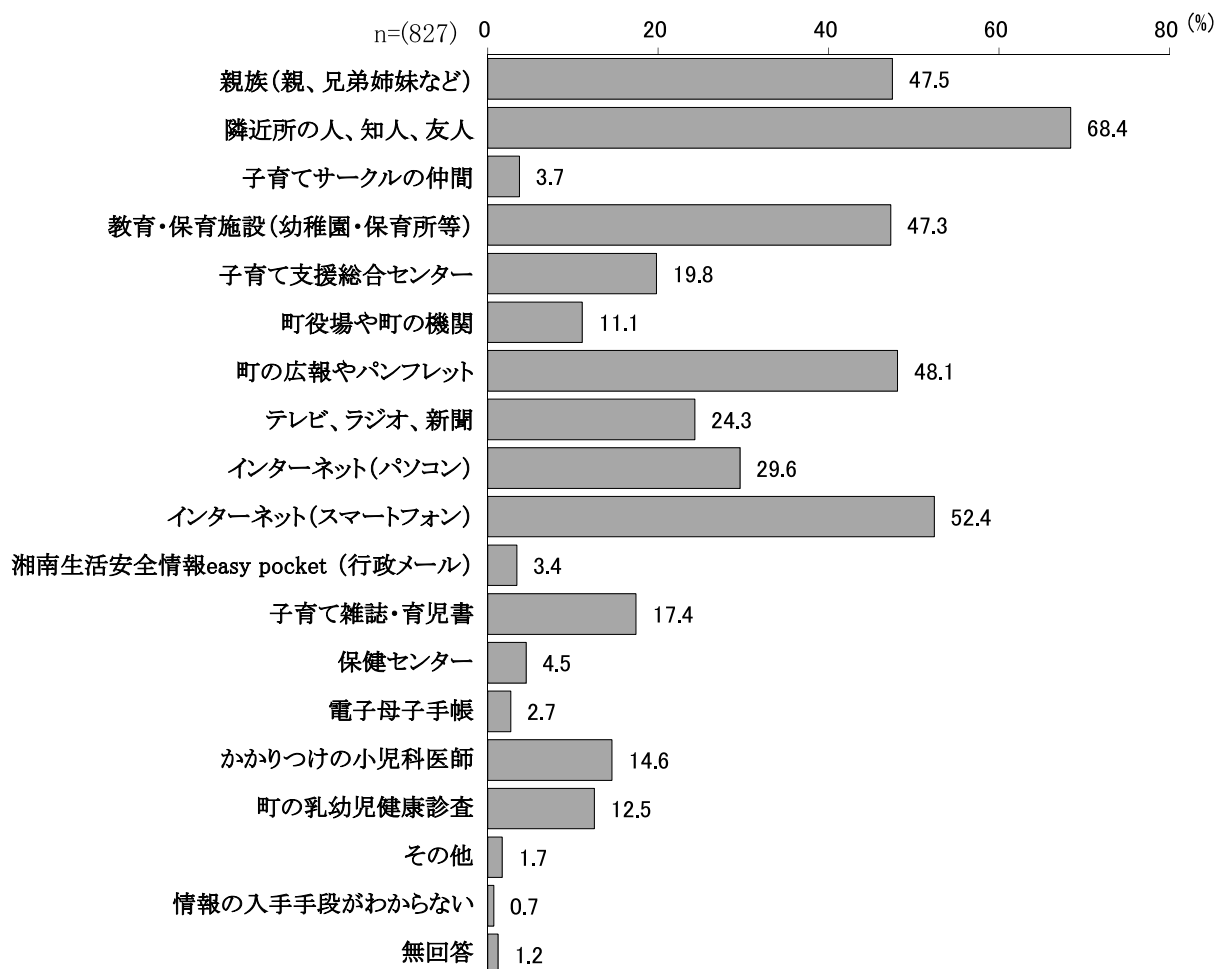


家庭で子どもとすることは、「週に1〜2回 お子さんの勉強をみている」が16.8%、「週に1〜2回 お子さんと一緒に外で遊ぶ」が43.9%、「ほぼ毎日 お子さんと一緒に家の中で遊ぶ」が60.3%、「週に1〜2回 お子さんと一緒に家事をする」が26.2%、「週に1〜2回 お子さんと一緒に外出する（買い物を含む）」が39.9%となっている。

13. 情報の入手先等について

(1) 子育て情報の入手手段

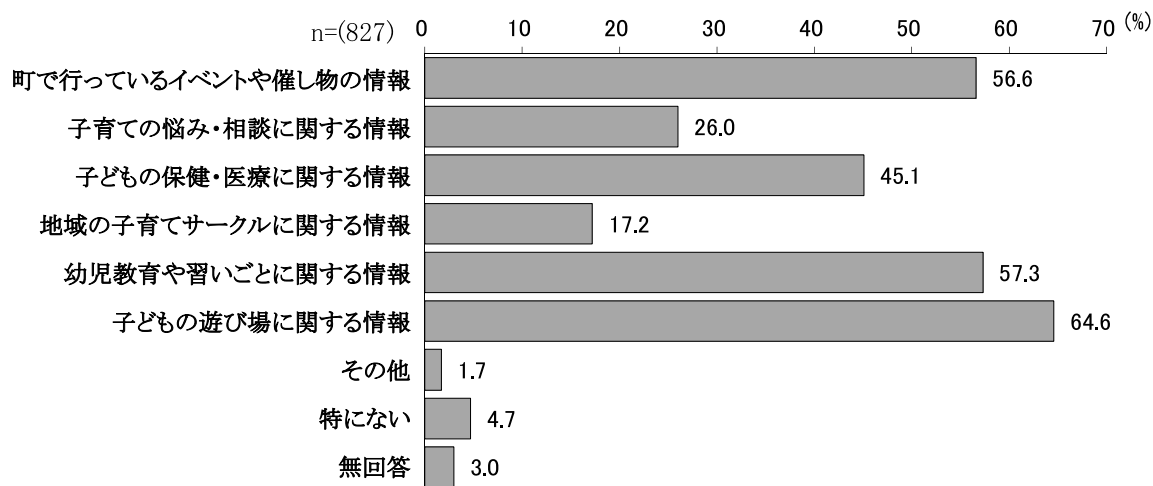
問46 子育てに関する情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）



子育て情報の入手手段は、「隣近所の人、知人、友人」が68.4%で最も高く、次いで「インターネット(スマートフォン)」が52.4%、「町の広報やパンフレット」が48.1%となっている。

（2）子育てに関して求める情報

問47 今後、子育てに関してどのような情報があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



子育てに関して求める情報は、「子どもの遊び場に関する情報」が64.6%で最も高く、次いで「幼児教育や習いごとに関する情報」が57.3%、「町で行っているイベントや催し物の情報」が56.6%となっている。

（3）自由記述

問48 最後に今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

対象	意見の内容	意見の種類					総計	対象	意見の内容	意見の種類					総計				
		意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望				意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望					
幼稚園	15	預かり保育の充実					13	13	病児・病後児	6	病児、病後児保育の充実		1			4	5		
		園バス導入					7	7			長期休暇時の利用					1	1		
		幼稚園の質向上					6	6		認定こども園	5	就労日以外の預かり(通常料金)					2	2	
		保育料の負担減			2		3	5				こども園の充実					1	1	
		給食導入					5	5				サンキッズ国府の併願制度		1				1	
		車送迎の許可		1			3	4				広報について	1					1	
		無認可幼稚園の預かり料負担減					4	4	子育て支援施策	28	子育て支援施策の拡充	2				11	13		
		PTA役員について見直し					3	3			母親向けサービス(イベント等)					2	2		
		エアコン設置					3	3			講座の充実					2	2		
		先生の質の向上				1	2	3			0~3才の小規模保育の充実(保育ママ等)					2	2		
		保育内容の充実					2	2			共働き家庭の子どもへの支援					2	2		
		母親が仕事をしながら通える保育環境					1	1			父親の育児取得推奨					1	1		
		全幼稚園を第二子保育料無料化					1	1			「フィンランドの赤ちゃん箱」のようなサービス					1	1		
		夏季保育					1	1			保育施設間設備の格差是正					1	1		
		2オウラスの充実					1	1			病院などに子どもの見守りスタッフを配置					1	1		
待機児童の解消		2			13	15	父親向けの育児講座の開催							1	1				
保育所の充実			2		9	11	教育費の無償化					1	1						
保育所増設(駅前)		2			8	10	子育て支援総合センター	26	子育て支援センター設置(特に東地区)					7	7				
保護者の就労日以外の通園	1				6	7			時間延長(休日開園等)					7	7				
保育料負担軽減					6	6			支援センターの充実	1	1			4	6				
預かり保育の拡充					5	5			支援員の質の向上		1			1	2				
利用時間の拡大					4	4			場所の固定					1	1				
町立保育園の利用規定緩和					3	3			駅前の設置					1	1				
保育料無料期間の拡大					2	2			幼稚園・保育園児に開放					1	1				
もあなこびとのこや、私塾まきぼのような保育園を希望					2	2			施設の改善	1					1				
保育園の1歳児枠増やす					2	2			一時預かり保育	21	制度改善(気軽に)					10	10		
保育園の入園順番を公開					2	2					施設の拡充(増設)					6	6		
制度改善		1			1	2	預かり料の負担減							5	5				
保育園の立地					1	1	その他の子育て支援施設	2	保健センター増設					1	1				
オムツ支給					1	1			幼児と小学生を同時に預かれる施設					1	1				
給食導入					1	1	つどいの広場	12	利用日、利用時間拡充	1				6	7				
利用する為の専門窓口					1	1			つどいの広場の充実			1		2	3				
幼稚園並みの教育					1	1			幼稚園・保育園児に開放					1	1				
小学校・中学校	17	給食の充実(中学校)		2			20	22	療育	4	療育体制の充実		1			3	4		
		学童クラブの拡充					16	16			相談体制	4	各窓口の開庁日時、時間延長					2	2
		学童の一回から利用可(長期休み等)					10	10	子どもが利用できる窓口							1	1		
		エアコン設置					8	8	相談体制の充実							1	1		
		放課後児童対策の拡充					6	6	ファミリー・サポート・センター	3			サポート体制の充実		1			1	2
		環境整備					5	5			職員への不安	1					1		
		スクールバス導入					4	4			子どもの遊び場	23	室内で遊べる施設の新設					7	7
		教育内容の充実					3	3	子どもの遊び場を増やす							4	4		
		プール設置					3	3	運動できる遊び場の新設							3	3		
		学童クラブの時間拡大					2	2	安心して遊べる場を増やす							3	3		
		学童クラブ保育料負担軽減					2	2	親子で遊べる施設を増やす							2	2		
		学童保育の給食導入					2	2	年齢ごとに安心して遊べる場を増やす							2	2		
		教員の質の向上					2	2	毎日開放されている場所を増やす							2	2		
		国府小学校のオープン教室廃止					1	1	教育	7			制服を復活(中学校)					1	1
		子どもの安全確保					1	1					習い事教室の充実					4	4
		学校が少ない					1	1					給食問題改善					2	2
		教育の充実					1	1								1	1		

第2章 調査結果の詳細（未就学児）

対象	意見の内容	意見の種類					総計	対象	意見の内容	意見の種類					総計				
		意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望				意見	苦情	感謝・御礼	提案	要望					
公園	68	公園の充実		1			9	10	経済的支援	55	金銭的支援					18	18		
		公園の増設(駅前)					10	10			児童手当増					5	5		
		大きな複合遊具(アスレチック等)					9	9			助成金制度(検診・医療費)		1			3	4		
		遊具の充実				1	7	8			保育料第2子無料の第一子の年齢制限廃止					3	3		
		公園の整備					7	7			保育料負担減					3	3		
		小さな子ども向けの遊べる公園(1、2才)					5	5			子どもの人数により支援増					3	3		
		水遊び(噴水等)できる公園					5	5			保育料控除などのサービスの兄弟間の年齢差廃止					3	3		
		運動公園の拡充					4	4			税金の不公平感の解消		1			2	3		
		安心して遊べる公園					4	4			児童手当の所得制限廃止					2	2		
		安全対策					2	2			共働き家庭への支援		1			1	2		
		ボール遊びの許可					2	2			妊産婦検診費用					2	2		
		西小磯東地域の公園の充実					1	1			塾、習い事への支援					1	1		
		茶屋町に公園					1	1			高齢な保護者の家庭の負担減					1	1		
交流	21	イベント	1	1		1	12	15	一人っ子家庭の保育料の負担減					1	1				
		交流の場の整備					3	3	子育てに必要なものの無料提供					1	1				
		未就学児が集まれる(参加できる)行事					1	1	貧困家庭の子どもへの食事提供					1	1				
		多世代交流					1	1	子どもに関する物品の助成(通園用電動自転車等)					1	1				
地域との関わり	1	子どもを守る活動				1	1	母子家庭への支援					1	1					
		就労支援					7	7	大磯町HPをわかりやすく(細かな情報)		4			4	8				
就労支援	12	町内に勤務先				3	3	習い事等の情報提供					6	6					
		時短優先制度の充実	1				1	2	情報発信の充実		1			2	3				
生活支援	4	親のサポート事業				3	3	SNSでの情報提供					2	2					
		親の病気時のサポート(つわり等)					1	1	広報誌の充実					2	2				
生活環境	30	買い物施設の充実(大型店舗)				9	9	行政	10	他自治体の活動を参考にしてほしい					3	3			
		子連れ向けの店舗拡充				8	8			子育て支援の体制		1	1		2	2			
		子連れ向け施設(授乳室等、広場)	1				4			5	ペーパーレス化	1				1	1		
		環境作り					3			3	小さな町ならではの細かなサービス					1	1		
		おむつゴミ無料化					2			2	相談時の態度		1			1	1		
		街灯の設置					1			1	津波対策					1	1		
		分煙対策		1						1	子育て支援課の質の向上					1	1		
		キャンプ場の新設					1			1	インターネットの使用	1				2	3		
道路・交通	23	通学路の整備		2			9	11	アンケート	13	複数の子どもがいる為に重複		2			1	3		
		歩道の整備		4			4	8			データ解析、政策方針の公表	2				2	2		
		バスの増便(コミュニティーバス等)		1			2	3			回答しやすいボリューム、設問					2	2		
		親の通勤路の整備					1	1			意見が反映されない		2				2	2	
		医療費補助	1				13	14			アンケートでなく実際に話を聞く必要あり	1					1	1	
医療	48	医療費無料の制限無(年齢、所得)					13	13	その他	8	交通ルール(車、歩行者、自転車)		3			3	3		
		産婦人科の開設		2			6	8			銭湯の設置(交流の場として)					1	1		
		医療機関の増設					7	7			東町大磯高校西門の川の鉄柵の整備					1	1		
		産急車の導入					3	3			若者が定住したくなる施策	1					1	1	
		病院の増設					1	1			地域の安全対策					1	1		
		乳児検診を午前中に実施					1	1			駅前や漁港の開発	1					1	1	
		産後うつ対策					1	1											
		健康診断	4	健診時間の短縮(待ち時間等)		1					2	2							
		健康診断の体制						2			2								
公共施設	18	児童館の設置				8	8												
		プール設置(温水)					4	4											
		“老人ホーム”と“幼稚園”の複合施設					2	2											
		図書館の新設					2	2											
						2	2												